

2010年3月期 第1四半期決算 アナリスト説明会



2009年7月31日
ソフトバンク株式会社

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

経理編 4

連結P/L分析 5

連結B/S分析 14

連結C/F分析 24

財務編 28

事業編 54

ブロードバンド・インフラ事業 56

固定通信事業 60

移動体通信事業 64

経理編



**ソフトバンク株式会社
経理部長 兼 内部統制室長**

君和田 和子

連結P/L增減分析

連結P/L総括

<P/L-1>

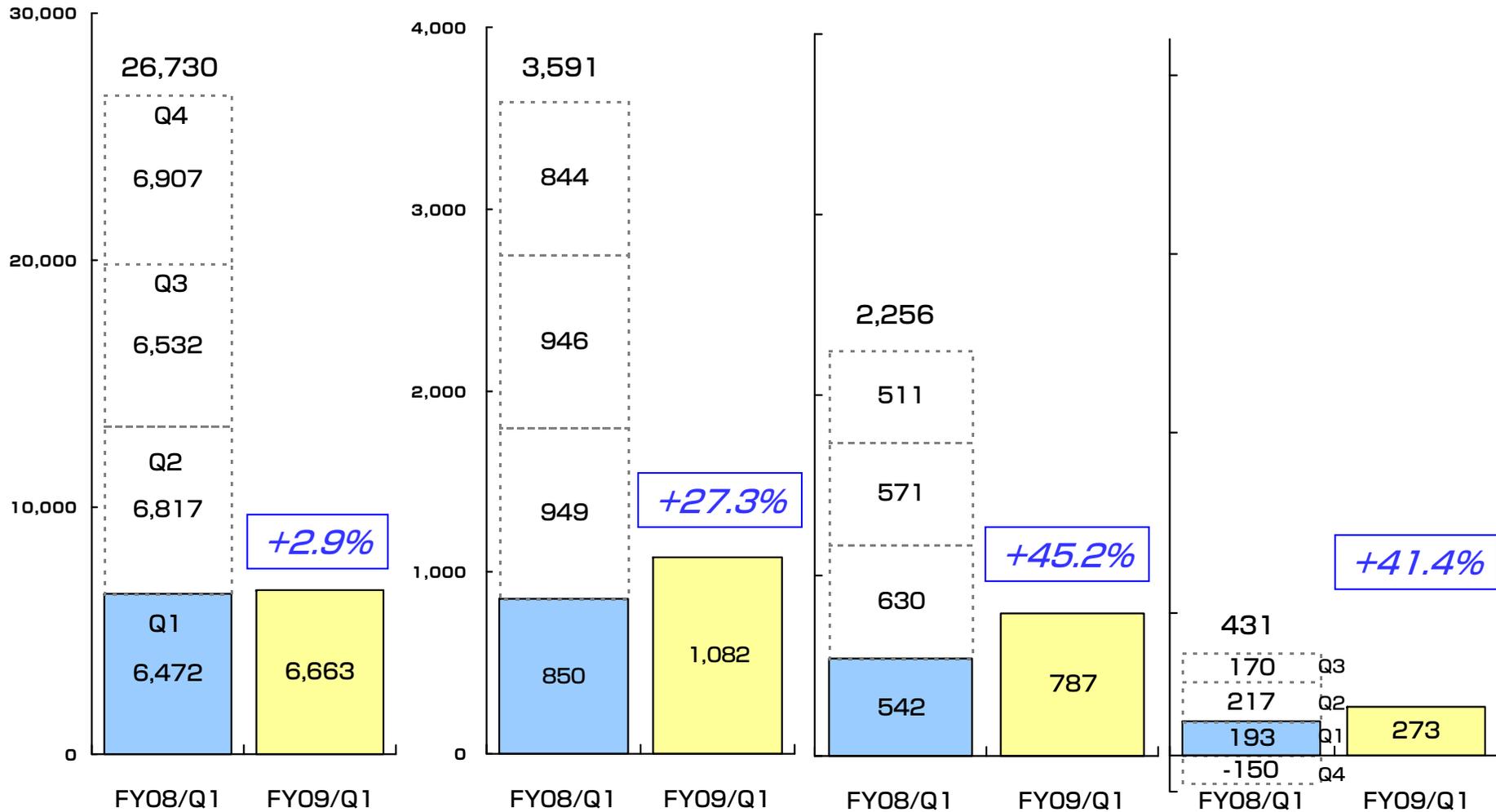
<億円>

売上高

営業利益

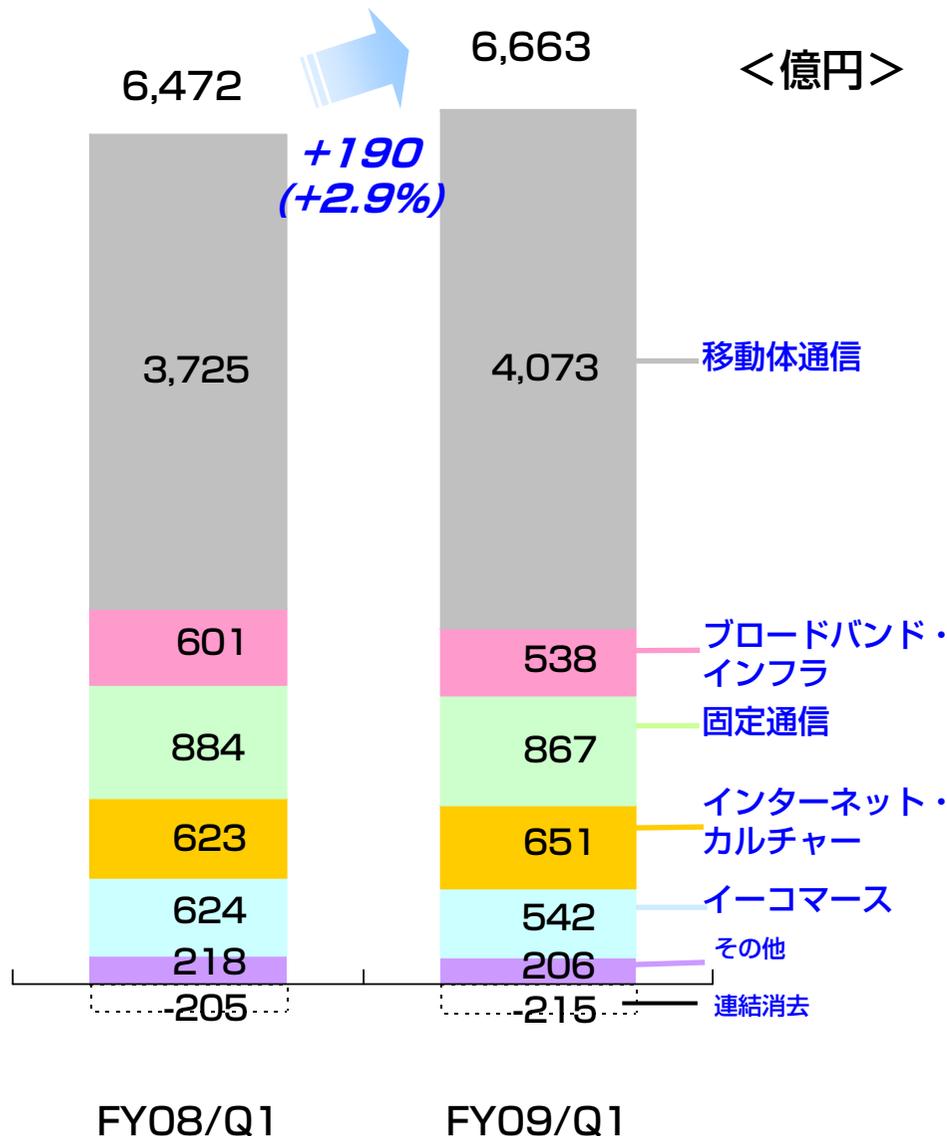
経常利益

当期純利益



連結売上高

<P/L-2>



移動体通信事業 +347億

- 電通事業売上の増加 +157億
 - 契約者数の増加 +242億
 - ARPUの低下 ▲95億
- 附帯事業売上（携帯電話端末売上等）の増加 +190億

ブロードバンド・インフラ事業 ▲63億

- ADSL 課金件数の減少 ▲44億
- ADSL ARPUの低下 ▲1億
- ODNの減少 ▲7億

固定通信事業 ▲16億

- おとくラインの増加 +32億
- 附帯収入の増加 +30億
- マイラインの減少 ▲27億
- 国際電話の減少 ▲23億
- 旧ソフトバンクIDCのセグメント異動の影響 ▲24億

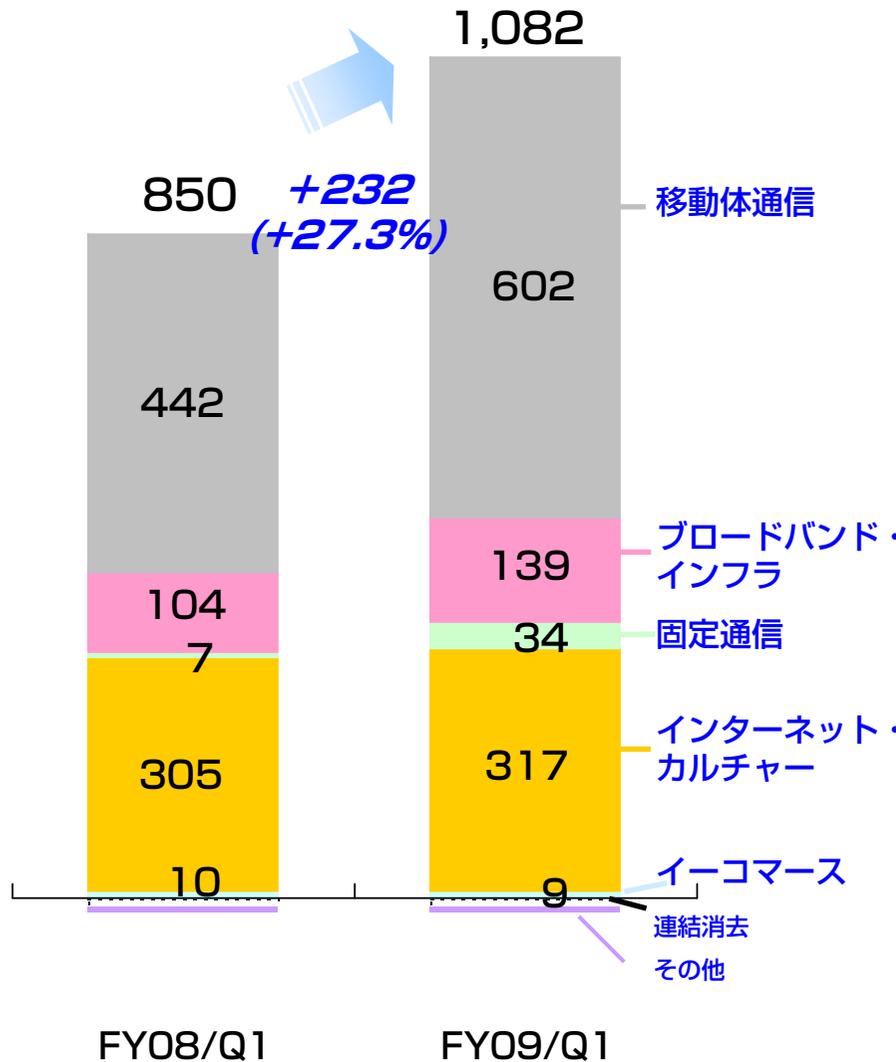
インターネット・カルチャー事業 +28億

- 広告事業の減少 ▲4億
- ビジネスサービス事業の増加 +17億
- パーソナルサービス事業の増加 +17億

連結営業利益

<P/L-3>

<億円>



移動体通信事業 +159億

- 売上高の増加 +347億
- 売上原価:
 - 端末評価損の減少 +104億
 - 端末出荷台数増加 ▲100億
- 販売費および一般管理費:
 - 販売手数料の増加 ▲259億
 - 貸倒引当金繰入額・貸倒損失の減少 +76億

ブロードバンド・インフラ事業 +34億

- 売上高の減少 ▲63億
- リース料、減価償却費などの売上原価の減少 +42億
- 販売費および一般管理費の減少
 - 販売手数料および販売促進費の減少 +50億

固定通信事業 +26億

- 売上高の減少 ▲16億
- アクセスチャージなど通信設備使用料の減少 +14億
- おとくラインの販売に係る費用などの減少 +17億

インターネット・カルチャー事業 +11億

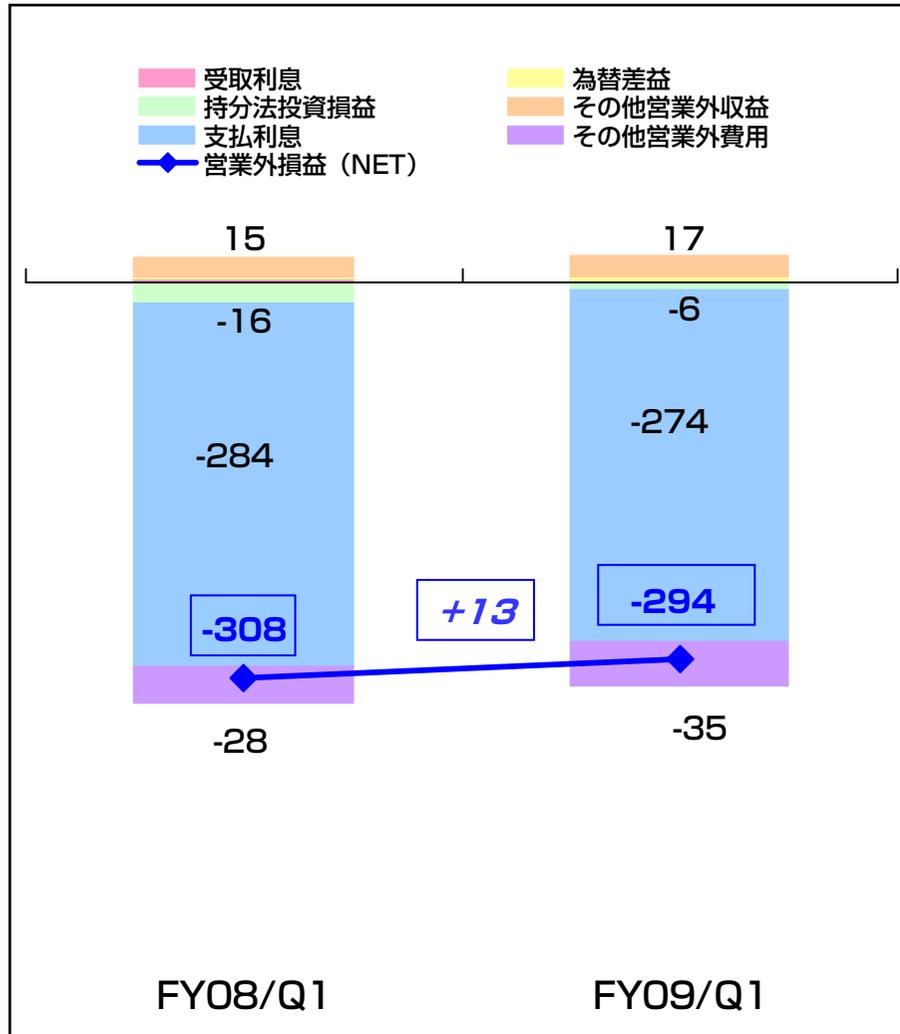
- 売上高の増加 +28億
- ヤフー 売上原価の増加 ▲9億
- ヤフー 業務委託費などの販売費および一般管理費の減少 +2億

営業外損益と経常利益

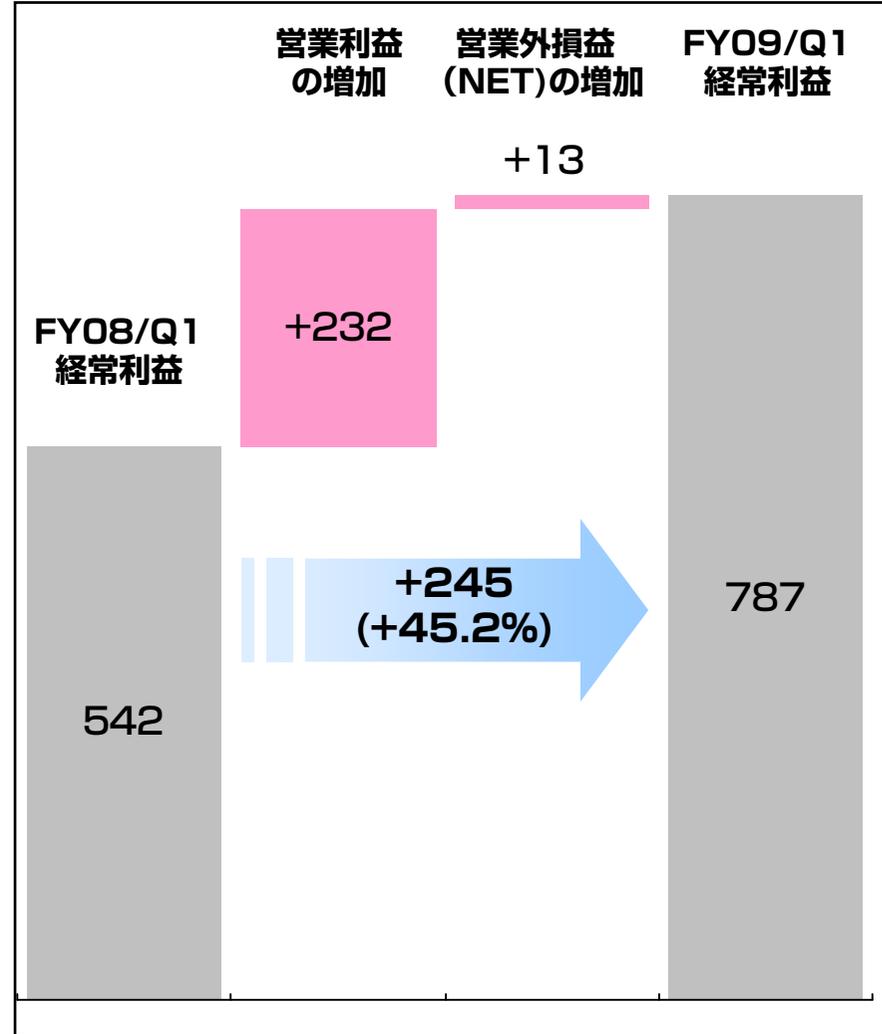
<P/L-4>

<億円>

営業外損益



経常利益

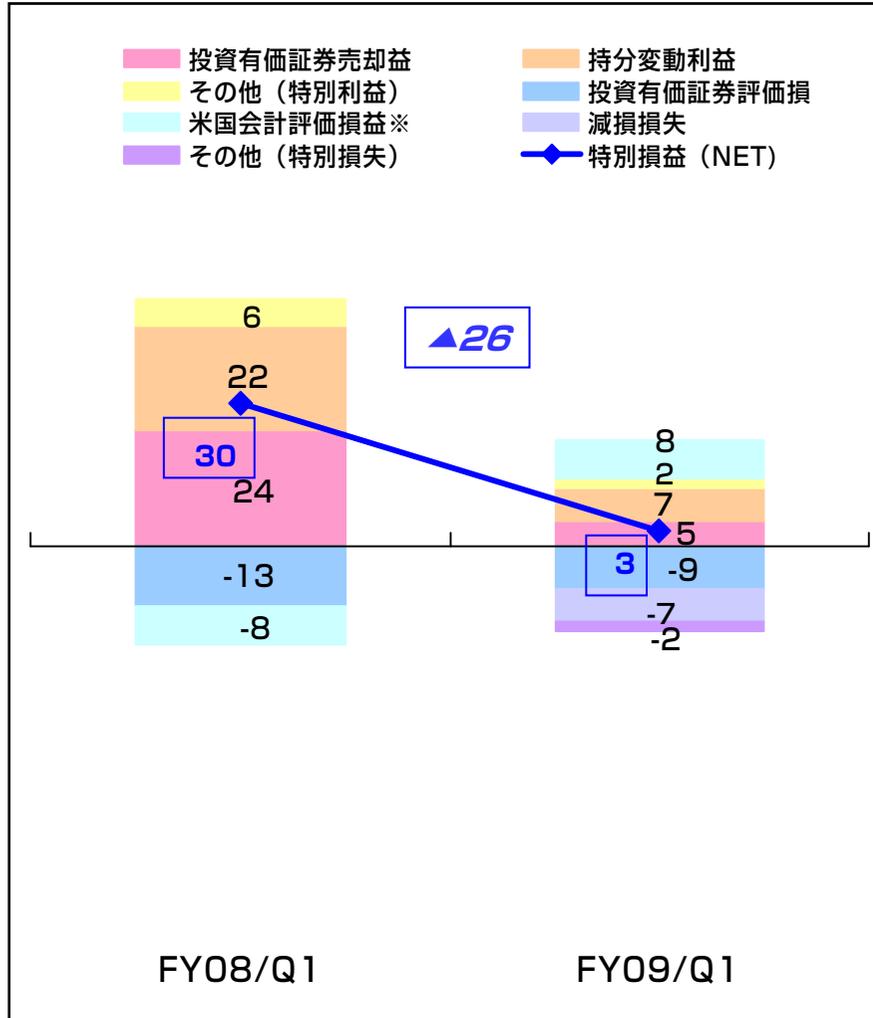


特別損益と税金等調整前四半期純利益

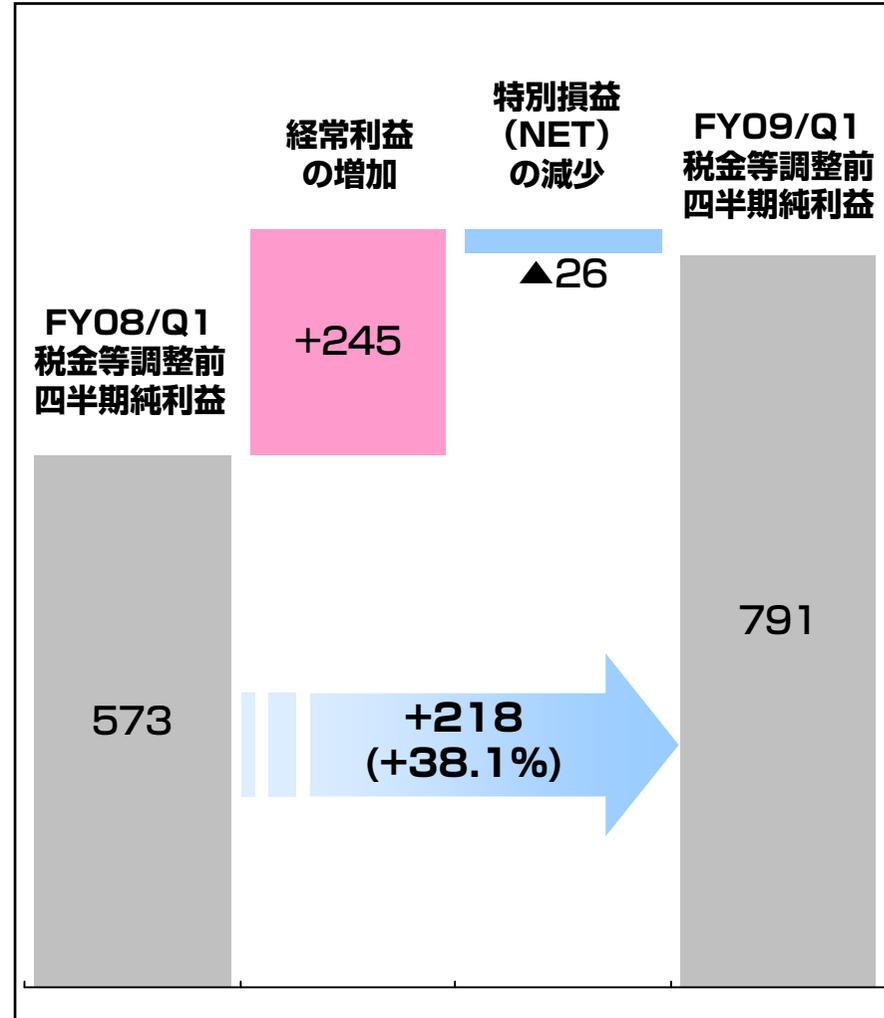
<P/L-5>

<億円>

特別損益



税金等調整前四半期純利益



※米国子会社の投資会社会計に基づく投資有価証券評価及び売却損益を純額で表示

税金・その他調整額の内訳

<P/L-6>

<億円>

主な税金費用の内訳

A	法人税、住民税および事業税	198
	(主な内訳)	
	1. ヤフー	134
	2. SBM 住民税および事業税 (BBM連結納税対象外)	54
B	法人税等調整額	211
	(主な内訳)	
	3. SBM 一時差異解消 (端末在庫の引当金、貸倒引当金など)	81
	4. BBM 連結納税グループ 繰越欠損金利用など	71
	5. SBB 繰越欠損金利用など	52
	6. SBM 減価償却費等調整 (SBM連結時全面時価評価に伴うものの調整)	17
	税金費用合計(A+B)	410

税率差異

<P/L-7>

主な税率差異要因

	率(%)	金額(億円)
税金等調整前四半期純利益		791
法定実効税率	40.7%	322
(主な税率差異要因)		
・ のれん償却 (主にSBM)	7.7%	60
・ 評価性引当額の増減	1.3%	10
・ その他	2.1%	17
法人税等の負担率	51.8%	410

SBM：ソフトバンクモバイル

繰越欠損金 (2009年6月末)

<P/L-8>

<億円>

会社名	前期末残高 〔課税所得 ベース〕	当Q1発生 〔課税所得 ベース〕	当Q1使用 〔課税所得 ベース〕	その他増減	当Q1末残高 〔課税所得 ベース〕	繰延税金資産 (税額ベース)	有効期限
BBモバイル	771	-	▲225	-	546	222	2016年3月~2017年3月
ソフトバンクテレコム	855	61	-	-	916	385	2013年3月~2017年3月
ソフトバンクBB	234	-	▲100	-	134	54	2013年3月
その他	1,291	185	▲21	▲13	1,442	567	2010年3月~2017年3月
全社合計	3,153	246	▲347	▲13	3,039	1,229	

評価性引当額 ▲953

繰越欠損金に係る繰延税金資産B/S計上額 (全社合計) 275

連結B/S增減分析

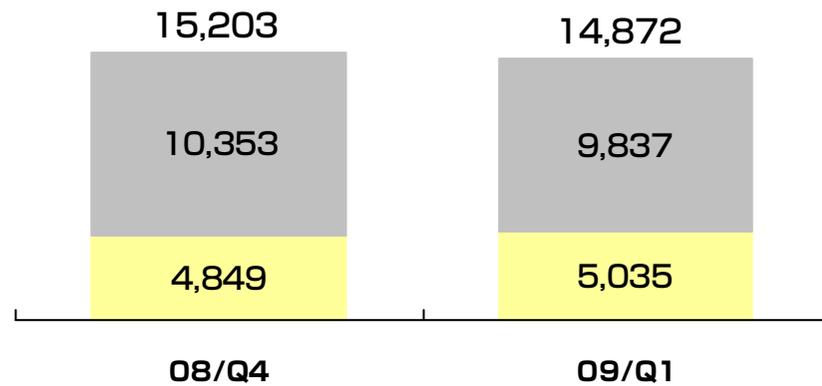
連結B/S 総括

<B/S-1>

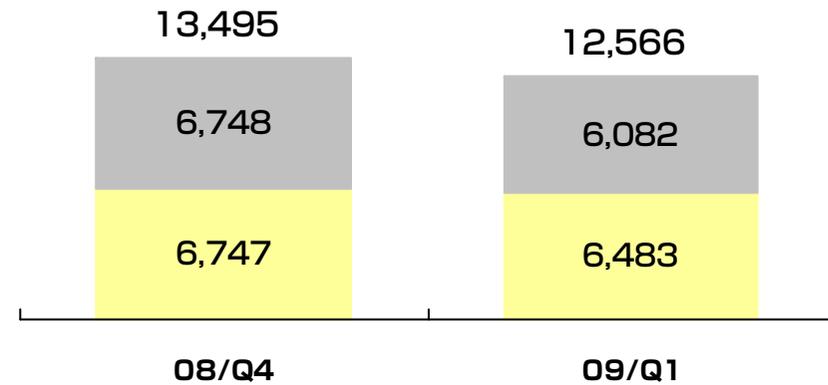
■ SBM ■ SBM以外

<億円>

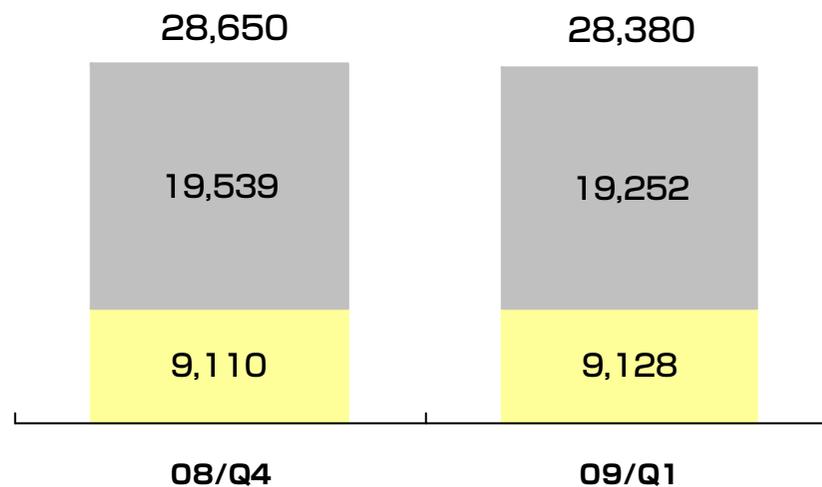
流動資産



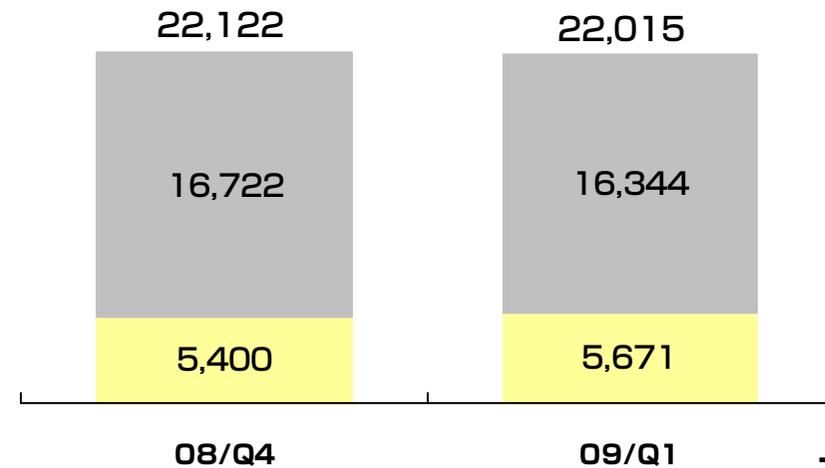
流動負債



固定資産



固定負債



連結B/S (1) 流動資産

<B/S-2>

<億円>

資産	08/Q4	09/Q1	増減	摘要
流動資産	15,203	14,872	▲330	
SBM	10,353	9,837	▲515	
その他	4,849	5,035	185	
現金及び預金	4,579	4,827	248	
SBM	2,666	2,471	▲194	営業活動による増加 (+799) 割賦債権流動化 (調達+702、返済▲601) 新規取得設備のリース化による収支 (入金+25、返済▲214) 固定資産取得による支出 (▲600) SBM借入返済 (▲307)
その他	1,913	2,356	442	SB単体：09/3末 (939) →09/6末 (1,263) 内訳／第27回無担保普通社債の発行 (+600)、新株予約権行使 (+21)、 借入金返済 (▲302)、利息の支払 (▲63)、配当支払 (▲19) ヤフー：09/3末 (164) →09/6末 (325) 内訳／営業活動による増加 (+371) 借入金返済 (▲100)、配当支払 (▲75)
受取手形及び売掛金	8,580	8,100	▲480	
SBM	6,827	6,542	▲284	携帯電話端末の割賦売掛金 09/3末 (4,878) →09/6末 (4,791) 通信収入等売掛金 09/3末 (1,235) →09/6末 (1,228) 携帯電話端末販売 (代理店向け) 09/3末 (664) →09/6末 (482)
その他	1,753	1,558	▲195	SBB：09/3末 (688) →09/6末 (581) SBTM：09/3末 (545) →09/6末 (475)
商品及び製品	423	429	6	
SBM	323	324	1	携帯電話端末など
その他	100	104	4	
繰延税金資産	930	749	▲180	
SBM	425	352	▲72	
その他	505	396	▲108	BBM：繰越欠損金利用など (▲67) SBB：繰越欠損金利用など (▲47)
その他	1,177	1,207	29	
SBM	523	528	4	
その他	654	679	24	
貸倒引当金	▲488	▲442	46	
SBM	▲411	▲381	29	
その他	▲77	▲60	16	

SBM：ソフトバンクモバイル SBB：ソフトバンクBB SBTM：ソフトバンクテレコム BBM：BBモバイル

連結B/S (2) 有形固定資産

<B/S-3>

<億円>

資産	08/Q4	09/Q1	増減	摘要
固定資産	28,650	28,380	▲269	
SBM	19,539	19,252	▲287	
その他	9,110	9,128	18	
有形固定資産	10,009	9,836	▲172	
SBM	6,971	6,868	▲102	
その他	3,038	2,968	▲70	
建物及び構築物	715	722	6	
SBM	294	287	▲6	ネットワークセンターなど
その他	421	434	13	
通信機械設備	7,389	7,296	▲93	
SBM	6,040	5,978	▲62	機械設備取得(+192)、空中線設備等取得(+14)、償却等(▲269)
その他	1,348	1,318	▲30	SBTM: 09/3末(1,024)→09/6末(1,000) SBB: 09/3末(277)→09/6末(261)
通信線路設備	796	776	▲19	
SBM	89	87	▲1	
その他	706	688	▲17	SBTM: 09/3末(706)→09/6末(688)
土地	225	225	▲0	
SBM	108	108	0	
その他	117	117	▲0	
建設仮勘定	374	309	▲65	
SBM	173	152	▲20	
その他	201	156	▲44	SBTM: 09/3末(140)→09/6末(125)
その他	507	506	▲0	
SBM	264	254	▲10	
その他	242	252	9	

連結B/S (3) 無形固定資産

<B/S-4>

<億円>

資産	08/Q4	09/Q1	増減	摘要
無形固定資産	12,221	12,026	▲194	
SBM	10,774	10,627	▲146	
その他	1,446	1,399	▲47	
のれん	9,567	9,409	▲157	
SBM	8,785	8,656	▲128	償却による減少
その他	781	752	▲29	償却による減少
ソフトウェア	2,261	2,227	▲33	
SBM	1,897	1,862	▲35	
その他	363	365	2	
その他	392	389	▲3	
SBM	91	108	17	
その他	300	280	▲20	
投資その他の資産	6,419	6,517	97	
SBM	1,793	1,755	▲37	
その他	4,626	4,761	135	
投資有価証券	3,201	3,450	249	
SBM	17	21	3	
その他	3,183	3,429	246	Yahoo! Inc.の株価上昇 (+130)
繰延税金資産	1,582	1,549	▲33	
SBM	1,285	1,261	▲24	
その他	296	287	▲9	
その他	2,007	1,866	▲141	
SBM	810	766	▲44	
その他	1,197	1,100	▲96	SBH:デリバティブ資産 (▲118)
貸倒引当金 (長期)	▲371	▲349	21	
SBM	▲319	▲292	26	
その他	▲51	▲56	▲5	
繰延資産	13	19	6	
SBM	-	-	-	
その他	13	19	6	

SBM : ソフトバンクモバイル SBB : ソフトバンクBB SBTM : ソフトバンクテレコム SBH : SOFTBANK Holdings Inc.

連結B/S (4) 流動負債

<B/S-5>

<億円>

負債	08/Q4	09/Q1	増減	摘要
流動負債	13,495	12,566	▲929	
SBM	6,748	6,082	▲665	
その他	6,747	6,483	▲263	
支払手形及び買掛金	1,603	1,485	▲118	
SBM	1,005	999	▲5	商品(端末、付属品)仕入債務の支払いなど
その他	598	485	▲112	SBB：09/3末(383)→09/6末(282) SBTM：09/3末(55)→09/6末(45)
短期借入金	5,755	5,408	▲346	
SBM	1,857	1,892	35	主に割賦債権流動化債務
その他	3,897	3,516	▲381	SB単体：09/3末(3,360)→09/6末(3,008) SBTM：09/3末(209)→09/6末(209) ヤフー：09/3末(200)→09/6末(200)
1年内償還予定の社債	640	840	200	
SBM	-	-	-	
その他	640	840	200	SB単体：第24回無担保普通社債の長期からの振替(+200)
未払金及び未払費用	3,521	2,913	▲607	
SBM	2,688	2,093	▲594	代理店未払金減(▲348)、設備未払金減(▲312)
その他	833	819	▲13	
リース債務	882	894	12	
SBM	867	879	11	長期からの振替(+226)、リース料支払い(▲214)
その他	15	15	0	
その他	1,092	1,024	▲68	
SBM	331	217	▲113	
その他	761	806	44	

連結B/S (5) 固定負債

<B/S-6>

<億円>

負債	08/Q4	09/Q1	増減	摘要
固定負債	22,122	22,015	▲107	
SBM	16,722	16,344	▲378	
その他	5,400	5,671	271	
社債	3,245	3,619	373	
SBM	-	-	-	
その他	3,245	3,619	373	SB単体：第27回無担保普通社債の発行(+600)、 第24回無担保普通社債の1年内償還予定の社債への振替(▲200)
長期借入金	14,362	14,032	▲330	
SBM	13,057	12,815	▲241	SBM借入 09/3末(11,848)→09/6末(11,541) ポータフォン劣後ローン 09/3末(845)→09/6末(845) 割賦債権流動化による借入 09/3末(362)→09/6末(428)
その他	1,305	1,217	▲88	SB単体：09/3末(50)→09/6末(100) ヤフー：09/3末(100)→09/6末(-)
繰延税金負債	287	300	12	
SBM	-	-	-	
その他	287	300	12	
ポイント引当金	418	444	26	
SBM	418	444	26	利用顧客に対するポイント割引
その他	-	-	-	
リース債務	2,333	2,132	▲200	
SBM	2,276	2,075	▲201	新規調達(+25)、1年内へ振替(▲226)
その他	56	57	0	
その他	1,475	1,486	11	
SBM	970	1,008	38	社債のデット・アサンプションに係る追加信託義務(長期末払金750)
その他	504	477	▲27	

SBM：ソフトバンクモバイル SBB：ソフトバンクBB SBTM：ソフトバンクテレコム

連結B/S (6) 純資産

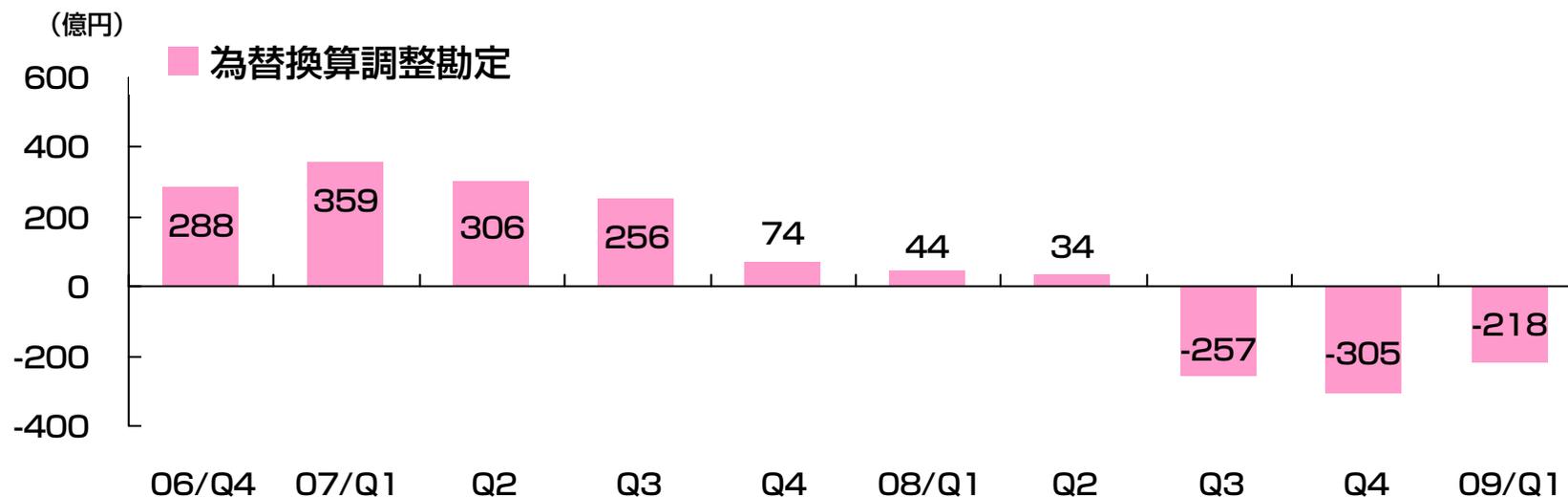
<B/S-7>

<億円>

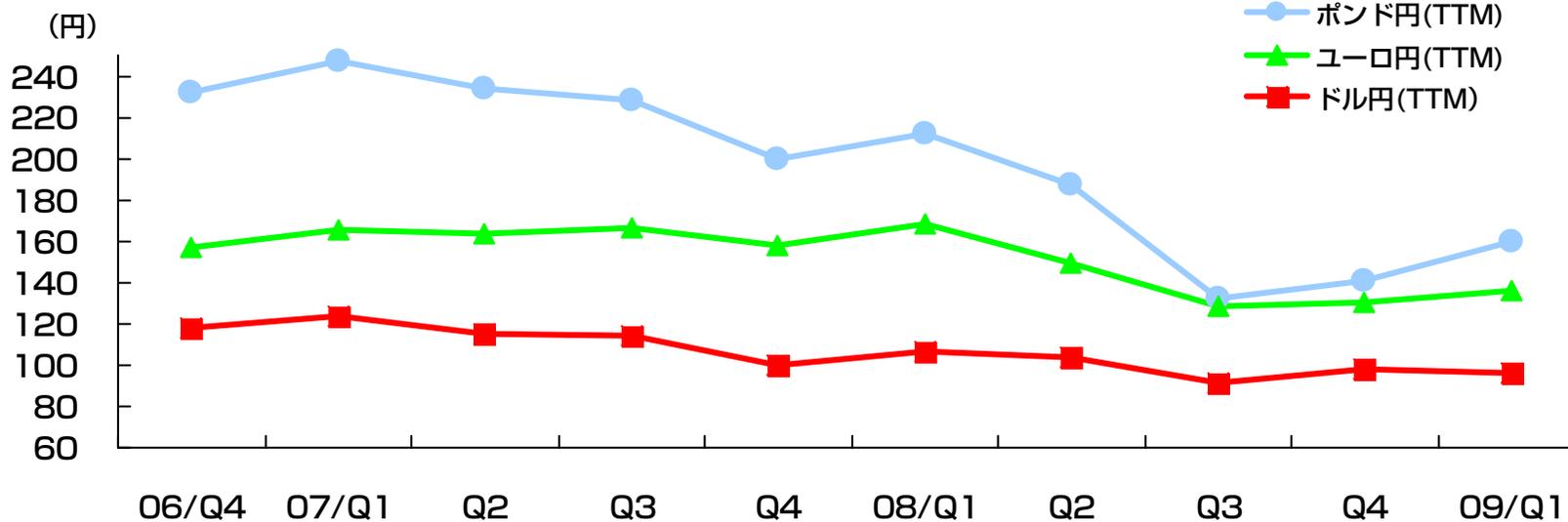
純資産	08/Q4	09/Q1	増減	摘要
純資産の部	8,247	8,691	443	
株主資本	3,481	3,748	266	
資本金	1,876	1,887	10	新株予約権行使
資本剰余金	2,119	2,130	10	新株予約権行使
利益剰余金	▲ 512	▲266	245	四半期純利益 (+273)、配当金 (▲27)
自己株式	▲ 2	▲2	▲0	
評価・換算差額等	258	367	108	
その他有価証券評価差額金	313	408	94	Yahoo! Inc.の株価上昇など
繰延ヘッジ損益	251	177	▲73	
為替換算調整勘定	▲ 305	▲218	87	
新株予約権	2	3	0	
少数株主持分	4,504	4,571	67	BBM 09/6末 (3,000) ※Vodafone International Holdings B.V.に対する優先株 ヤフー 09/3末 (1,322) →09/6末 (1,384)

[純資産]為替変動による為替換算調整勘定への影響

<B/S-8>

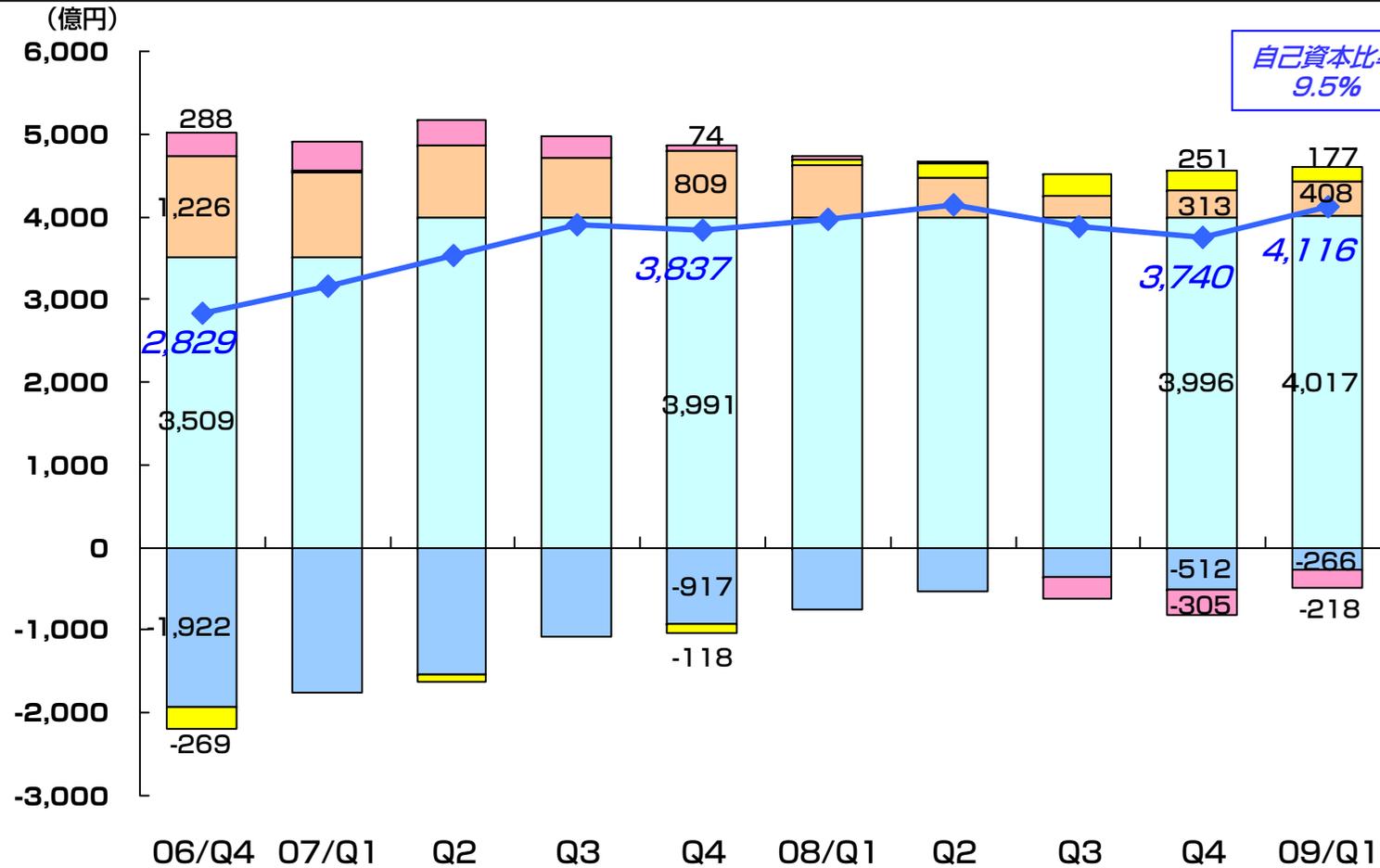


<参考> 主要な為替レートの推移



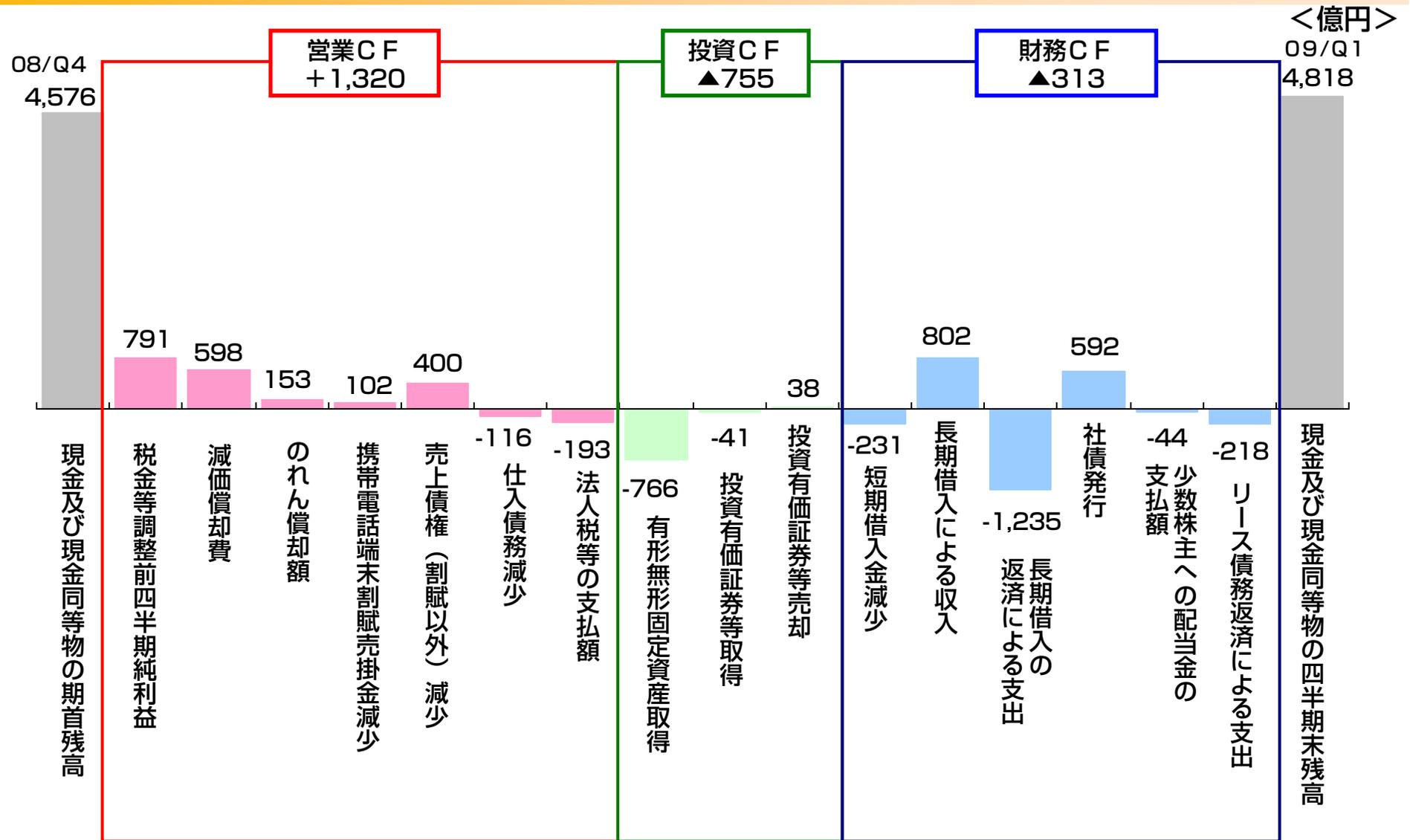
[純資産]自己資本の推移

<B/S-9>



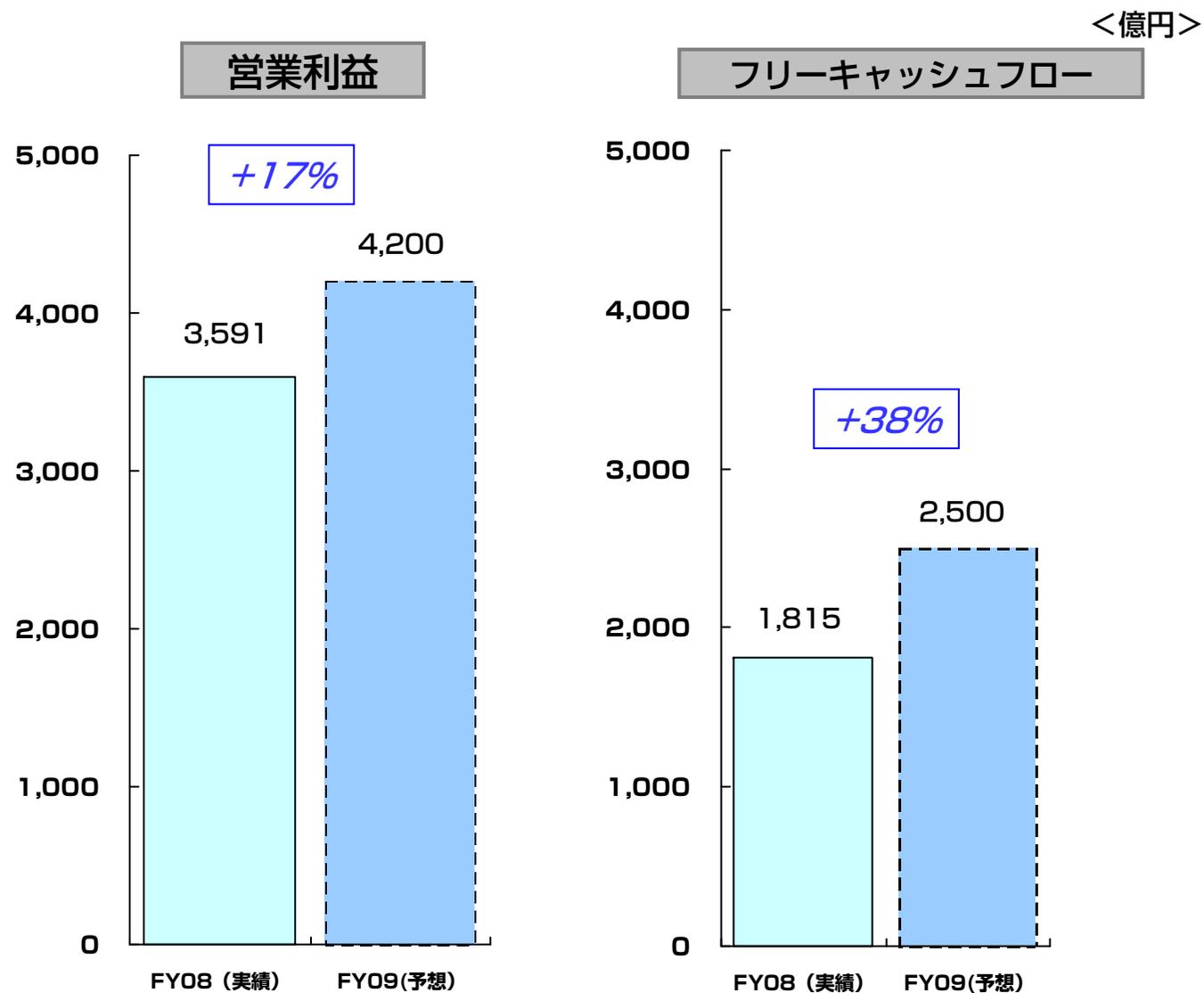
連結C/F增減分析

連結キャッシュフロー 主な内訳



※ 連結キャッシュフロー計算書に記載している項目のうち、金額の大きいものを記載しています。

連結業績の見通し



定義：フリーキャッシュフロー(FCF) = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

連結範囲および持分法適用の範囲

	社数	主な会社名
連結子会社数	110	ソフトバンクモバイル、ソフトバンクBB、ソフトバンクテレコム、ヤフー、ソフトバンク・テクノロジー、アイティメディアなど
新たに連結子会社となった会社数	5	
連結の範囲から除外された会社数	3	
非連結子会社数 (=①+②)	67	重要性の低い小規模な会社
持分法適用非連結子会社数 ①	5	
新たに持分法適用となった会社数	1	
持分法適用関連会社数	59	ガンホー・オンライン・エンターテイメント、マイスペース、Alibaba Group Holding Limitedなど
新たに持分法適用となった会社数	-	
持分法適用から除外された会社数	11	
持分法非適用非連結子会社数 ②	62	重要性の低い小規模な会社
持分法非適用関連会社数	26	重要性の低い小規模な会社

	連結子会社数	持分法適用会社数	主なグループ会社	主な事業内容
移動体通信事業	6	2	ソフトバンクモバイル (SBM)	携帯電話サービスの提供、携帯電話端末の販売など
ブロードバンド・インフラ事業	6	1	ソフトバンクBB (SBB)	ADSL,光ファイバーによる高速インターネット接続サービス提供など
固定通信事業	3	-	ソフトバンクテレコム (SBTM)	固定通信サービスの提供など
インターネット・カルチャー事業	19	12	ヤフー	インターネット上の広告事業など
イーコマース事業	7	4	ソフトバンクBB、ベクター、カービュー	PC向けソフトウェア、PCや周辺機器等のハードウェアの流通、電子商取引など
その他の事業	69	45	ソフトバンク・テクノロジー、アイティメディア	テクノロジー・サービス事業、メディア・マーケティング事業、海外ファンド事業など
合計	110	64		

※ SBB、SBTM、ヤフーは複数のセグメントに属する事業を営んでいますが、SBBはブロードバンド・インフラ事業、SBTMは固定通信事業、ヤフーはインターネット・カルチャー事業の連結子会社にそれぞれ含めています。



財務編

ソフトバンク株式会社
財務部長

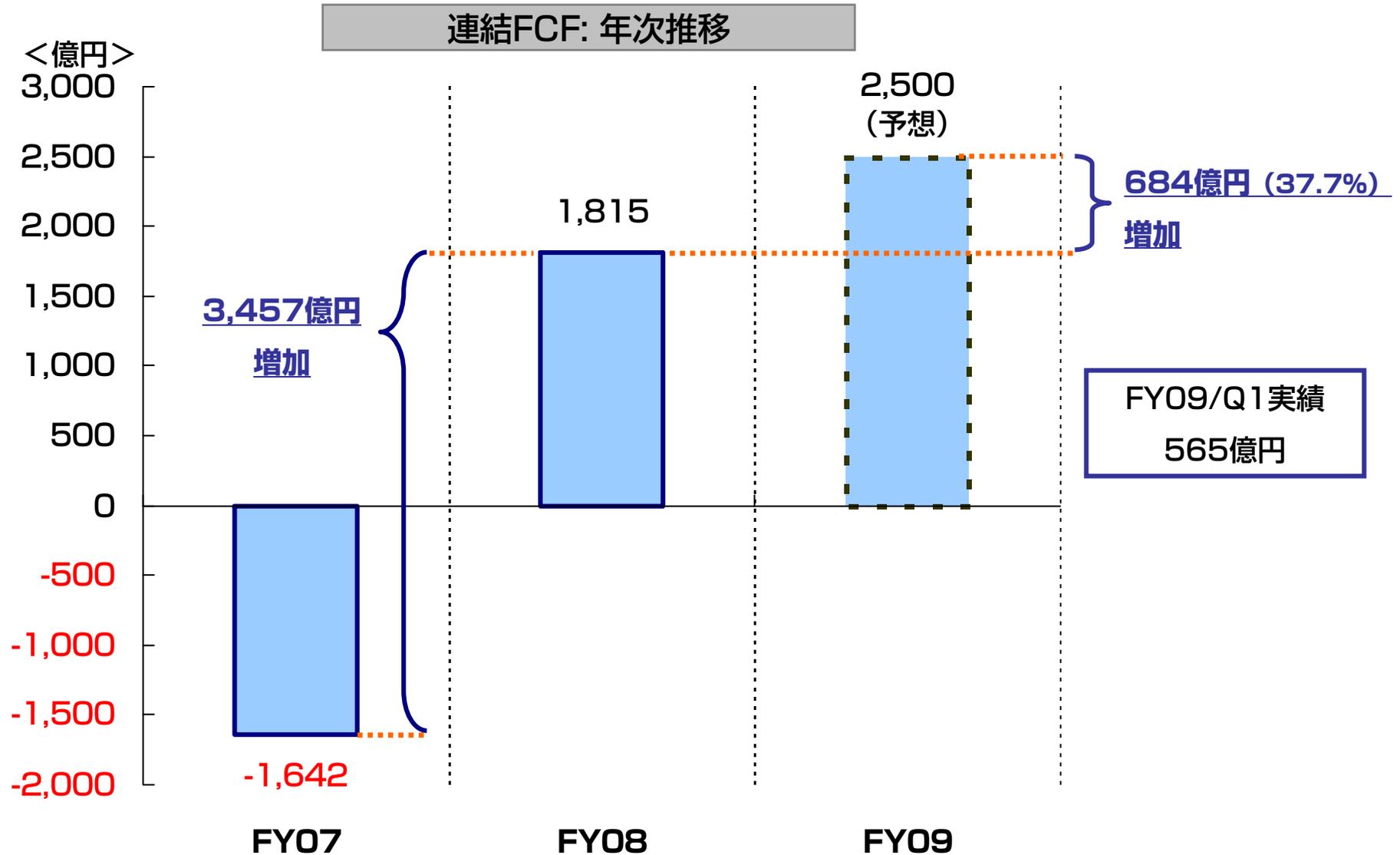
後藤 芳光

※5月1日付で関連事業室を廃止し、財務部と一元化いたしました。

2009年度の主な財務活動

年月	内容	金額（億円）
2009年6月	第27回無担保普通社債発行 （福岡ソフトバンクホークスbond）	600
2009年6月	携帯事業割賦債権流動化調達（第9回）	702
2009年7月	第28回無担保普通社債発行	300

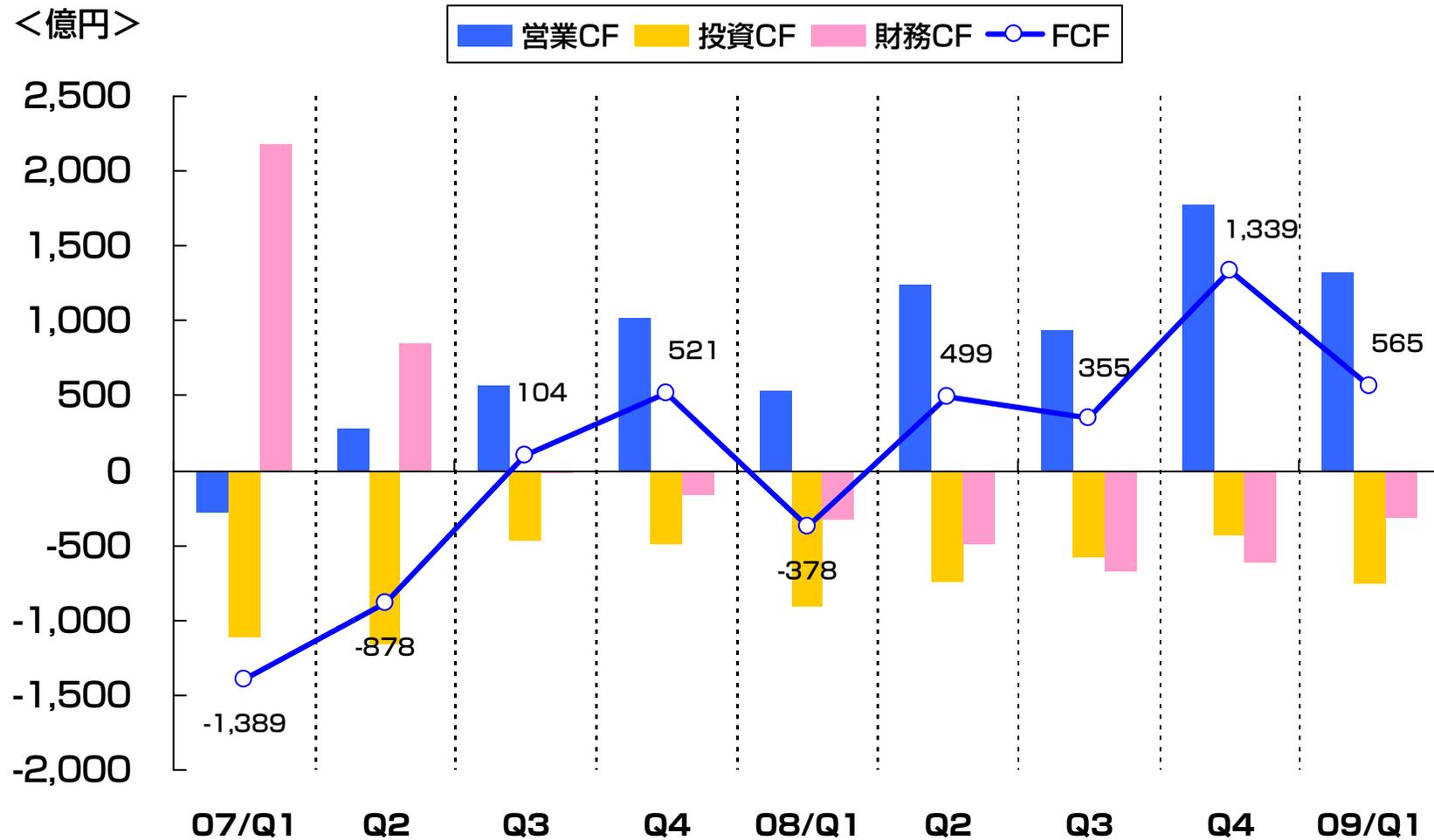
フリーキャッシュフロー実績／予想



定義：フリーキャッシュフロー(FCF) = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

キャッシュフローの推移

連結CF: 年次推移

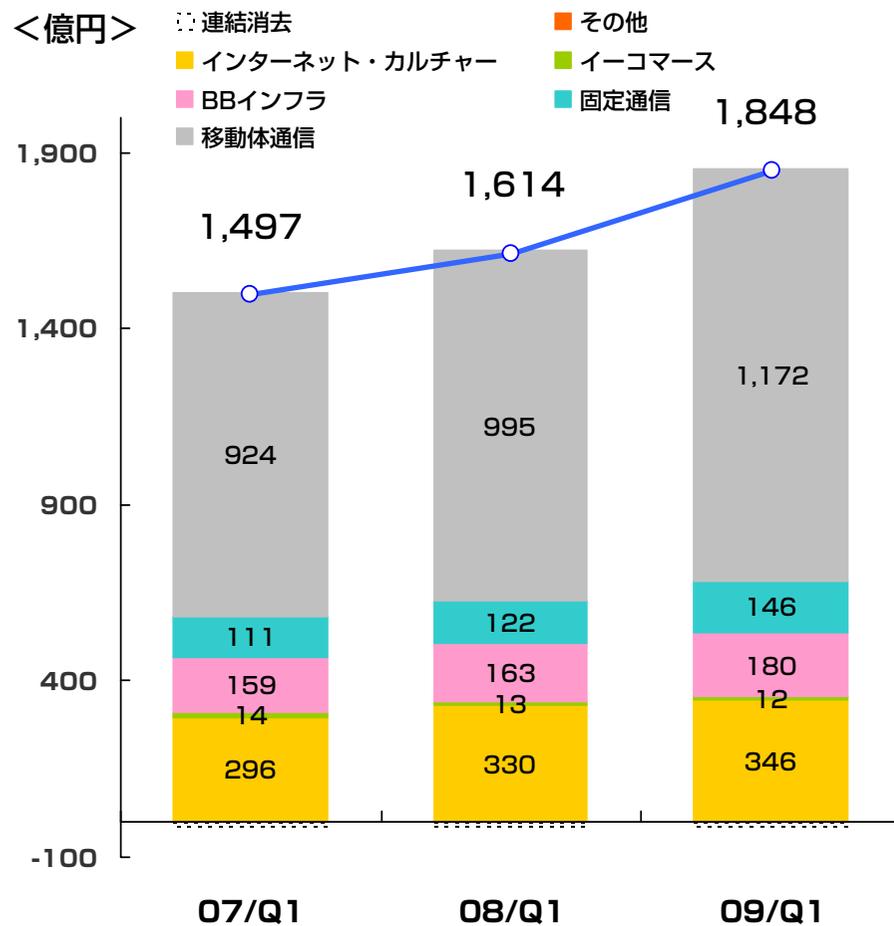


定義：フリーキャッシュフロー(FCF) = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

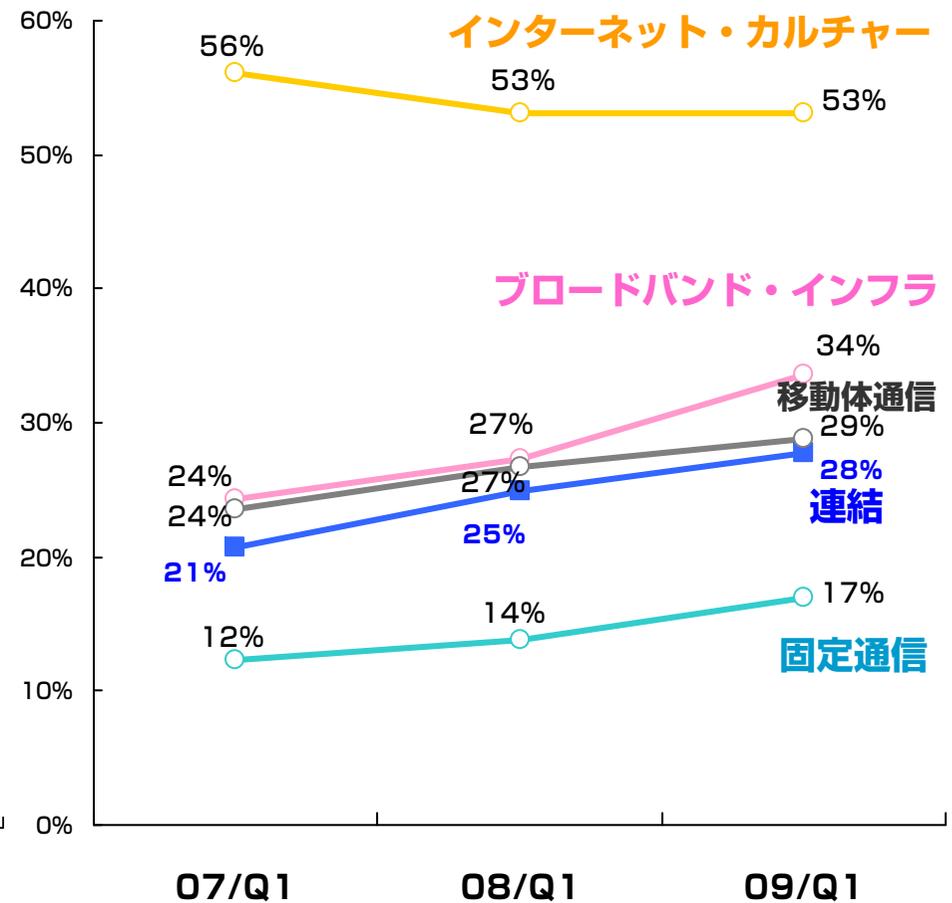
EBITDA・EBITDAマージン（セグメント別）

■各セグメントともにEBITDAは着実に成長

連結EBITDA

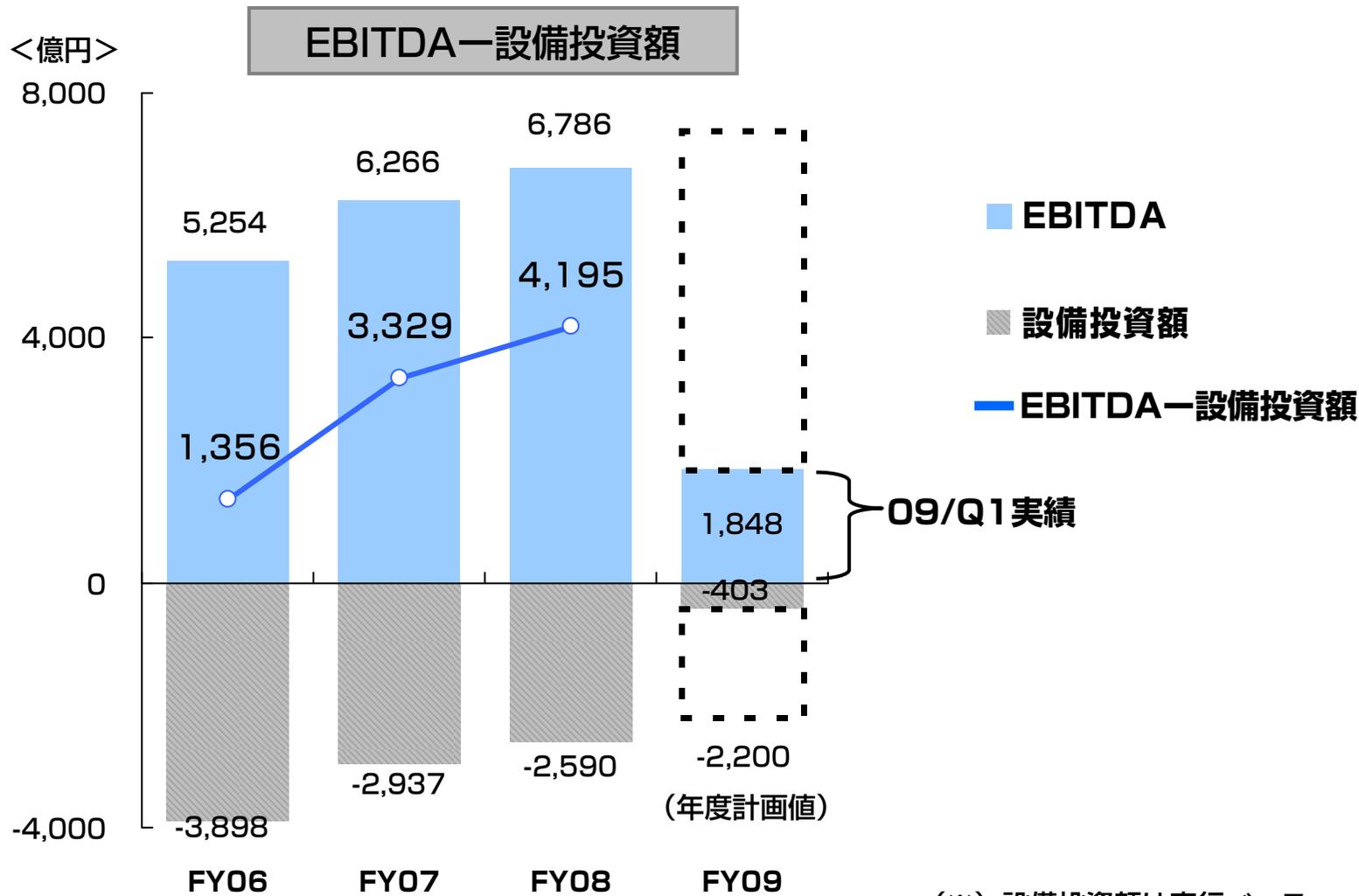


EBITDAマージン

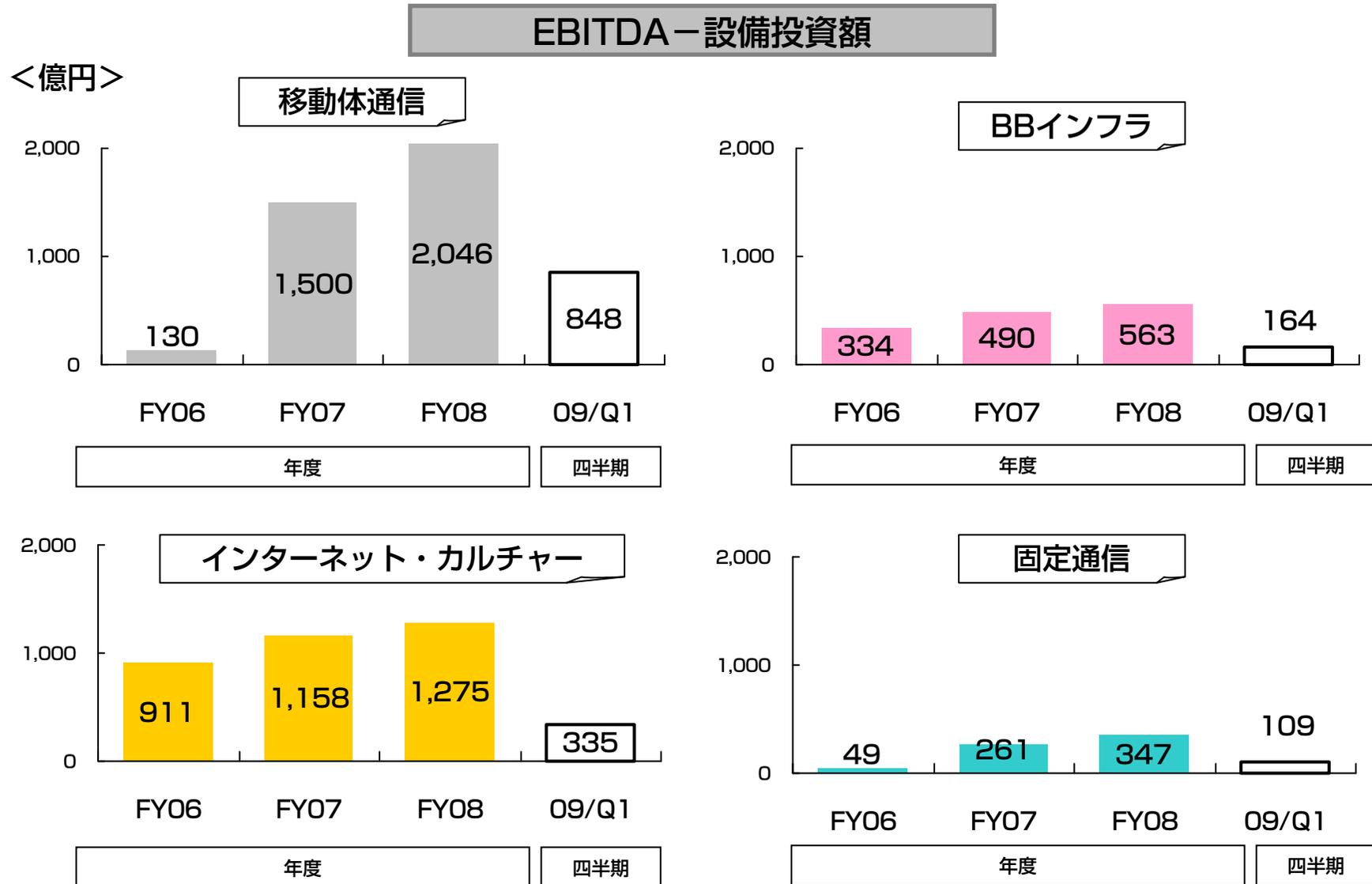


EBITDA－設備投資額

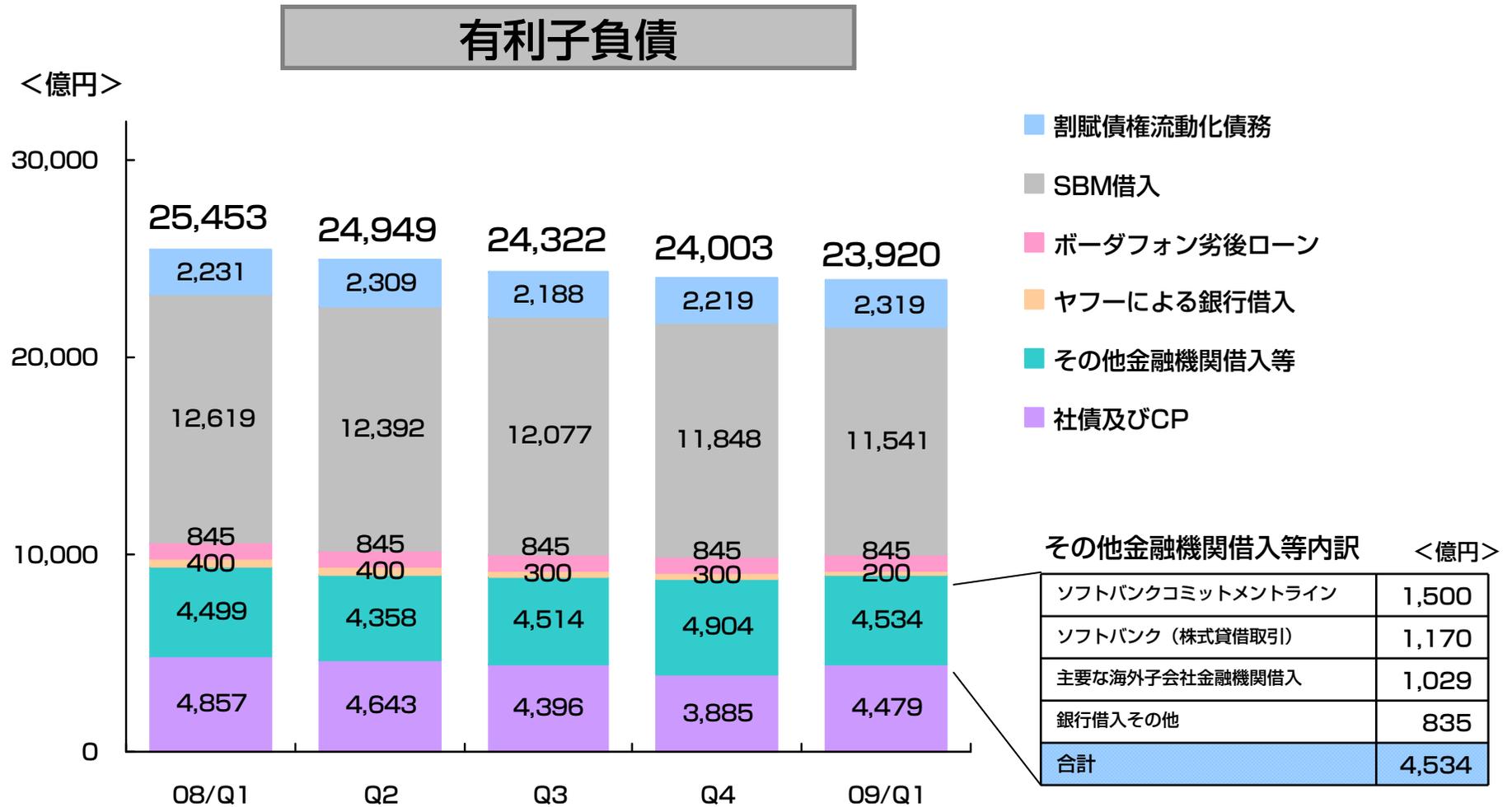
EBITDAの拡大により着実に増加



EBITDA－設備投資額（主要セグメント別）

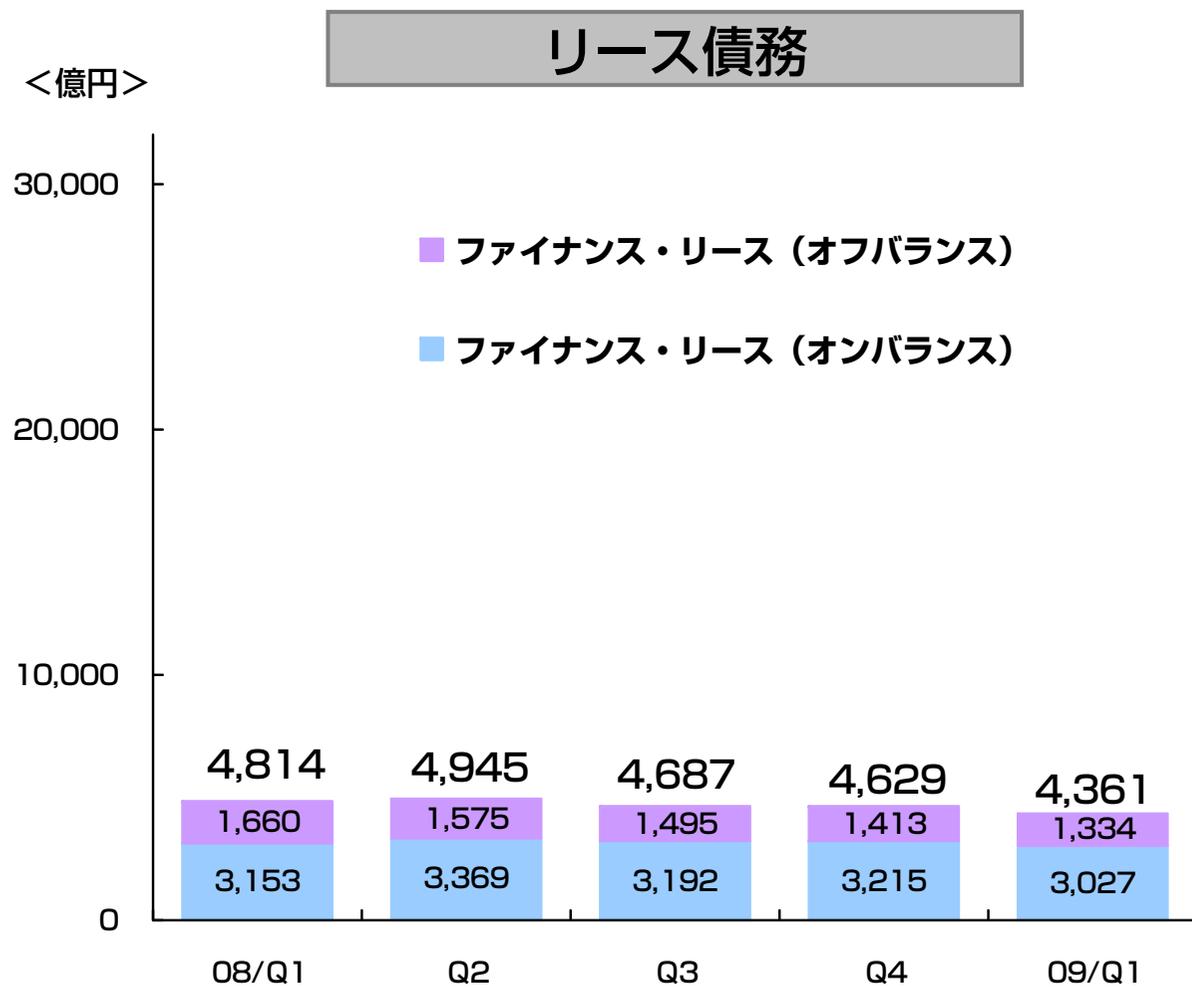


有利子負債（調達手段別）

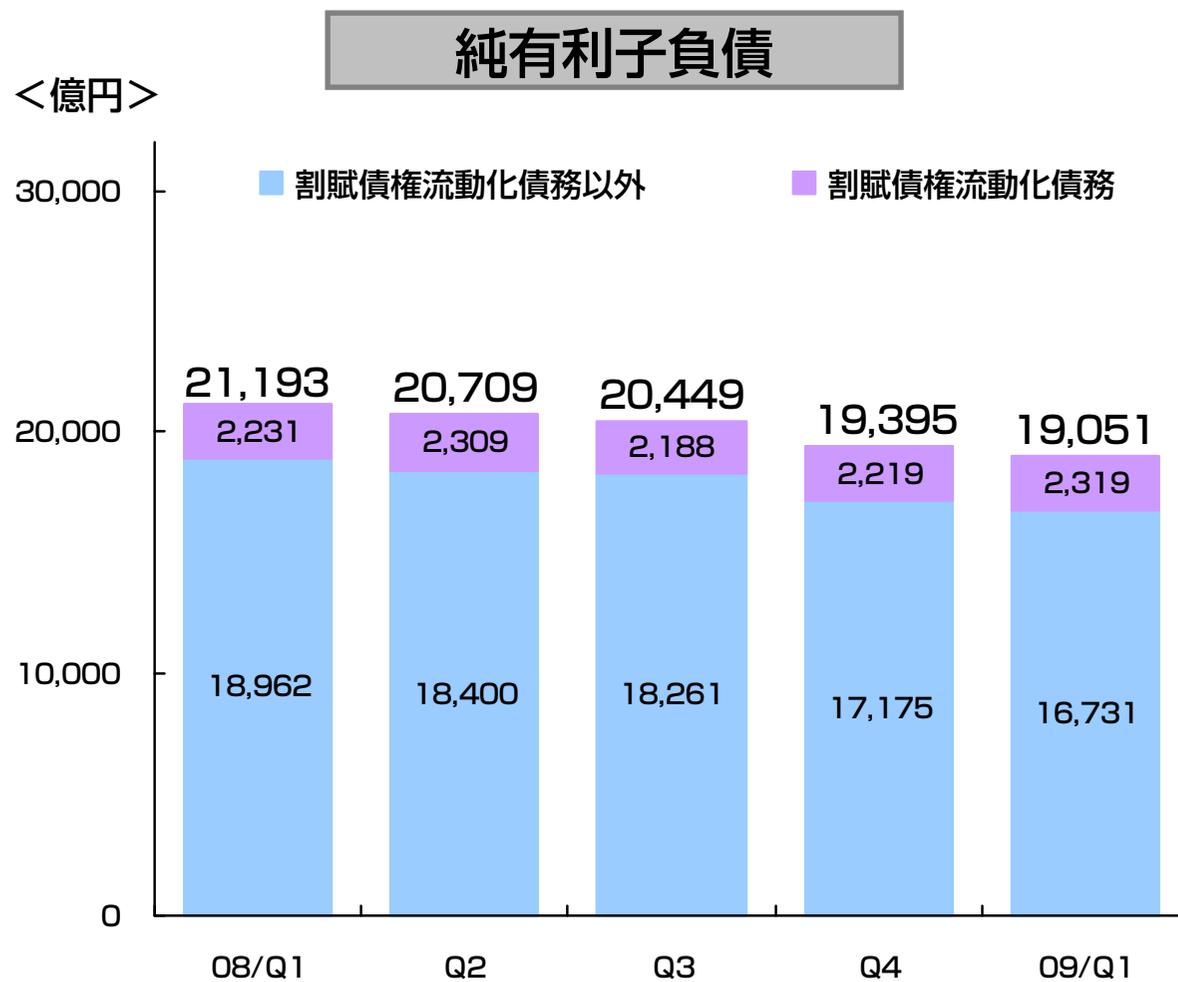


(※)有利子負債にはリース債務は含んでおりません。リース債務は次ページをご参照ください。

リース債務



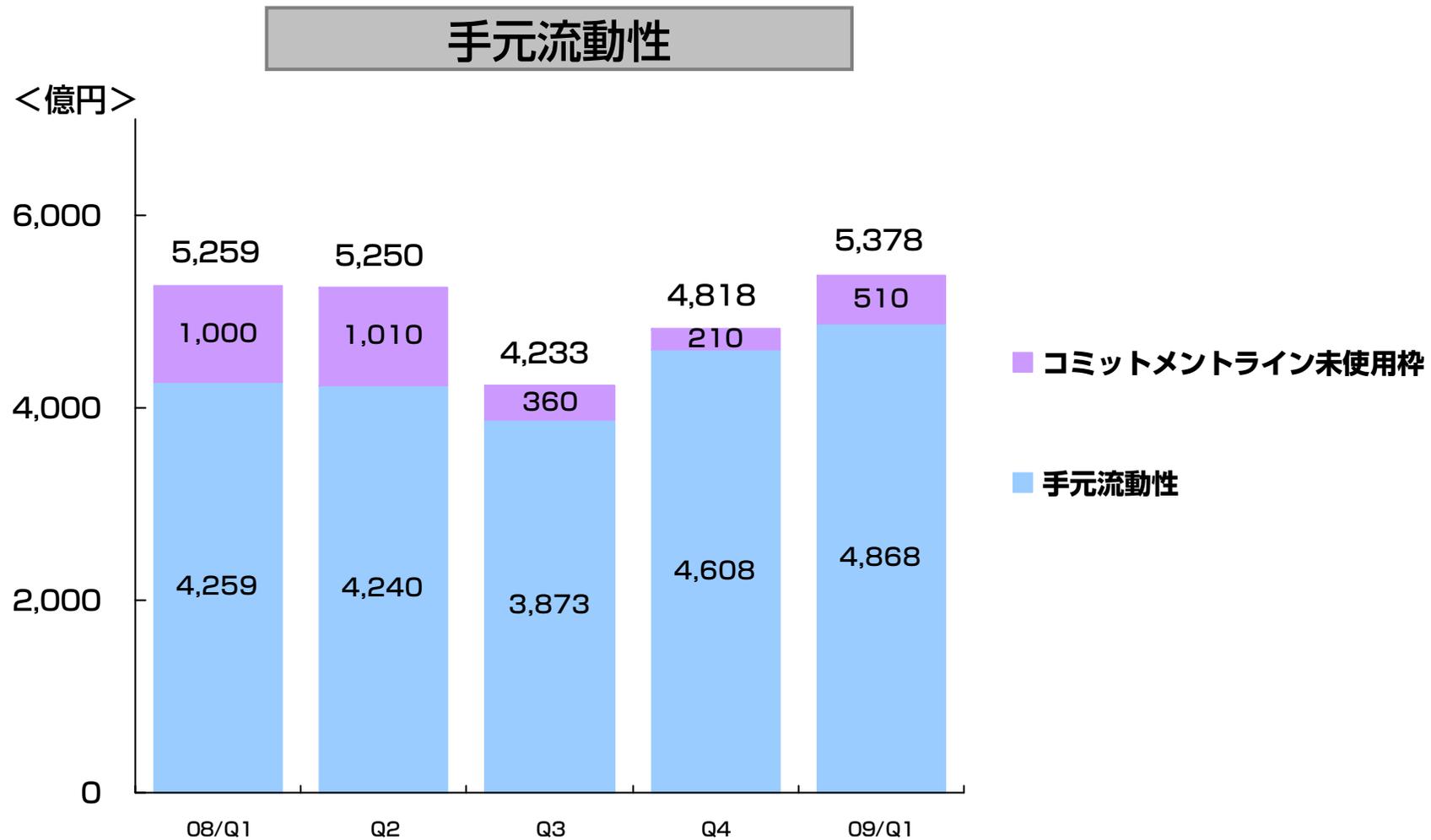
純有利子負債



定義：純有利子負債＝有利子負債－手元流動性

(※)有利子負債にはリース債務は含んでおりません。

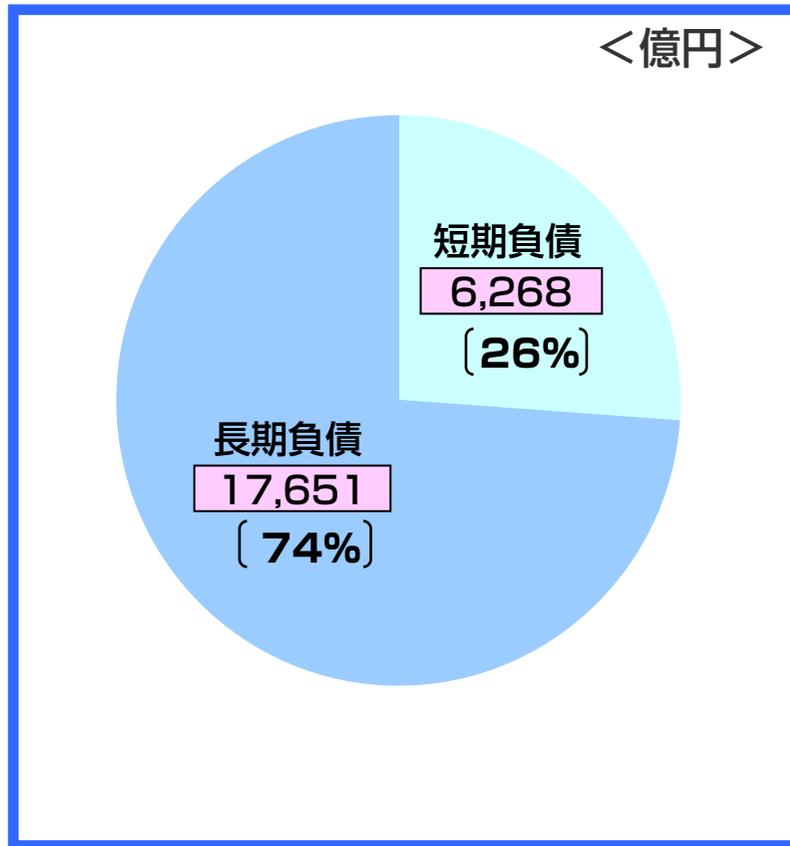
手元流動性



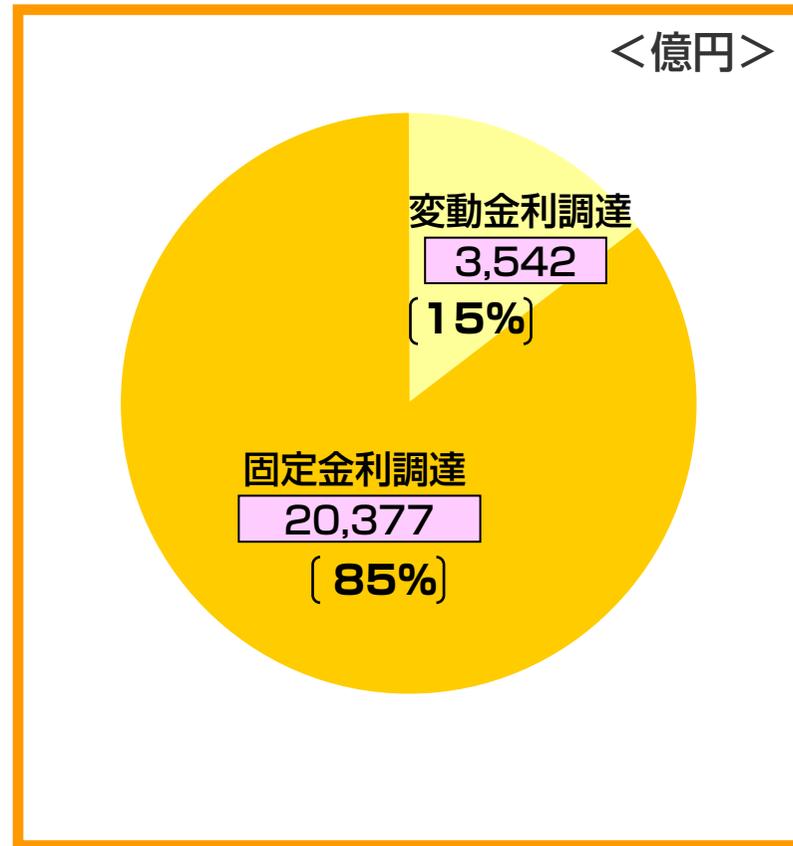
定義：手元流動性＝現預金及び流動性有価証券
コミットメントライン未使用枠＝コミットメントライン枠総額－コミットメントライン借入額

有利子負債の長短・固変比率(09年6月末)

有利子負債
長短比率

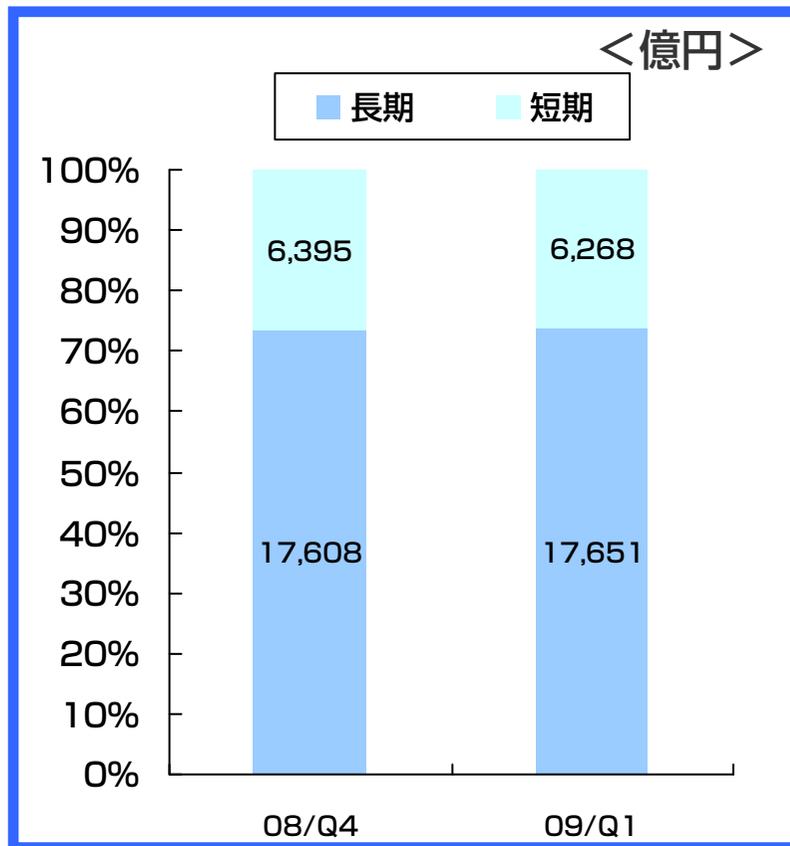


有利子負債
固定変動比率

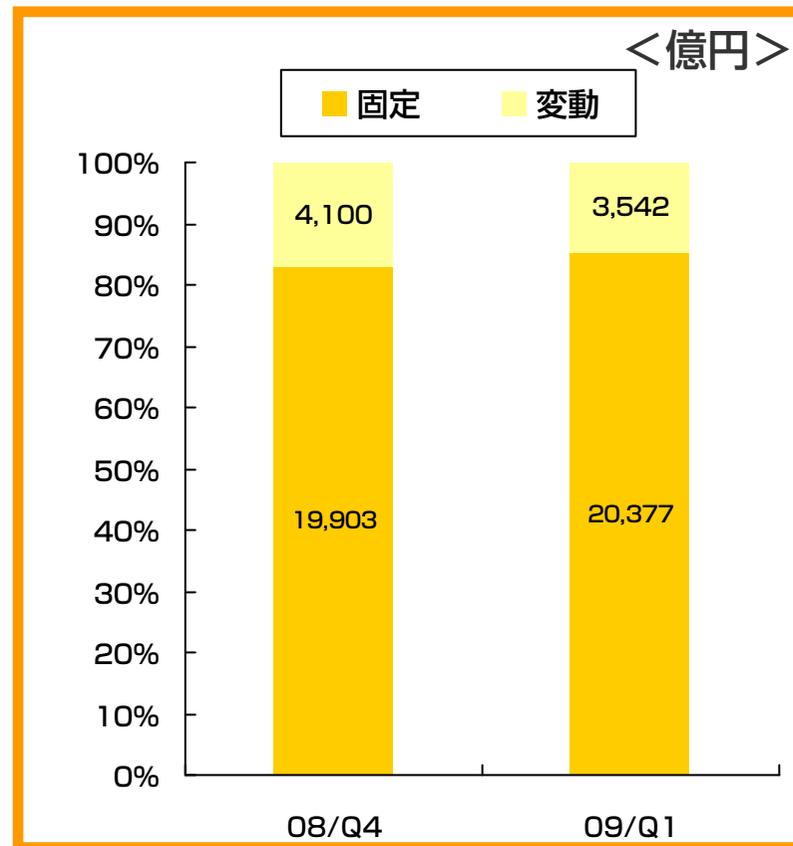


有利子負債の長短・固変比率

有利子負債
長短比率



有利子負債
固定変動比率



1年内返済債務の内訳（09年6月末）

		＜億円＞
短期借入金	2,981	
コミットメントライン（SB）	1,500	
株式貸借取引に係る預り担保金	1,170	
銀行借入（SB）	288	
その他	23	
1年内長期借入金	2,427	
割賦債権流動化債務（SBM）	1,891	
銀行借入（SBTM）	200	
銀行借入（ヤフー）	200	
銀行借入（SB）	50	
その他	85	
1年内償還社債&CP	860	
普通社債（SB）	390	
普通社債（SBTM）	450	
CP	20	
合計	6,268	

（※）2013年満期の新株予約権付転換社債500億円については、2010年3月期第4四半期において、債券保有者のプットオプション行使による繰上償還の可能性がります。

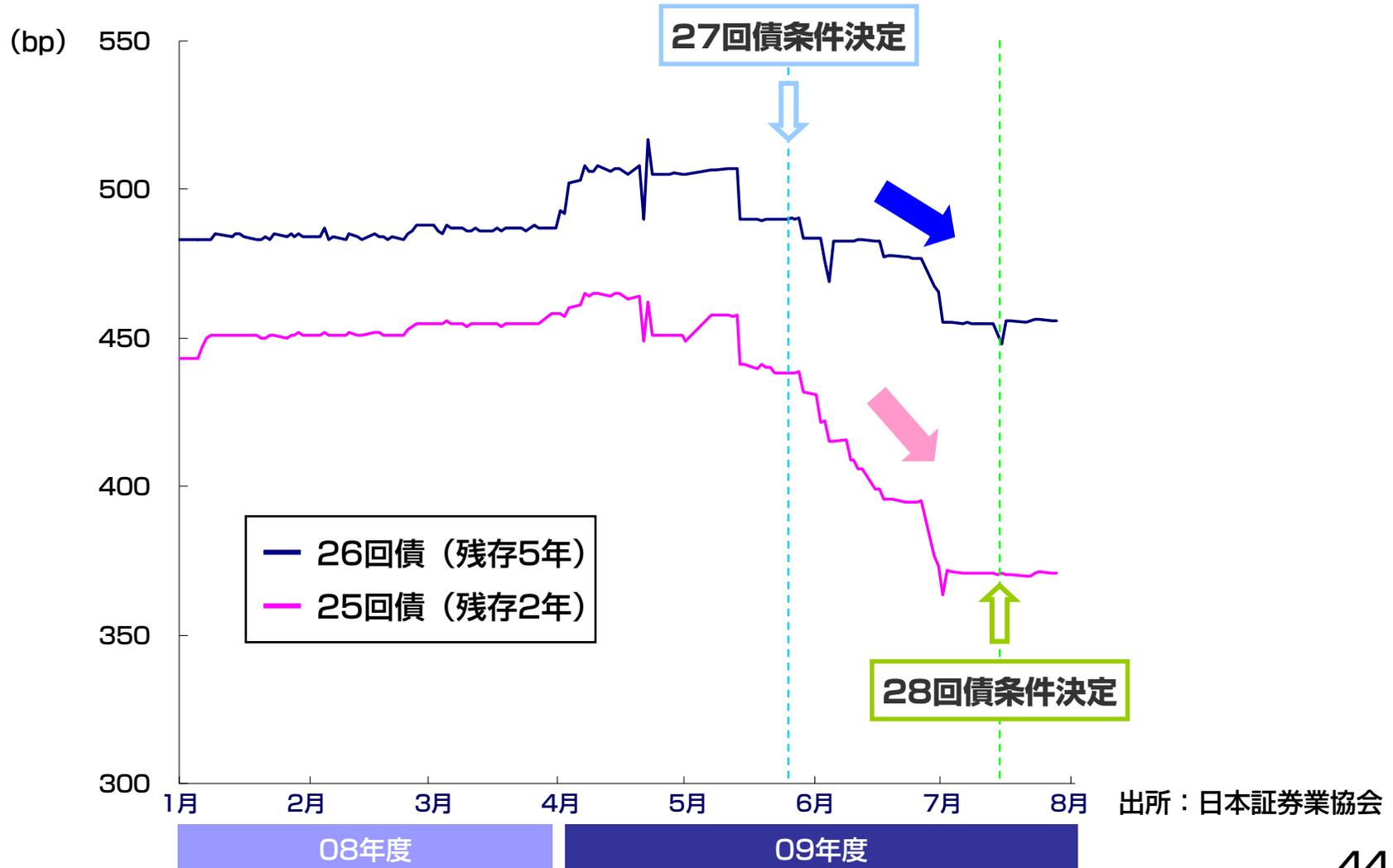
2年ぶりの社債発行

6月	第27回無担保普通社債 (福岡ソフトバンクホークスbond)	600億円 (個人投資家向け)
7月	第28回無担保普通社債	300億円 (機関投資家向け)

- 長期安定資金の確保
- 社債市場へのアクセス再開
- 純有利子負債削減方針に変更なし

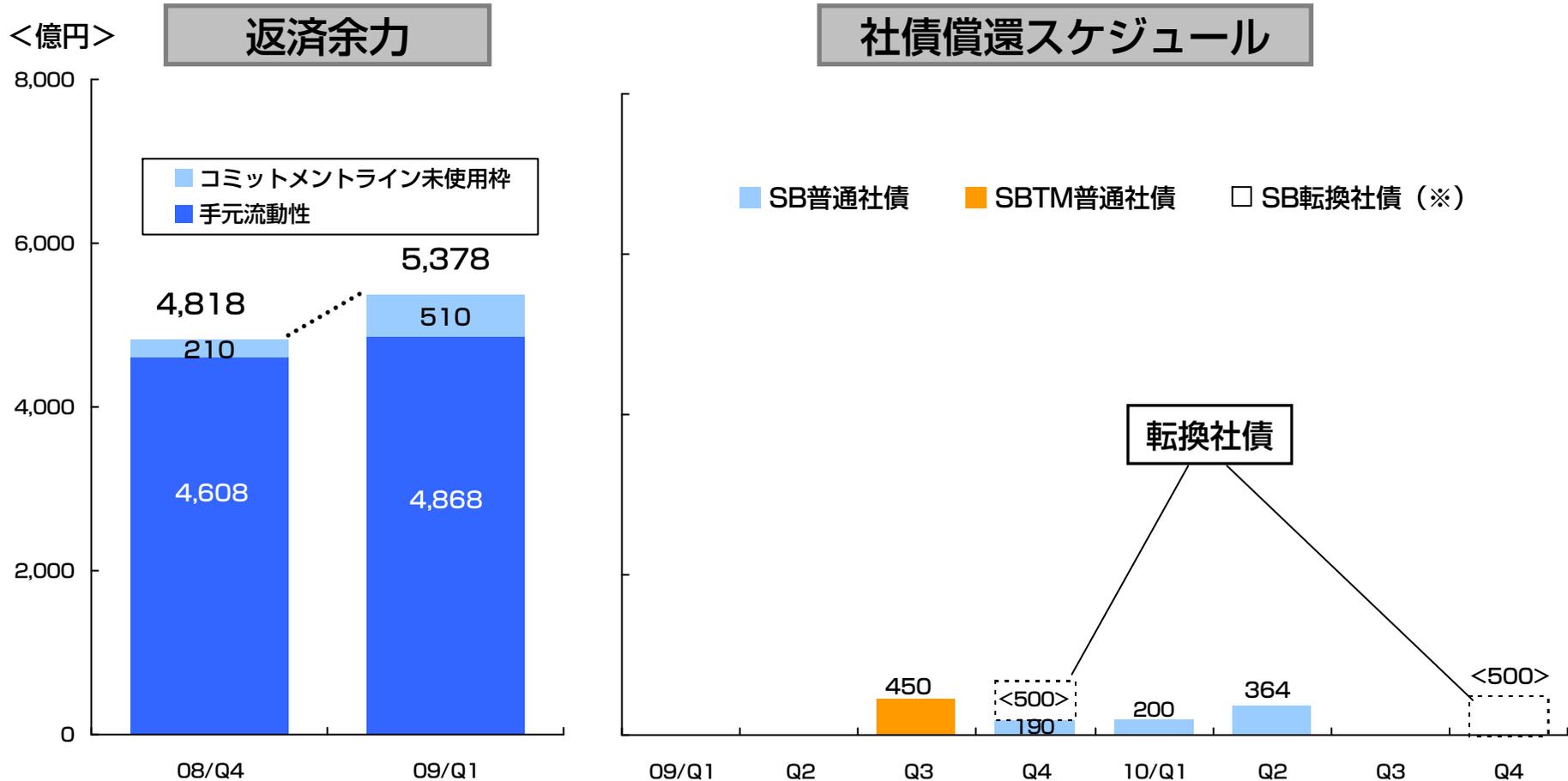
社債スプレッドが縮小

ソフトバンク既存社債スプレッド



社債償還スケジュール

■十分な返済余力を保有



(※) 2013年満期転換社債、2014年満期転換社債につきましては、債券保有者の請求により、それぞれ2010年3月、2011年3月に繰上償還の可能性がります。また一定の条件を満たした場合、当社の請求による繰上償還の可能性がります。上表では債券保有者によるプットオプションが行使された場合を想定しております。

社債明細表

(単位：百万円)

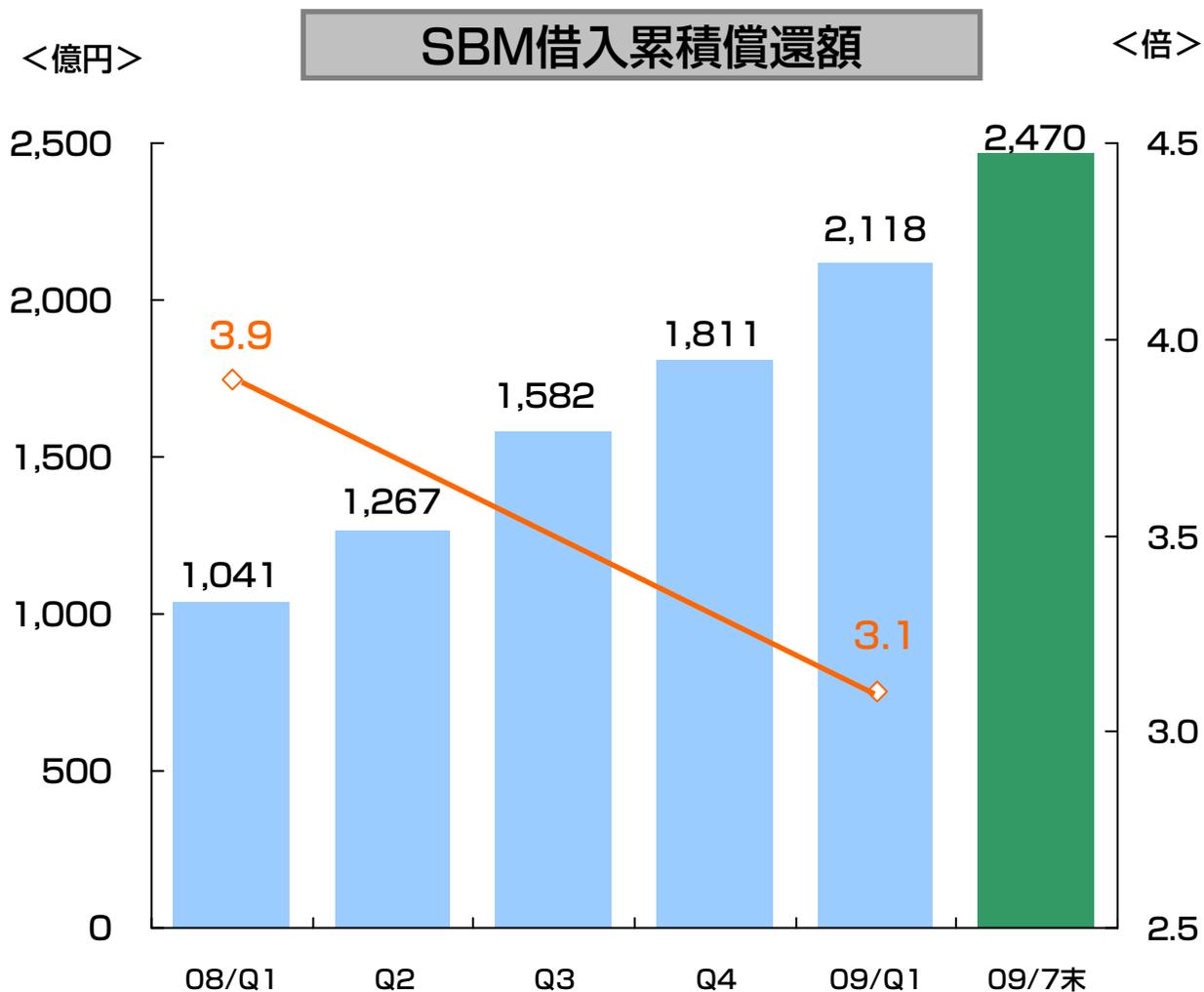
会社名	銘柄	発行年月日	償還期限	利率 (%、年)	担保	09年3月末	09年6月末	対前四半期末比
ソフトバンク	第19回無担保普通社債	2005年1月31日	2010年1月29日	1.97	なし	19,000	19,000	-
	第24回無担保普通社債 (第3回福岡ソフトバンクホークス債 ^(※1))	2007年4月26日	2010年4月26日	2.72	なし	20,000	20,000	-
	第22回無担保普通社債	2005年9月14日	2010年9月14日	1.98	なし	36,400	36,400	-
	第27回無担保普通社債 (第4回福岡ソフトバンクホークス債 ^(※1))	2009年6月11日	2011年6月10日	5.10	なし	-	60,000	60,000
	第25回無担保普通社債	2007年6月19日	2011年6月17日	3.39	なし	53,900	53,500	-400
	2013年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債 ^(※1)	2003年12月30日	2013年3月31日	1.50	なし	50,000	50,000	-
	2013年満期ユーロ円建普通社債	2006年10月12日	2013年10月15日	7.75	なし	51,766 (388Mユーロ)	49,616 (371Mユーロ)	-2,149
	2014年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債 ^(※1)	2003年12月30日	2014年3月31日	1.75	なし	50,000	50,000	-
	第26回無担保普通社債	2007年6月19日	2014年6月19日	4.36	なし	15,000	14,900	-100
ソフトバンクテレコム	第1回無担保普通社債	2004年12月7日	2009年12月7日	2.00	なし	45,000	45,000	-
	第2回無担保普通社債	2004年12月7日	2011年12月7日	2.88	なし	15,000	15,000	-
Phoenix JT	Subordinated Notes Due 2016	2004年12月24日	2016年12月15日	5.95	なし	32,400	32,400	-
その他の社債	-	-	-	-	-	100	100	-
合計	-	-	-	-	-	388,566	445,916	57,350

(※1) 2013年満期転換社債、2014年満期転換社債については、債券保有者の請求により、それぞれ2010年3月、2011年3月に繰上償還の可能性があります。また、一定の条件を満たした場合、当社の請求による繰上償還の可能性があります。

(※2) 上表には実質的ディフィーザンスを実施したソフトバンクモバイルの普通社債は含んでおりません。当該社債の償還資金についてはみずほコーポレート銀行により信用補完されております。

SBM借入累積償還額

■計画を上回るペースで返済中



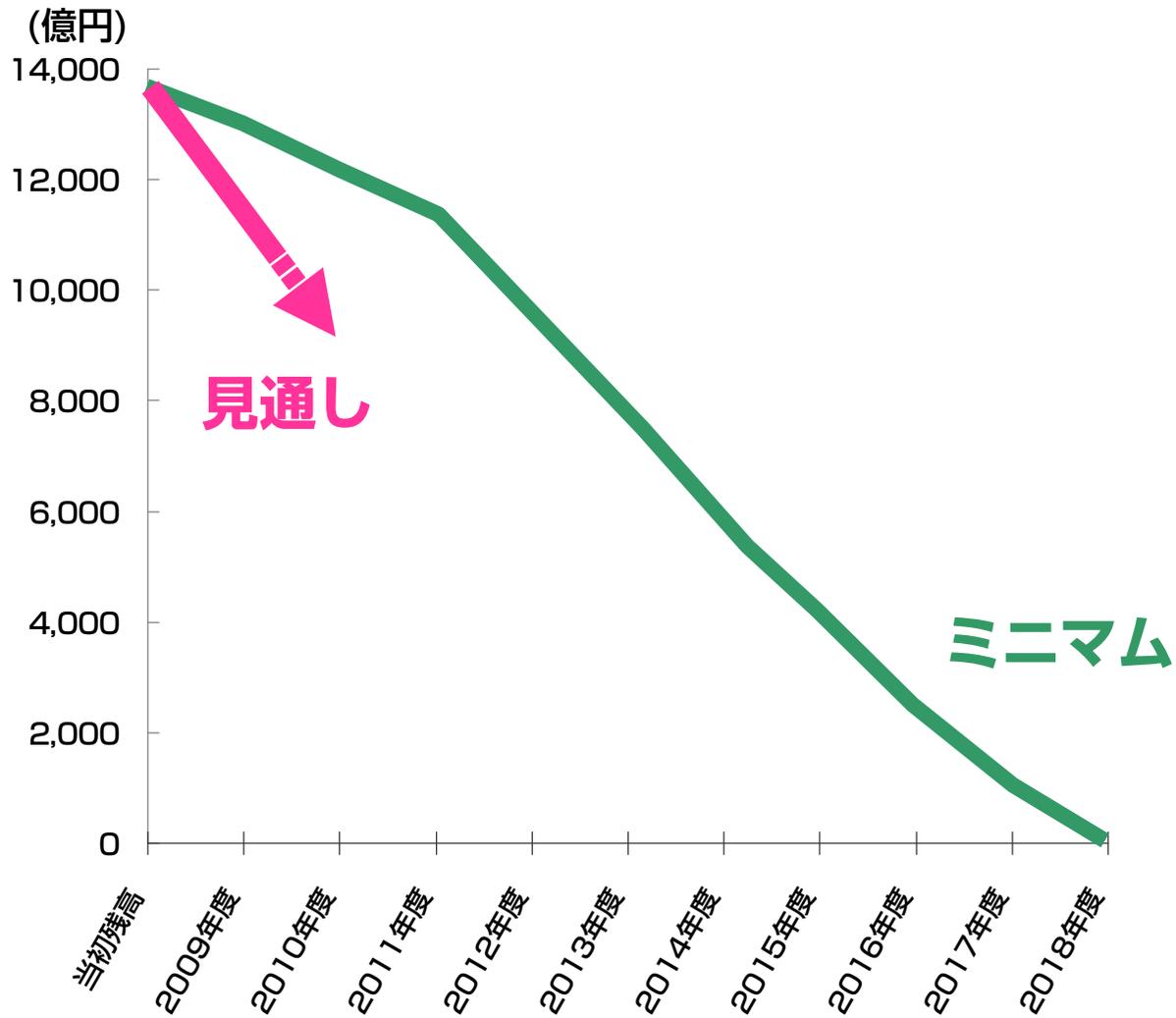
移動体通信事業
レバレッジレシオ(※)

3.1倍
(FY09/Q1)

純有利子負債ベース
2.6倍

※レバレッジレシオ
=有利子負債(移動体通信事業)
÷EBITDA年換算(移動体通信事業)

携帯事業買収に伴う借入残高の推移

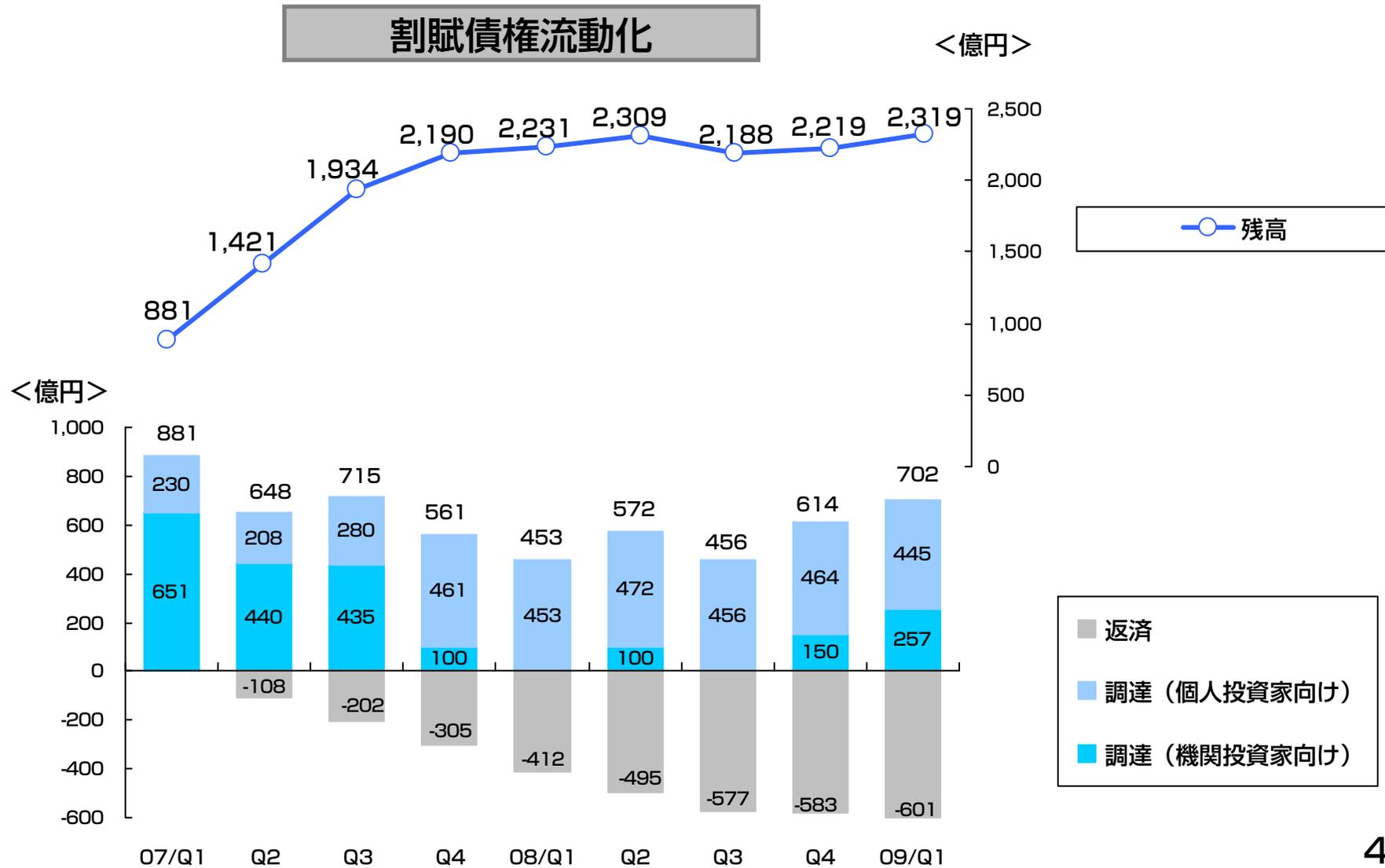


順調に
返済中

※ 借入当初：2006年11月
※ SBMが借入主体のWBS残高

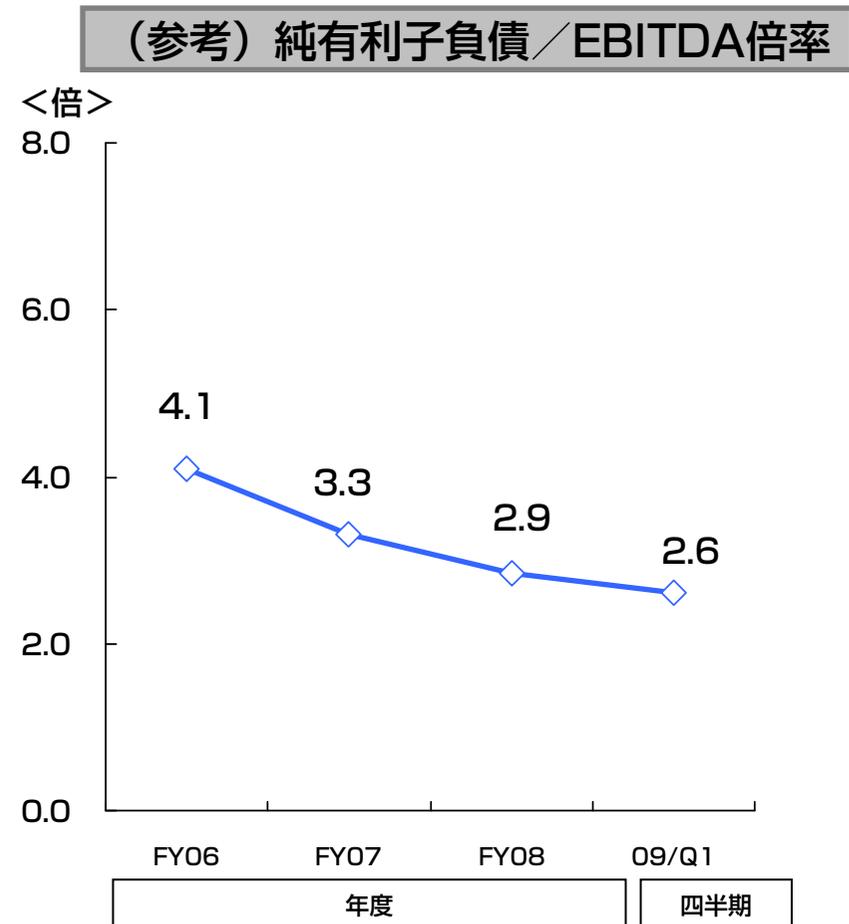
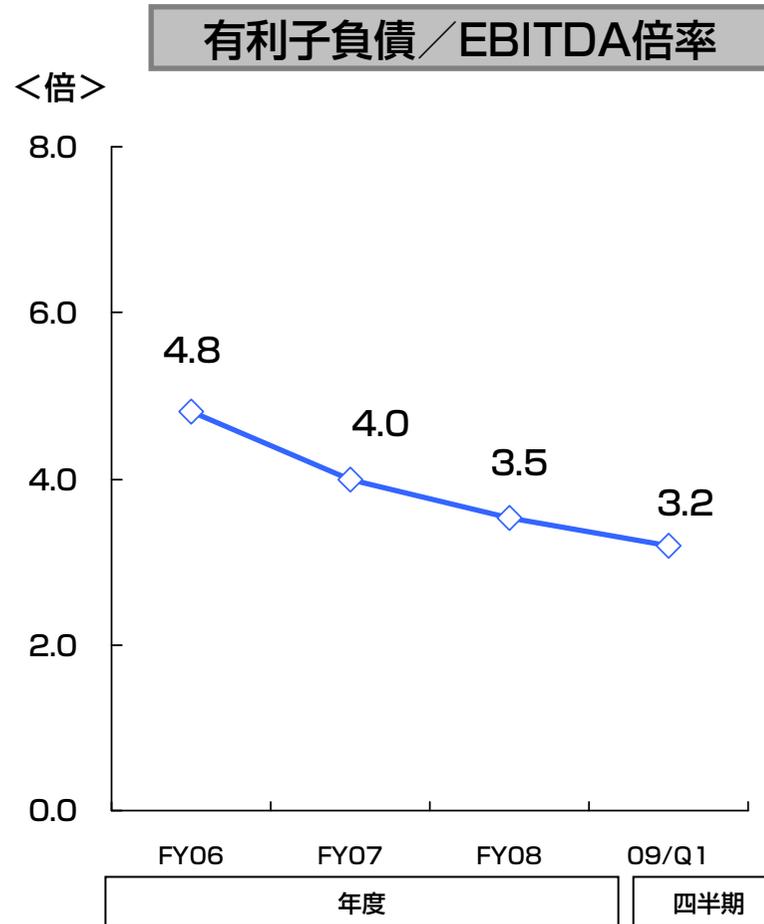
携帯事業の割賦債権流動化

■割賦債権流動化による調達は今後も継続



指標改善① 有利子負債／EBITDA倍率

EBITDAが拡大し有利子負債削減へ



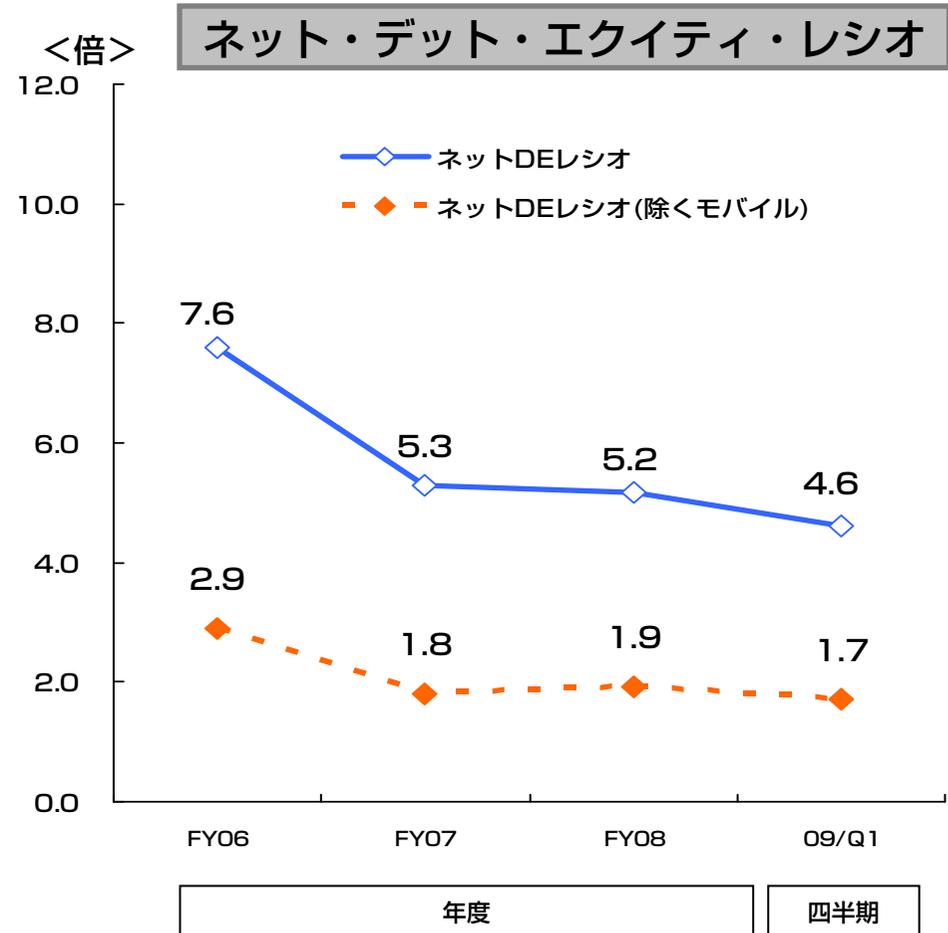
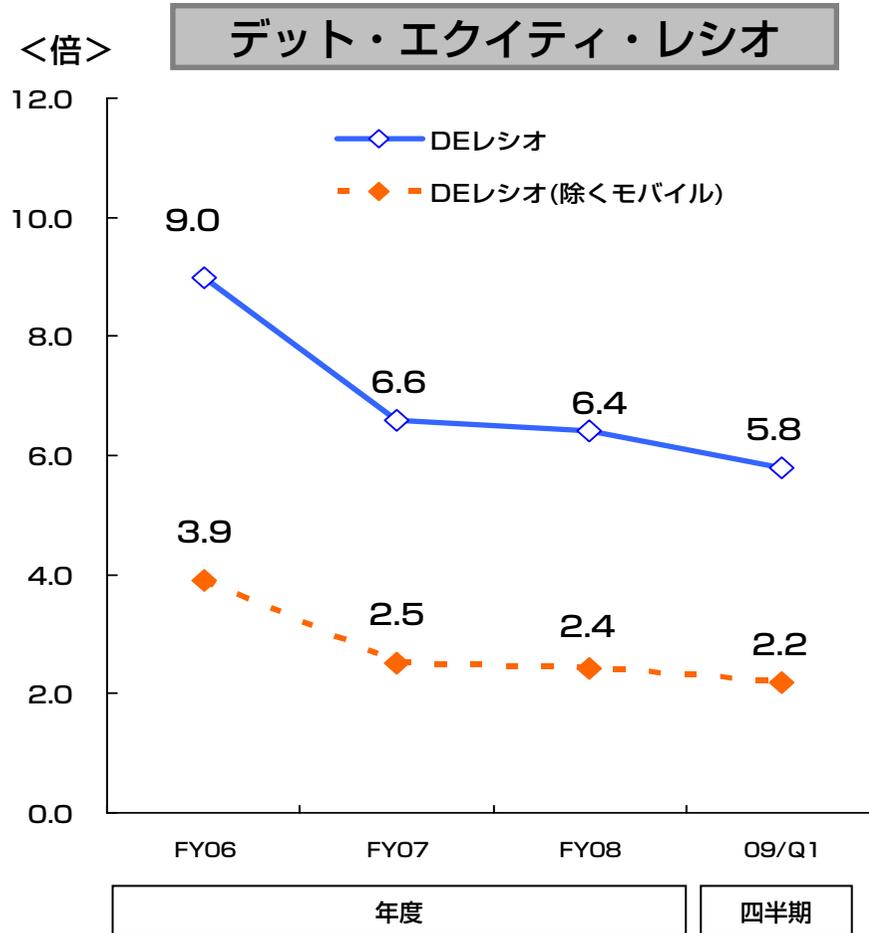
(※1)FY06以前の有利子負債・純有利子負債の額は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正しております

(※2)有利子負債にはリース債務を含んでおりません。

(※3)EBITDAは年換算 (Q1実績×4)

指標改善② デット・エクイティ・レシオ

■着実に改善



(※1) FY06月末以前の有利子負債・純有利子負債の額は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正しております。

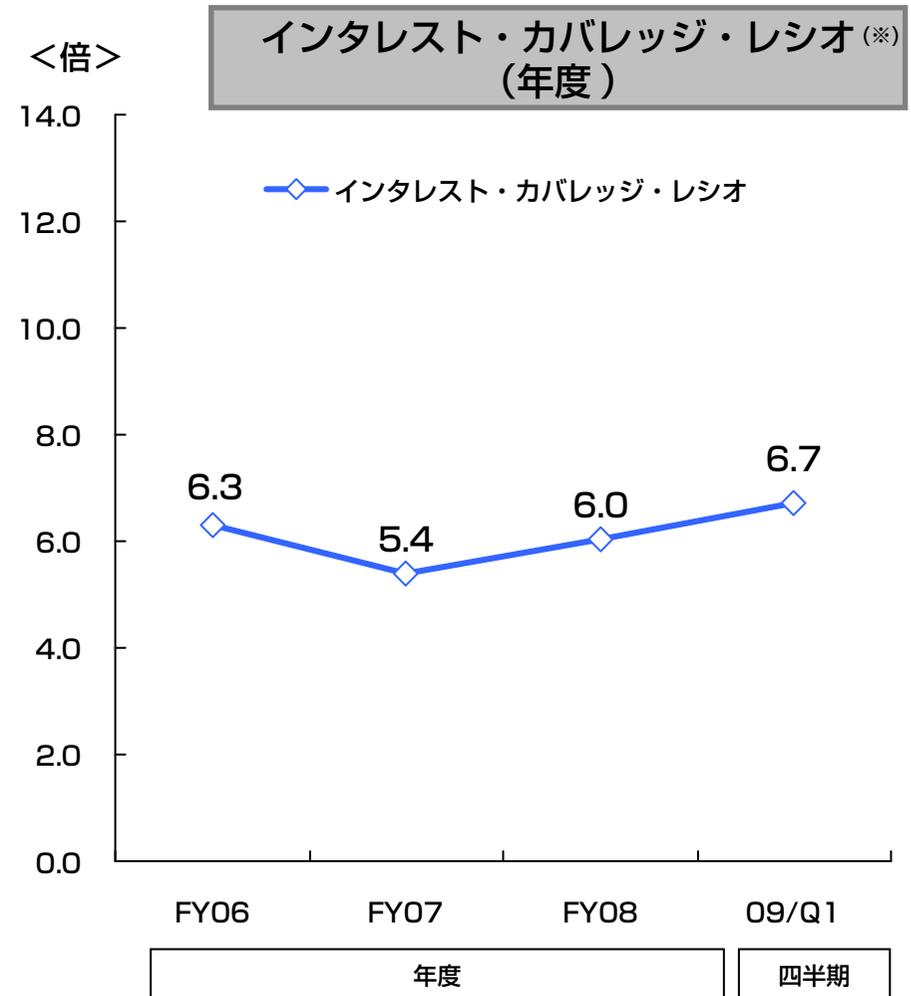
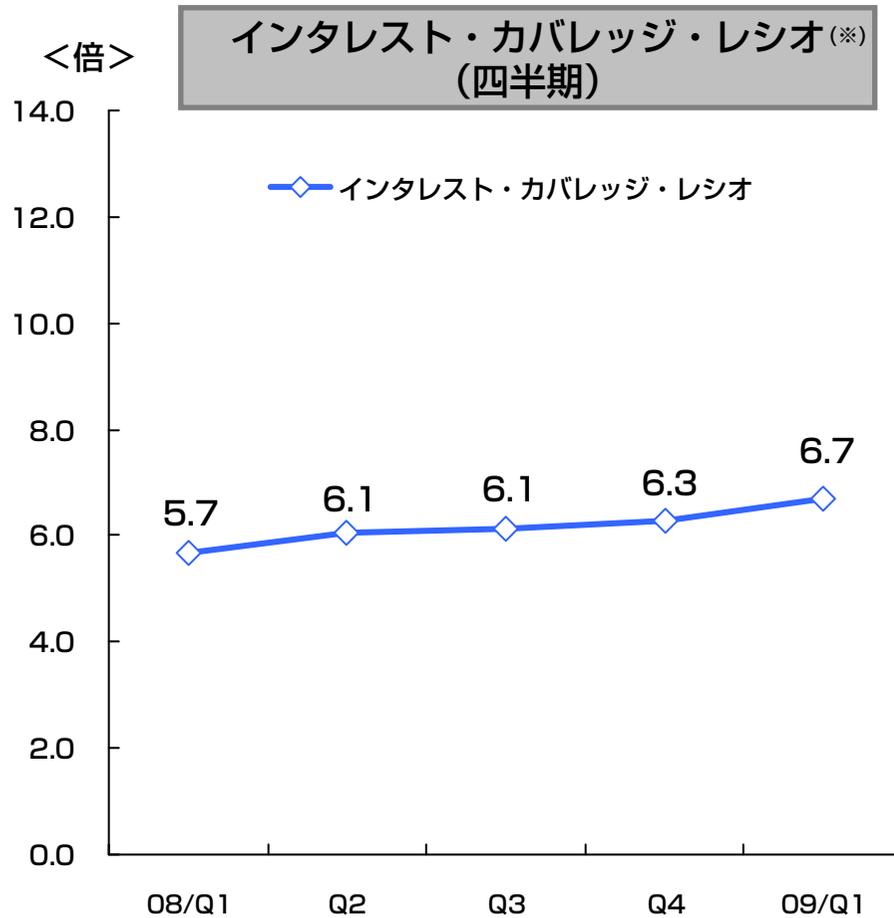
(※2) 有利子負債にはリース債務を含んでおりません。

(※3) 除くモバイル：連結有利子負債および純有利子負債残高からソフトバンクモバイルおよびBBモバイルの残高をそれぞれ控除

(※4) EBITDAは年換算 (Q1実績×4)

指標改善③ インタレスト・カバレッジ・レシオ

■安定的な水準を維持

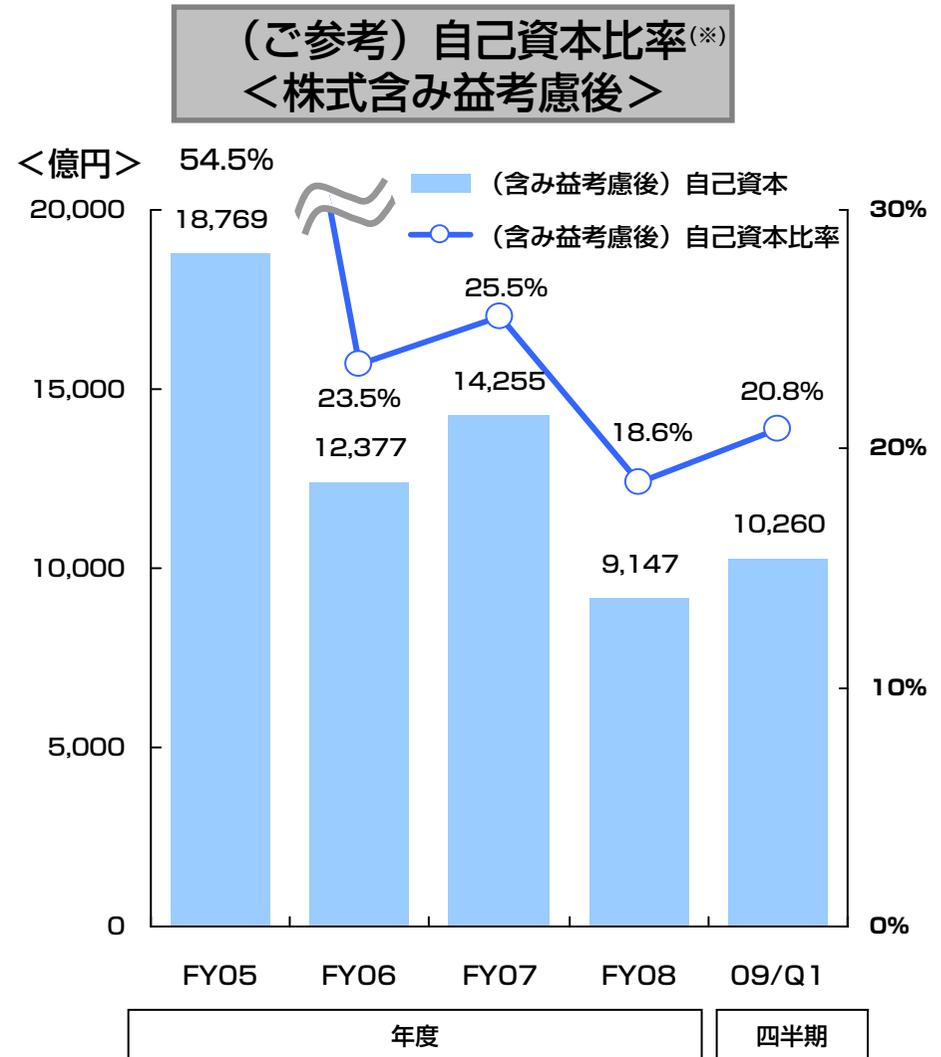
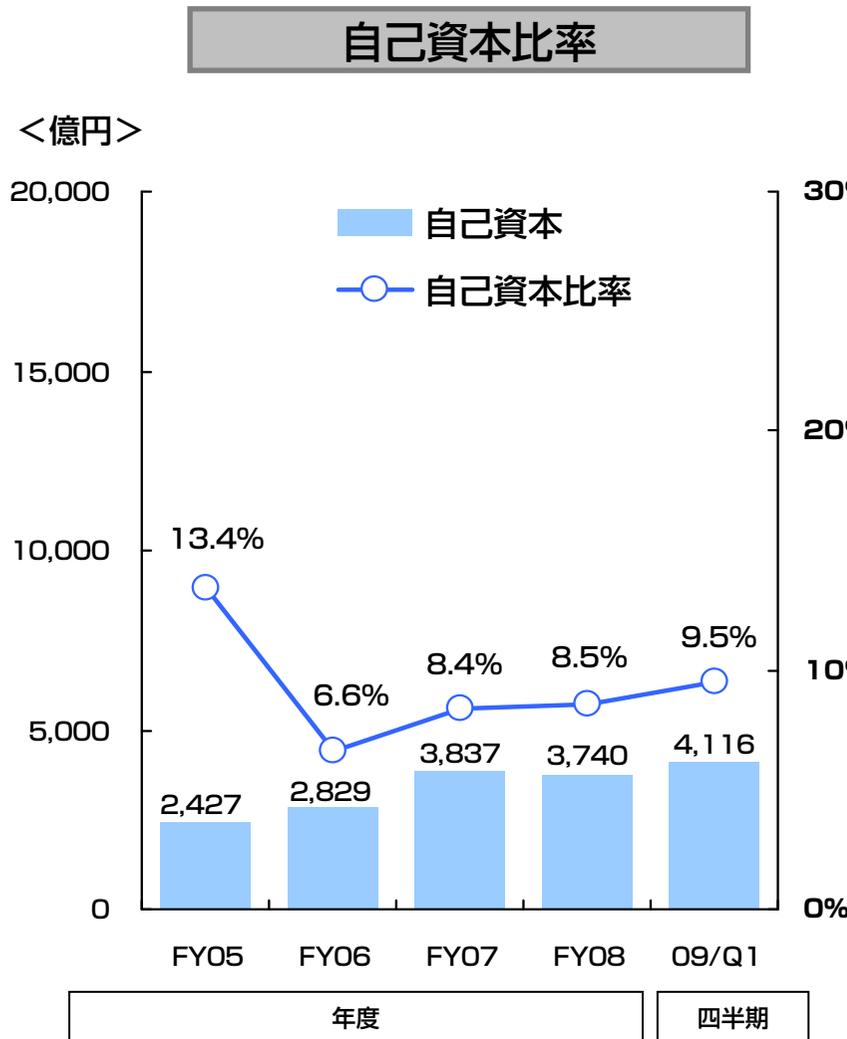


(※)インタレスト・カバレッジ・レシオ=EBITDA/支払利息

(※) FY2007以前の支払利息には株券等寄託取引手数料を遡及修正しております

指標改善④ 自己資本比率

■着実な利益の積み上げで自己資本比率を改善へ



(※)計算根拠については補足資料の8ページをご参照下さい。

2009年度の財務戦略

「純有利子負債ゼロ」に向けて

- ◆ 営業CFの増大、投資CFの適正化によるフリーキャッシュフローの最大化
- ◆ 着実な負債削減による各種財務指標の継続的改善
- ◆ 財務体質強化の結果としての格付向上

市場環境に応じた保守的な財務運営

- ◆ 多様な調達手段の深耕および昨今の金融環境下における最適選択
- ◆ 長期安定資金の確保および長期負債比率の改善
- ◆ 潤沢な手元流動性の維持

トップレベルのIR活動の実現

- ◆ デット／エクイティ両マーケットのあらゆる投資家層へのアプローチ
- ◆ 業績予想の開示を伴った成長シナリオの明示
- ◆ 更なる開示内容の充実化





事業編

ソフトバンクモバイル株式会社 取締役 常務執行役員 財務統括 兼 CFO
ソフトバンクBB株式会社 取締役 常務執行役員 財務統括 兼 CFO
ソフトバンクテレコム株式会社 取締役 常務執行役員 財務統括

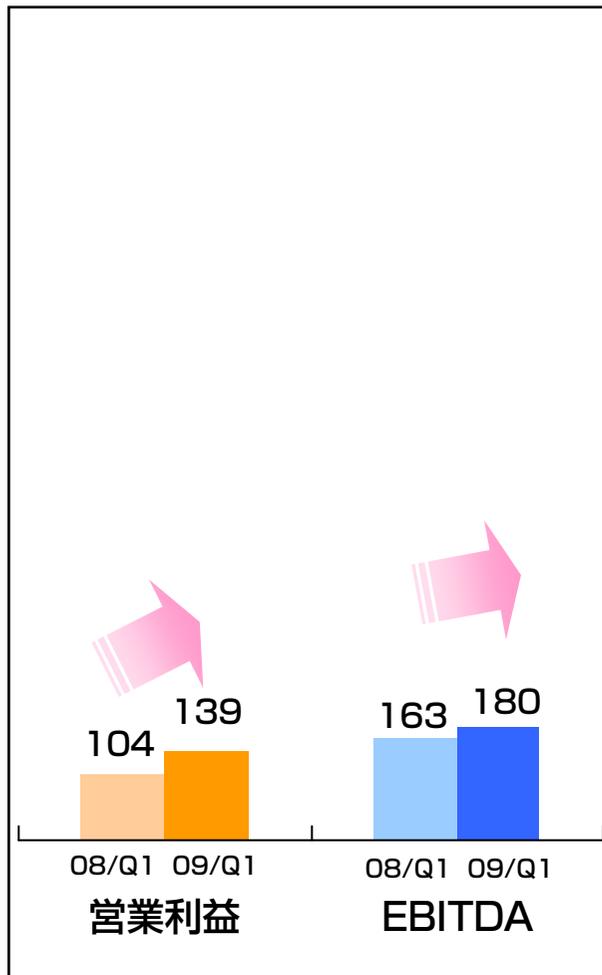
ふじはら
藤原 和彦

通信3事業の業績概要

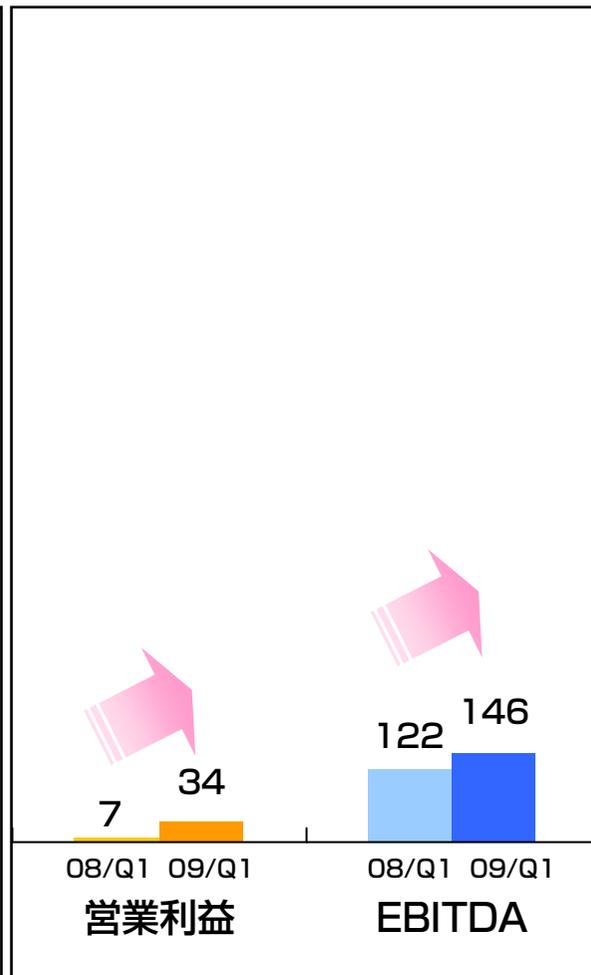
■通信3事業はいずれも大幅に増益

<億円>

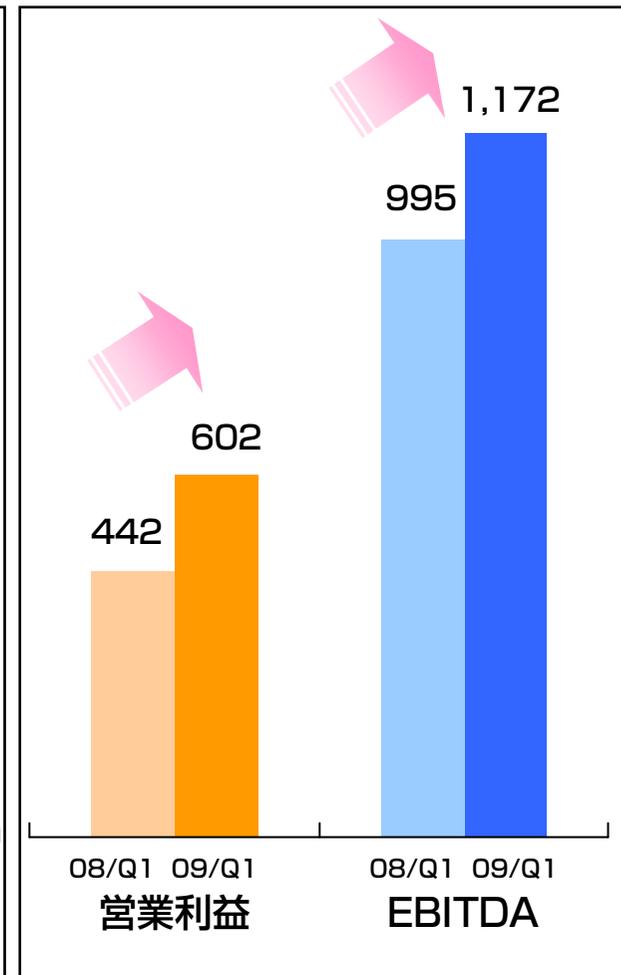
BBインフラ事業



固定通信事業



移動体通信事業



ブロードバンド・インフラ事業

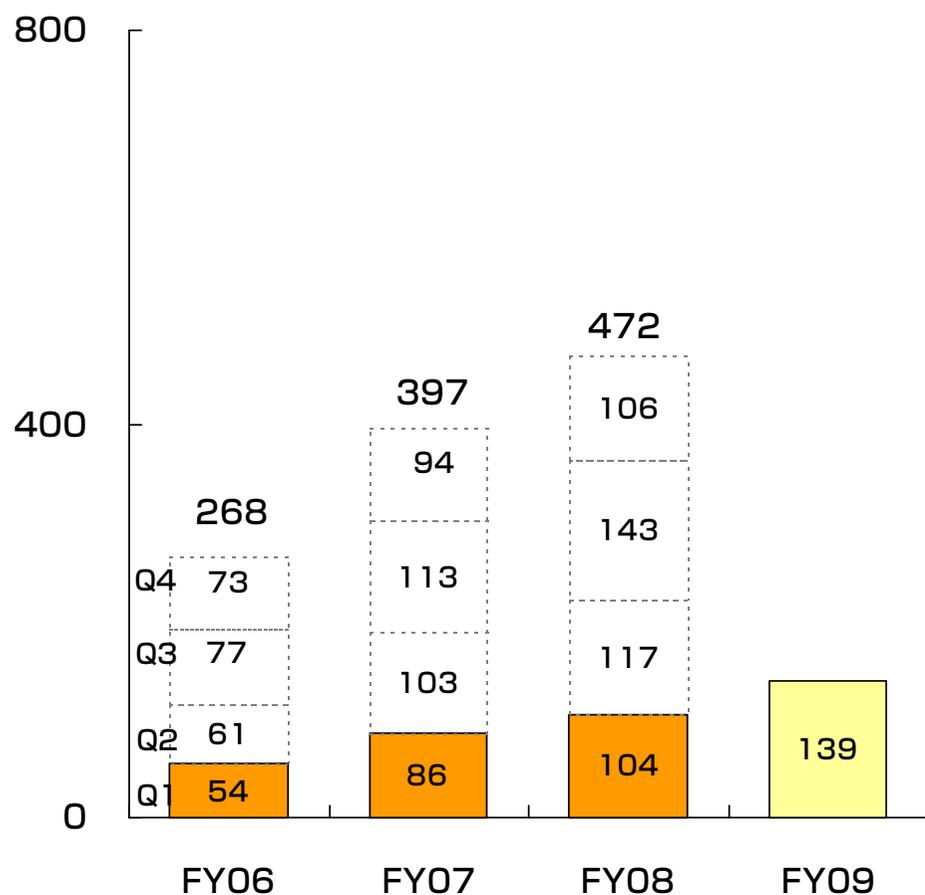
営業利益・EBITDA (BB事業)

<BB-1>

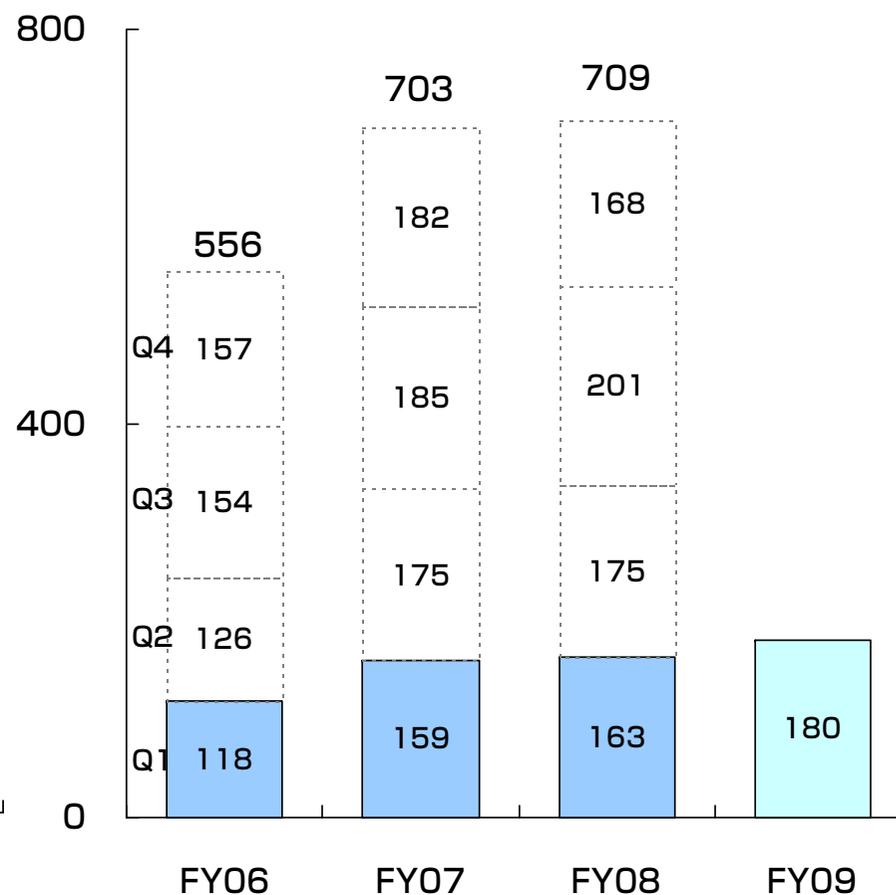
■コスト削減に取り組み増益トレンドを維持

<億円>

営業利益



EBITDA

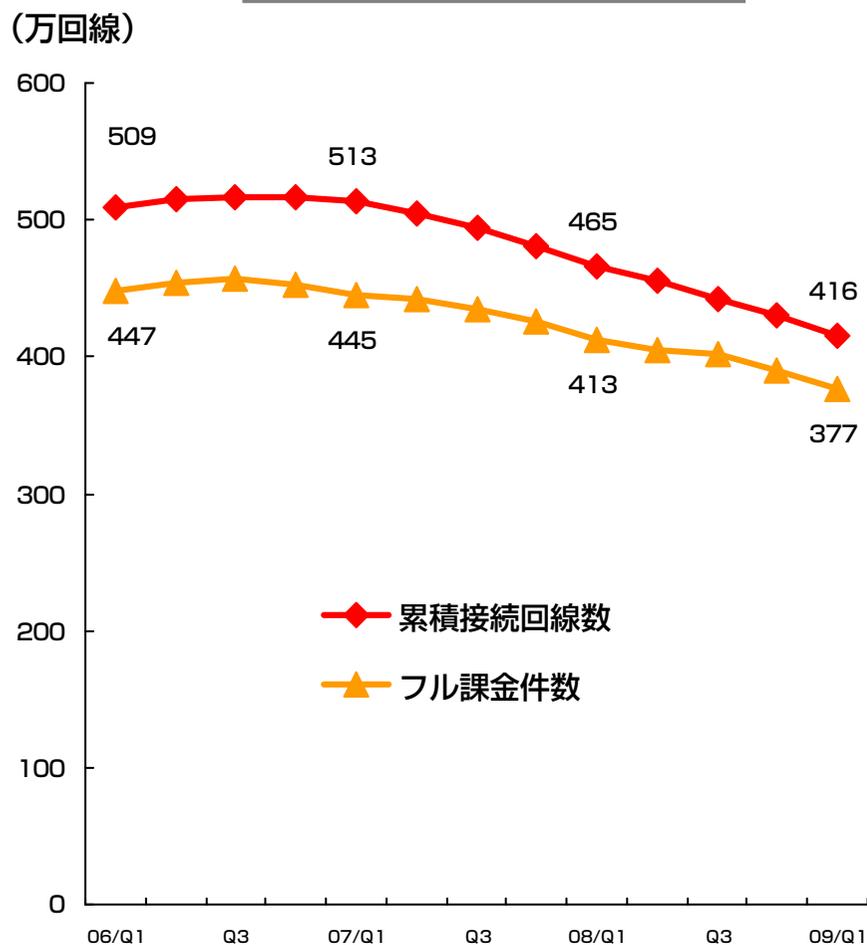


Yahoo! BB ADSL 回線数とARPU

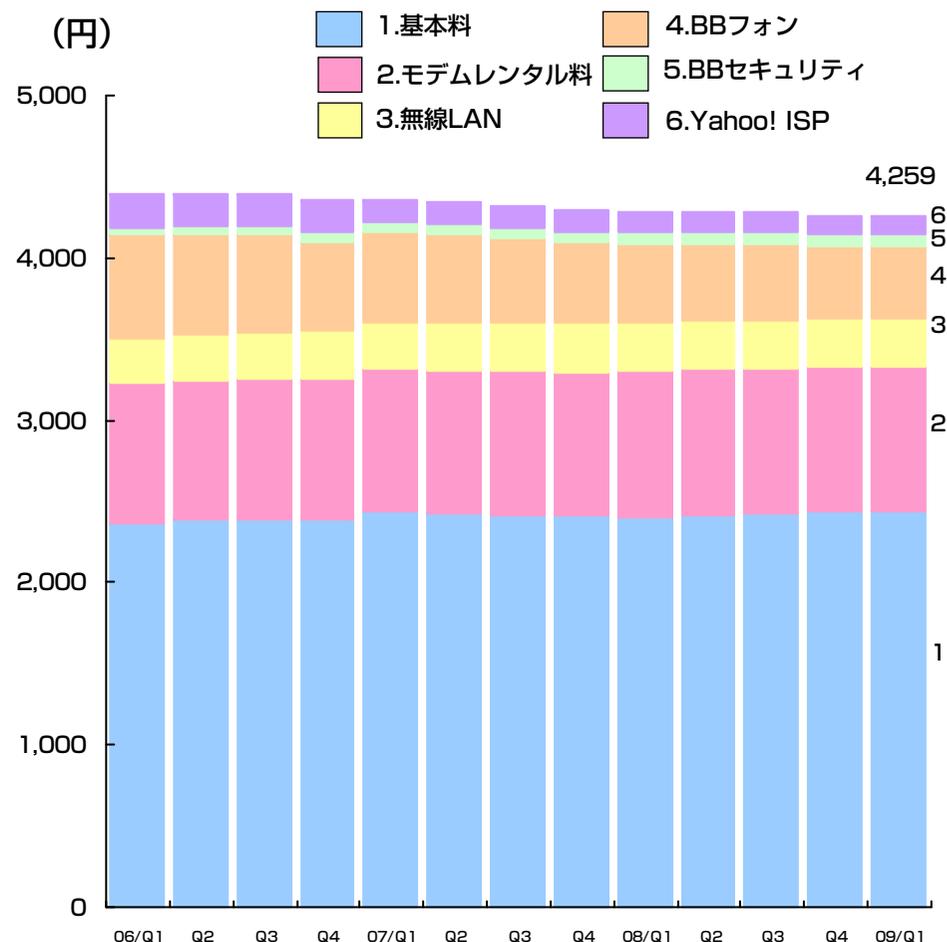
<BB-2>

■ADSL回線数は減少傾向。ARPUは横ばい。

回線数と課金件数



ARPU



※ARPU: フル課金ユーザーの支払いベース。モデムレンタル事業売却に伴う影響を含まず

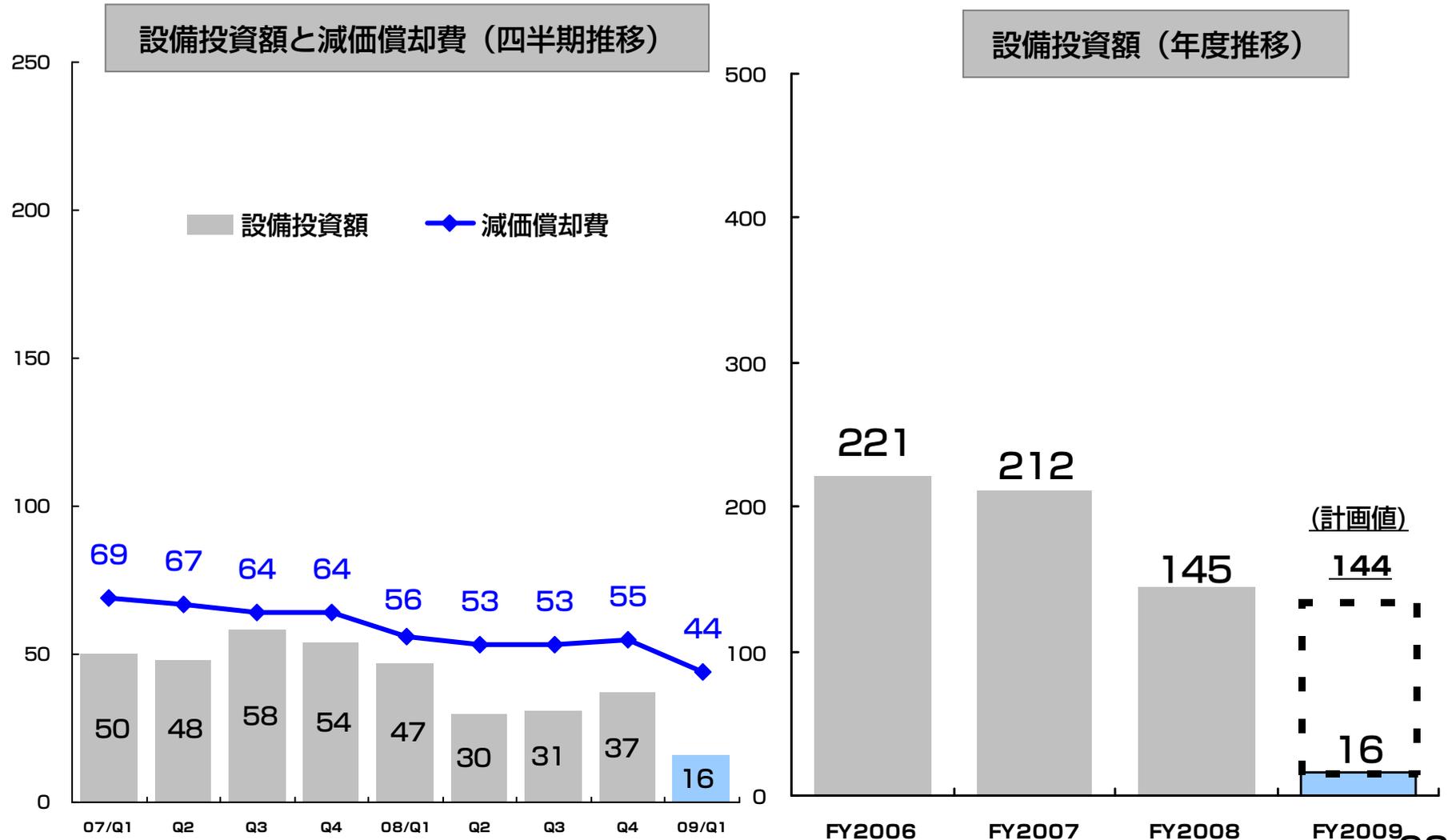
FY07/Q1よりヤフーとの契約変更によりYahoo! ISP収入の一部を基本料部分に計上 (ユーザー負担に変更なし)

設備投資 [実行ベース] (BB事業)

<BB-3>

■設備投資額は減価償却費の範囲内で推移

<億円>



事業編

固定通信事業

営業損益・EBITDA（固定通信事業）

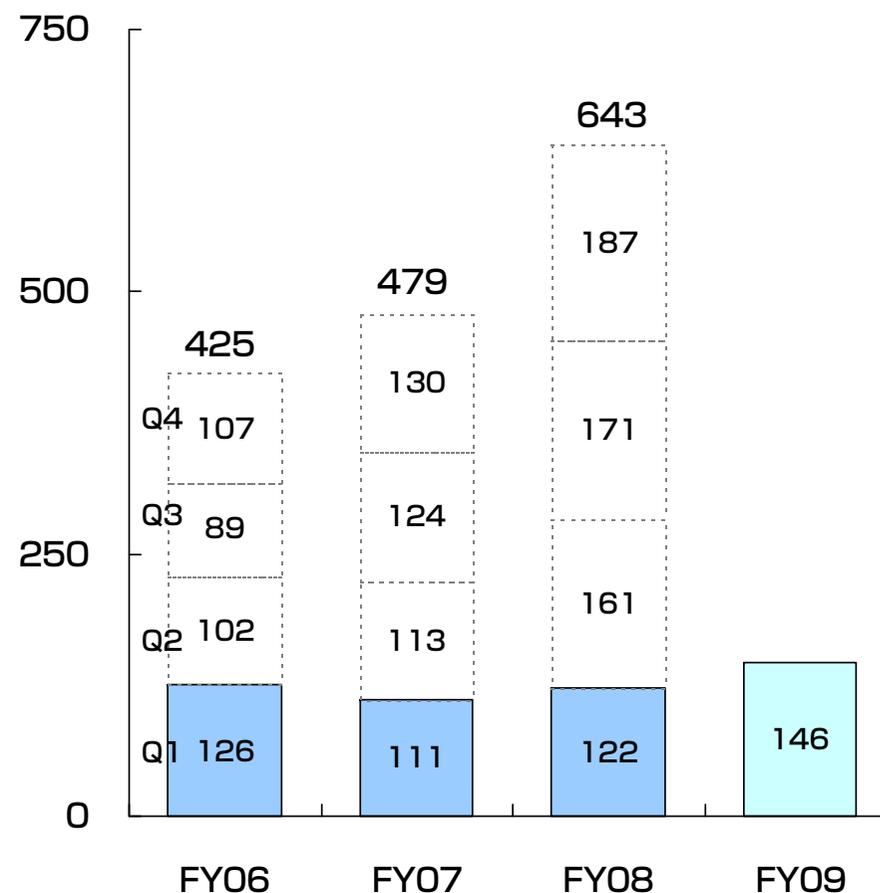
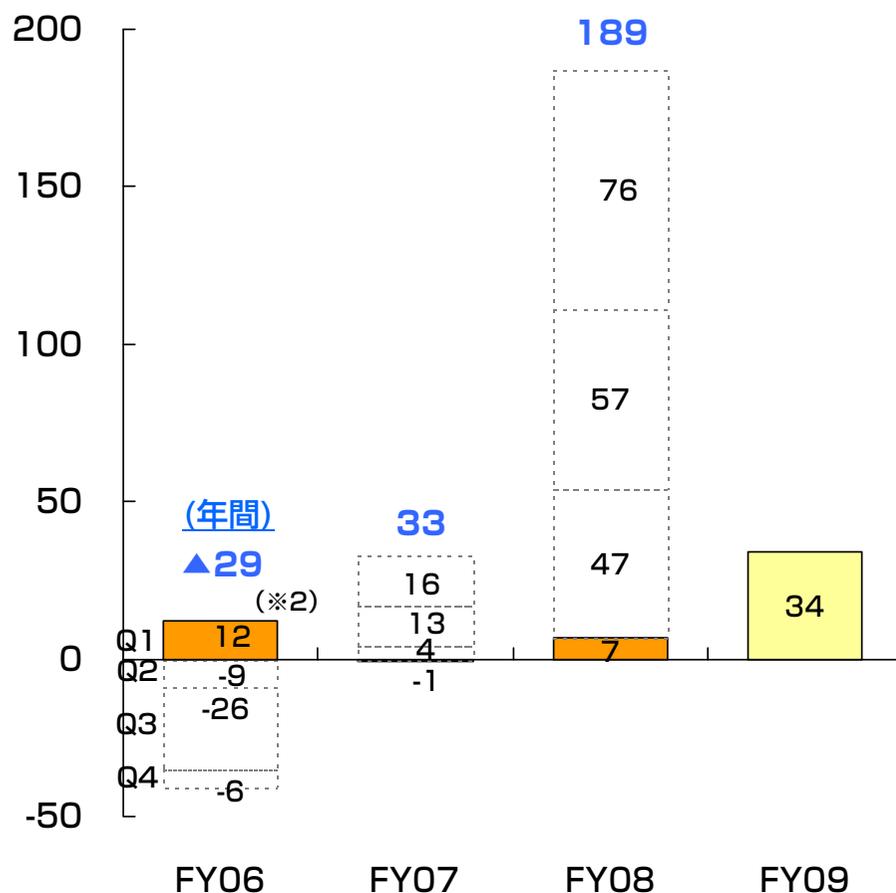
<固定-1>

■法人強化と経営効率化で増益のトレンド(実質増収増益)^(※1)

<億円>

営業損益

EBITDA



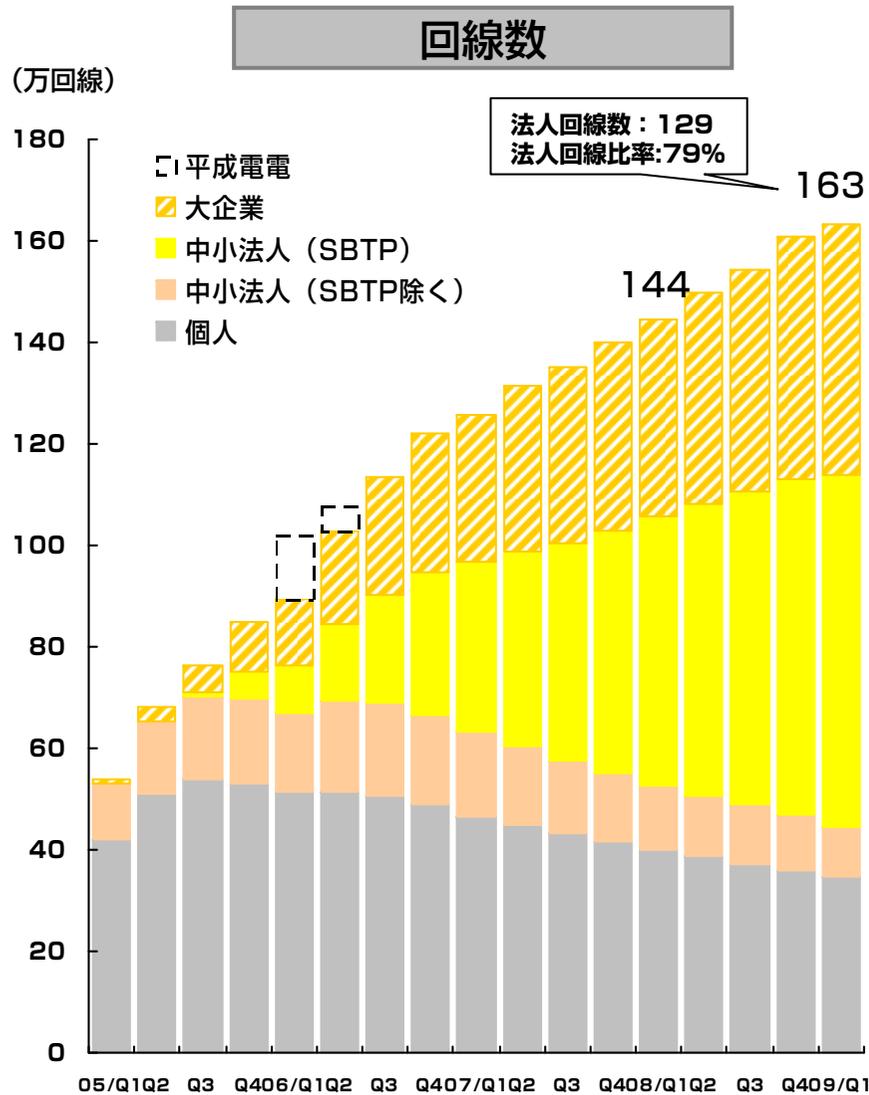
※1 売上は▲16億、ただし、旧ソフトバンクIDCのセグメント変更による影響▲24億を含む（実質は+8億）

※2 06/Q1:一時的要因（退職給付戻入）25億を含む

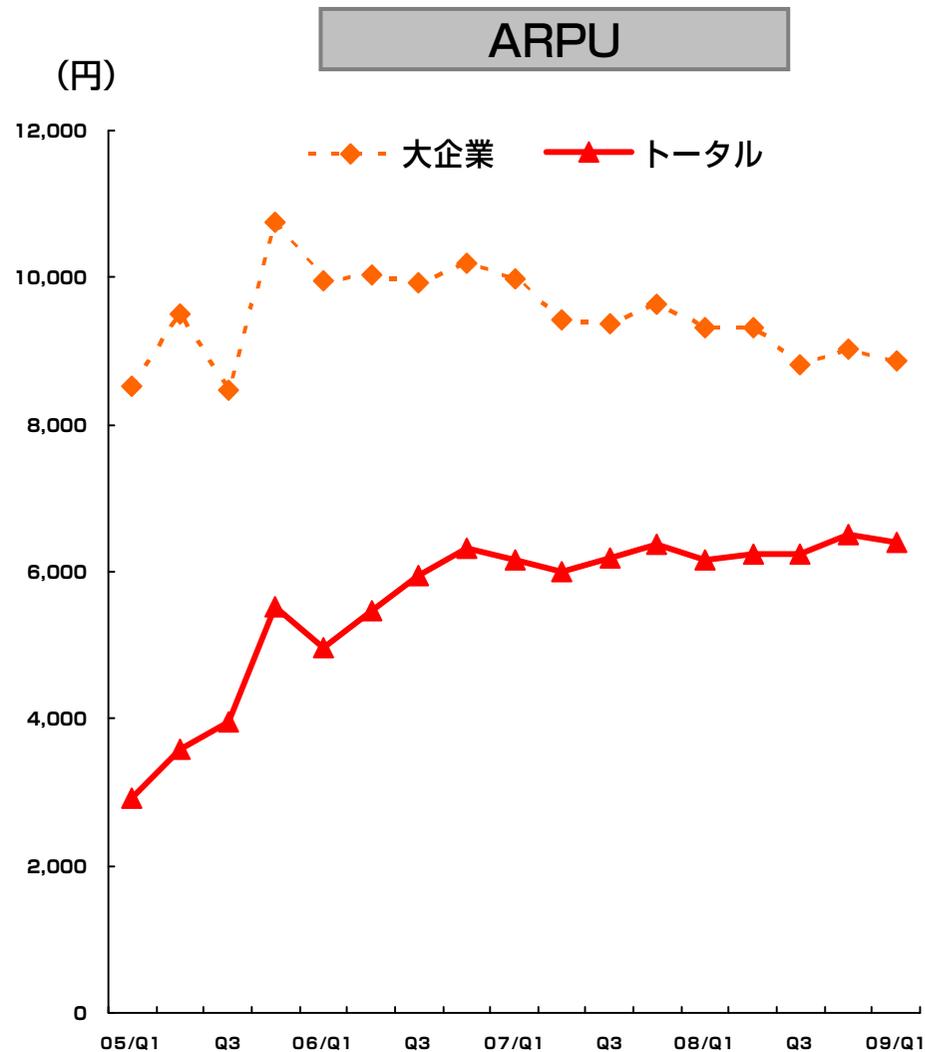
おとくライン 回線数とARPU

<固定-2>

■回線数とARPUは法人向けの強化で堅調に推移



※SBTP：ソフトバンクテレコムパートナーズ

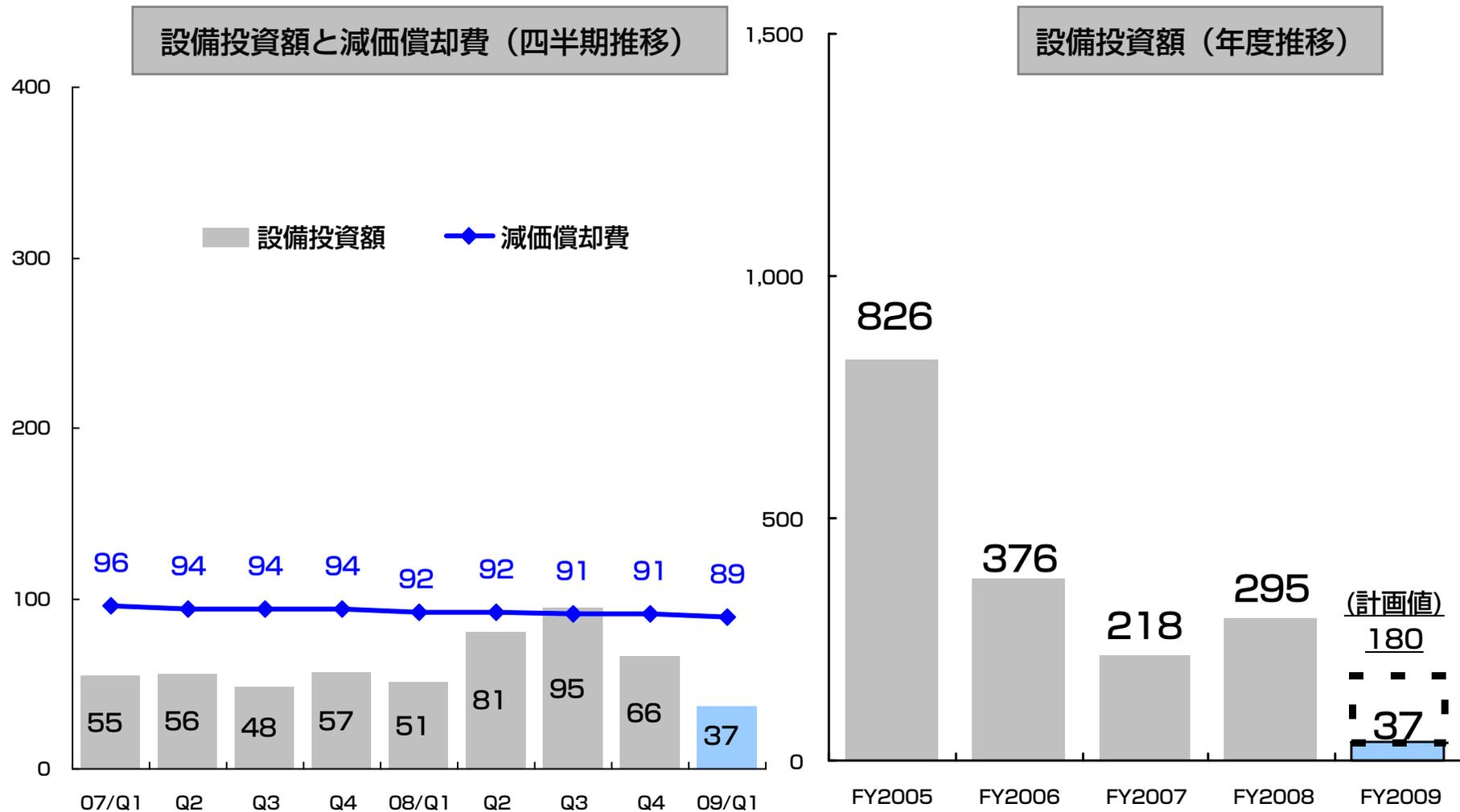


設備投資 [実行ベース] (固定通信事業)

<固定-3>

■設備投資額は減価償却費の範囲内で推移

<億円>



移動体通信事業

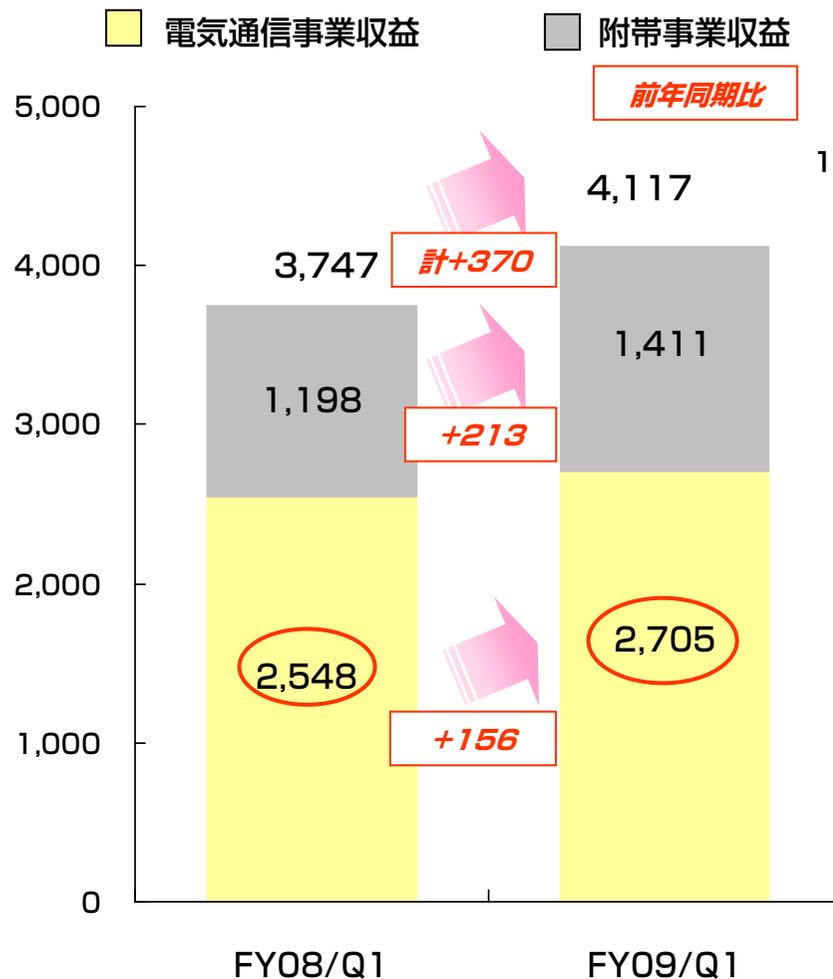
SBM連結 売上高

<移動体-1>

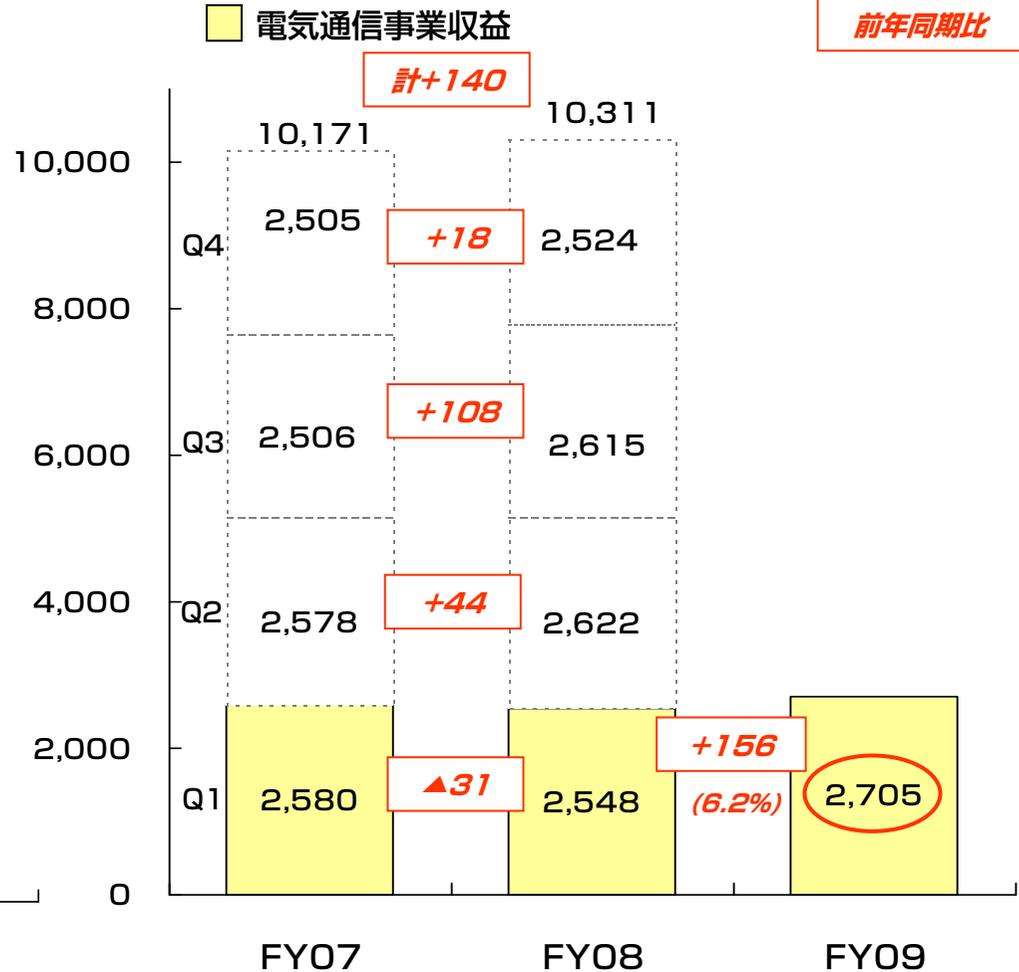
■電通収入、附帯収入ともに前年同期比増収

<億円>

SBM連結営業収益：年度比較



SBM連結電通収益：四半期比較

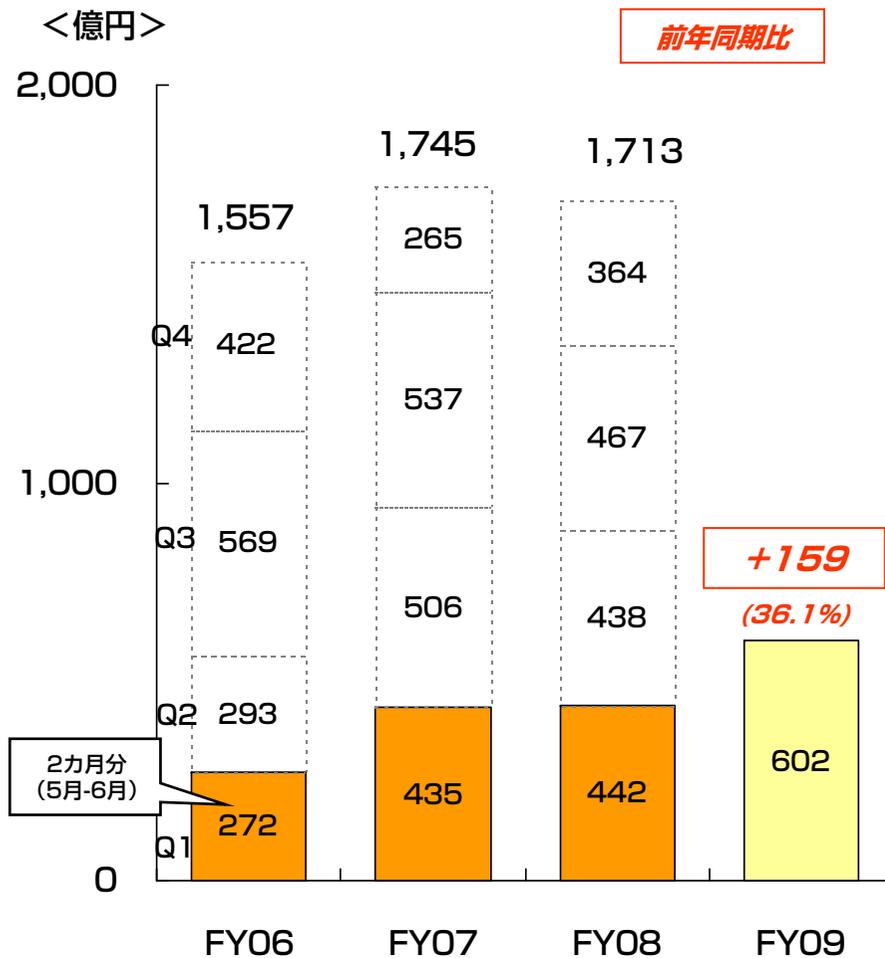


営業利益（SB連結・SBM連結）

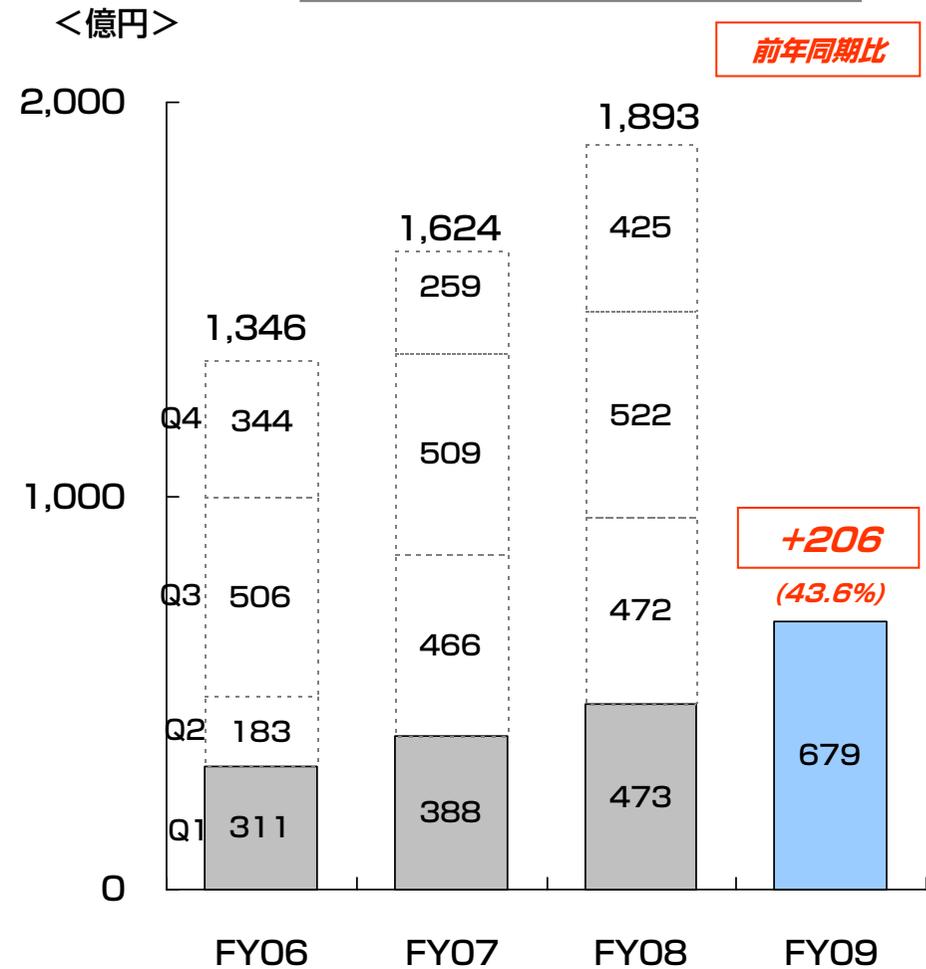
<移動体-2>

■売上増と経営効率化の両立で大幅増益、連結業績を牽引

SB連結 移動体セグメント



SBM連結



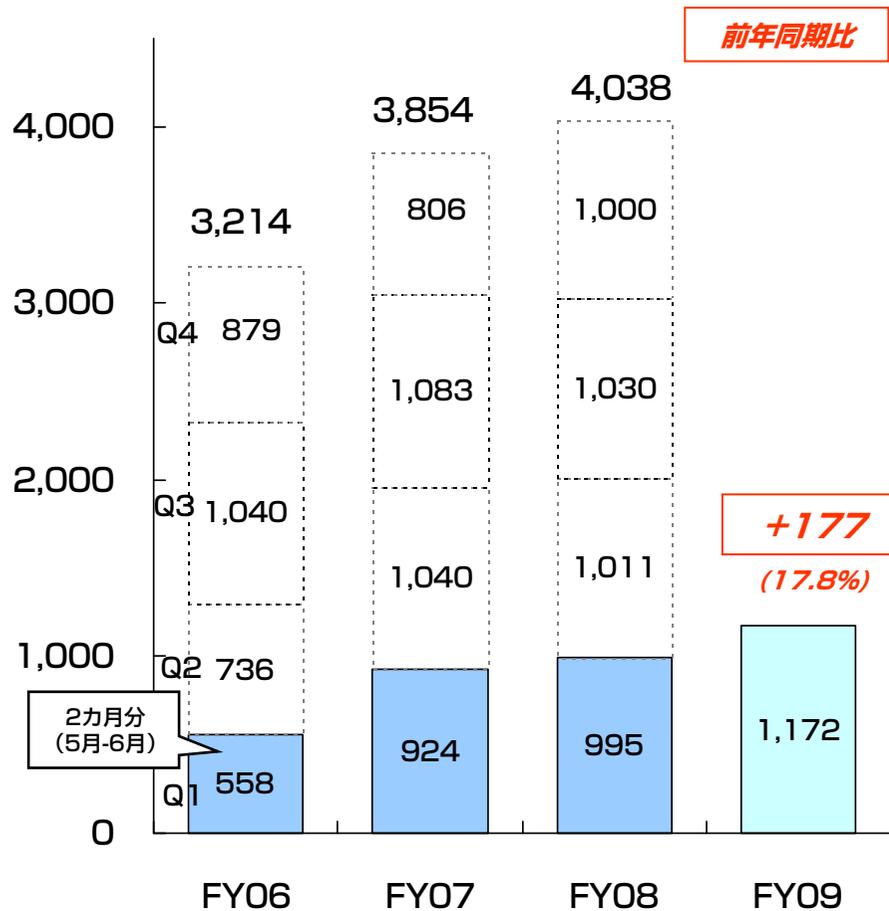
EBITDA (SB連結・SBM連結)

<移動体-3>

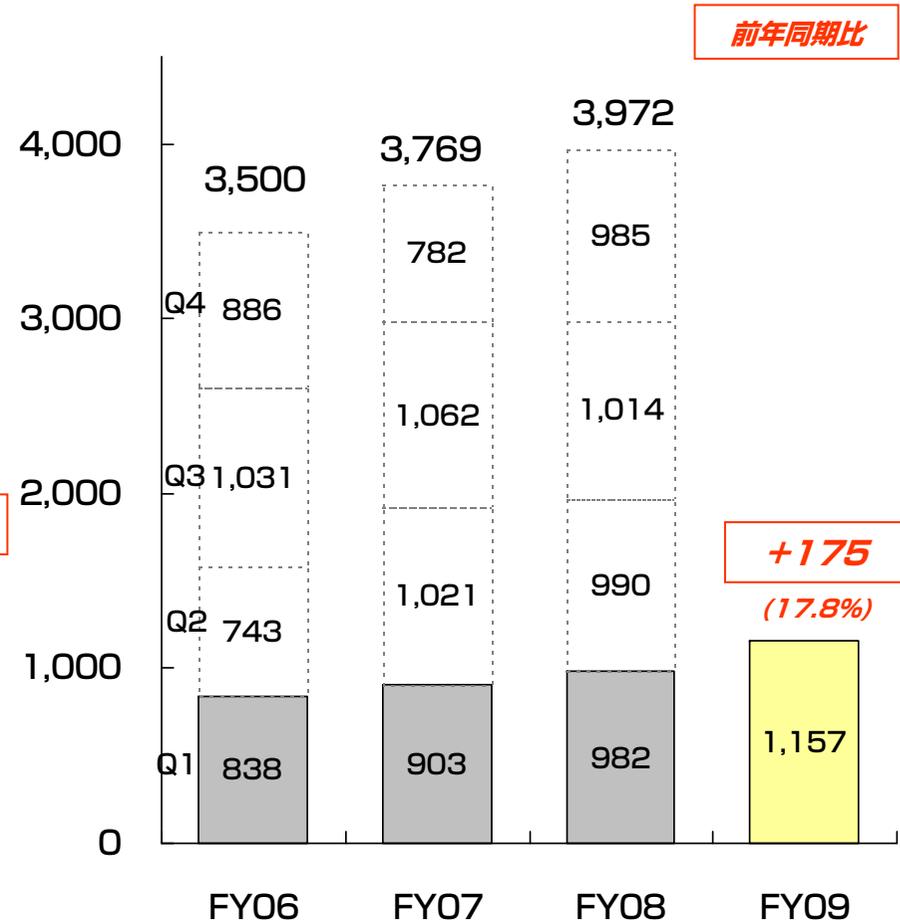
■売上増と経営効率化が進展し堅調に推移

<億円>

SB連結 移動体セグメント



SBM連結

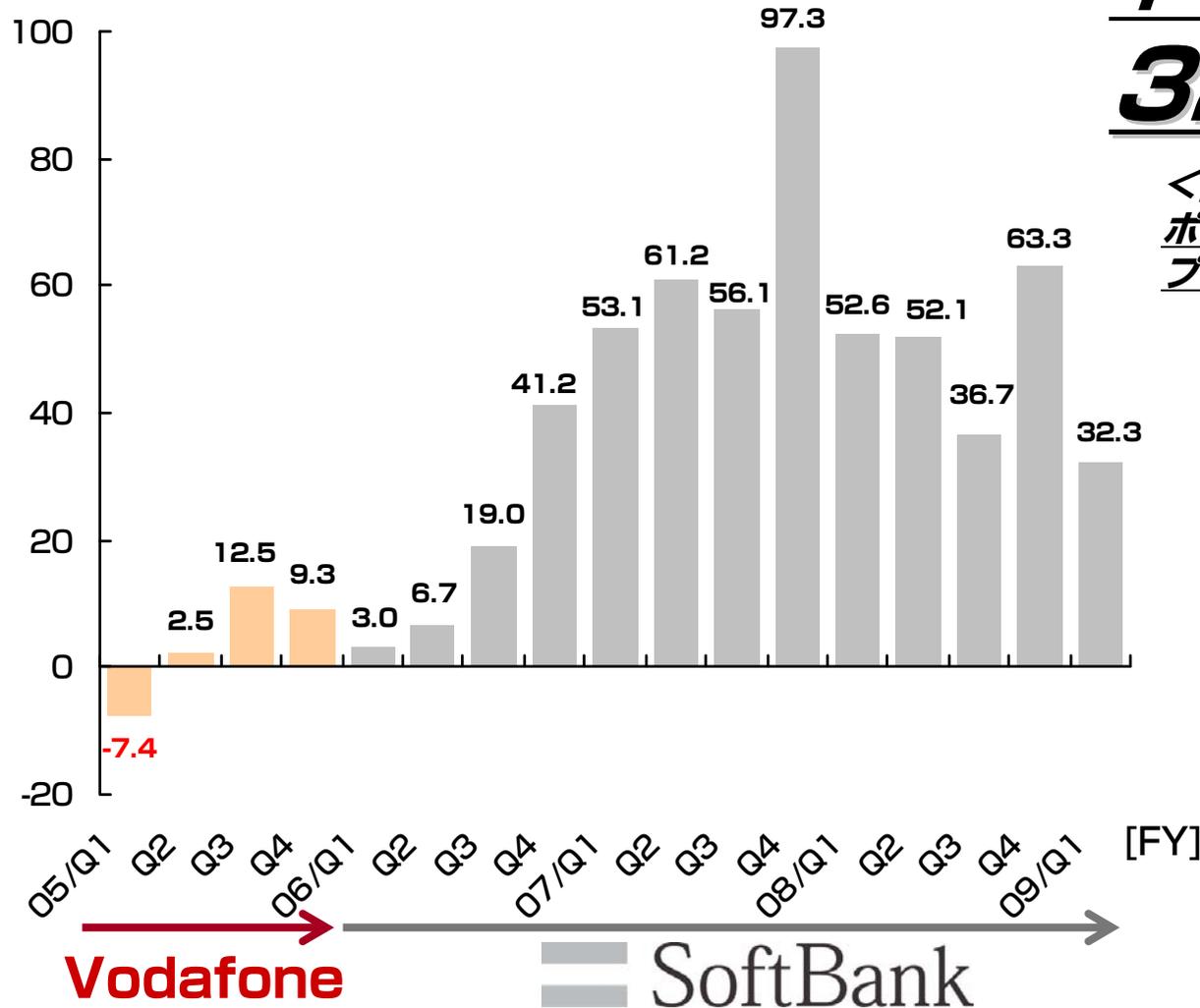


純増契約数（四半期）

<移動体-4>

■26カ月連続純増No.1を継続中。

<万契約>

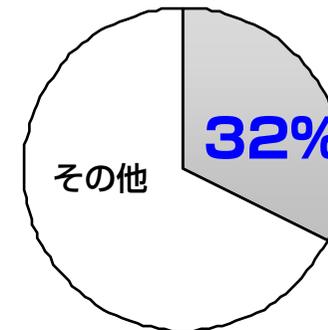


FY09/Q1 純増数
32.3万

<内訳>

ポストペイド +35.9万
プリペイド ▲3.6万

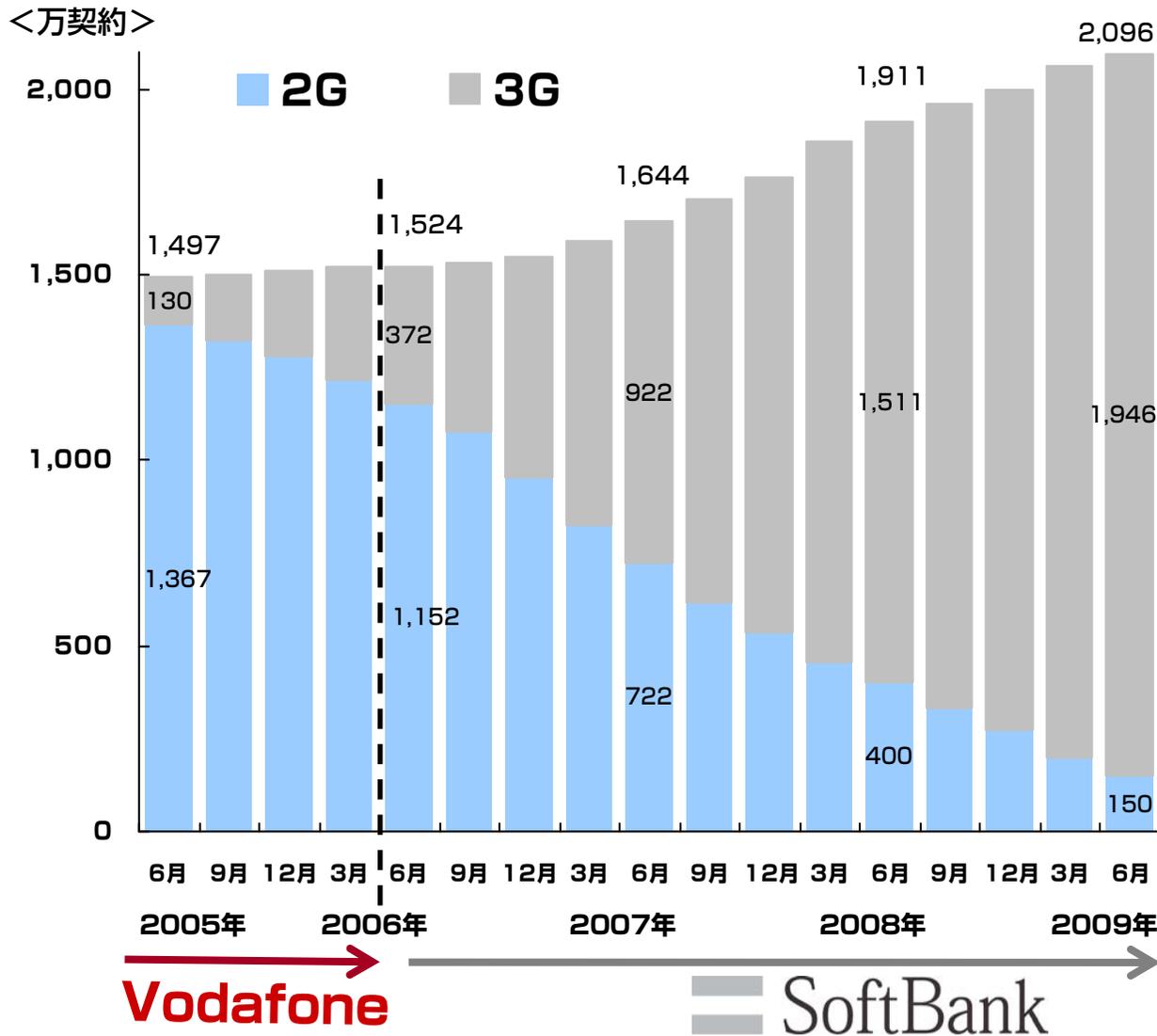
FY09/Q1 純増シェア



累計契約数・3G契約数の推移

<移動体-5>

■累計契約数は順調に拡大。3G契約も93%



累計契約数

2009/6 2,096万
 2006/6 1,524万

3年で +572万

3G比率

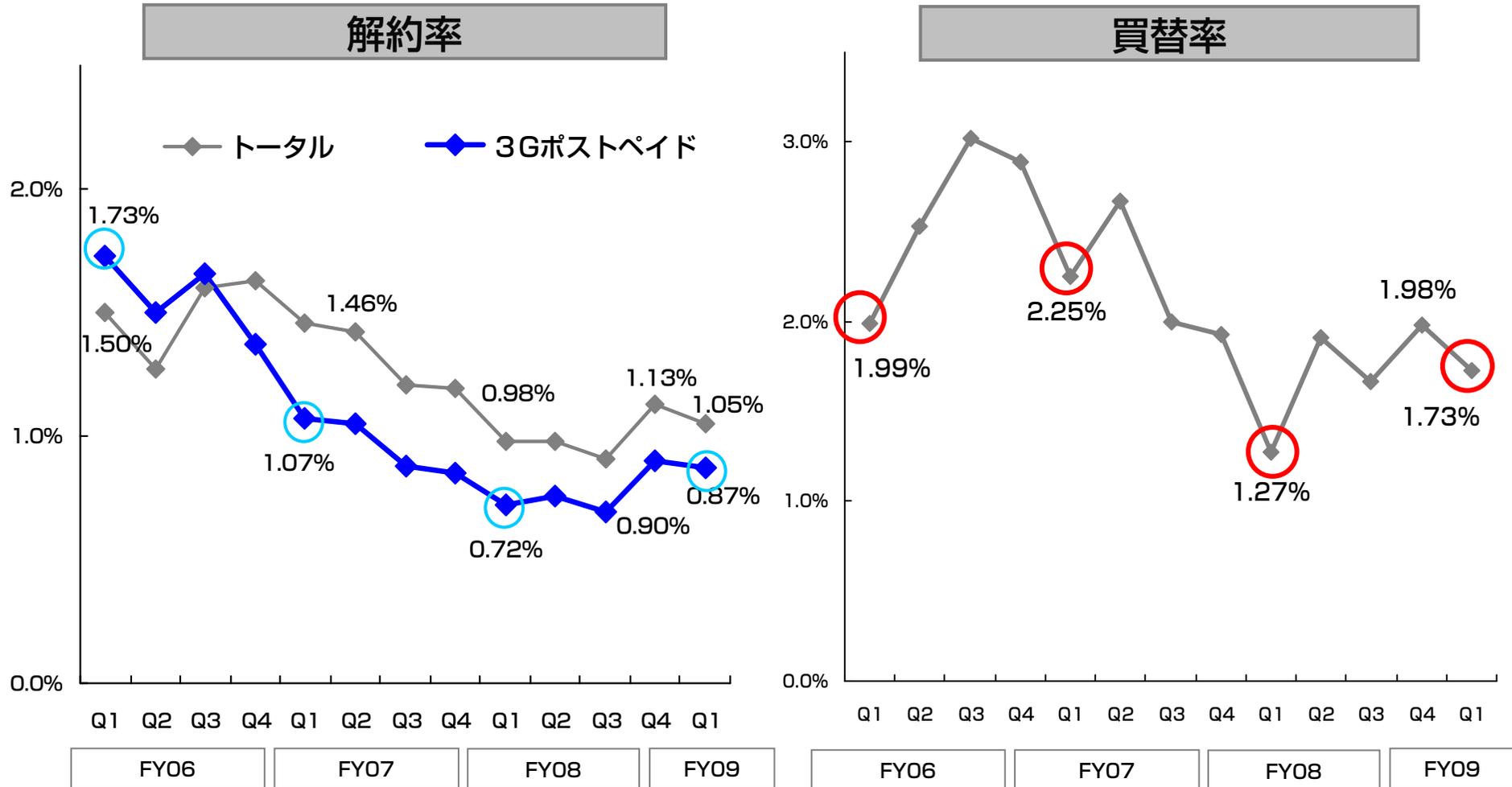
2009/6 93%
 2006/6 24%

3年で +69%

解約率と買替率

<移動体-6>

- 解約率は直前四半期比で改善。前年同期比は割賦満期あけの影響もあり上昇
- 買替率は夏モデルとiPhoneTM 3Gの導入により堅調に推移

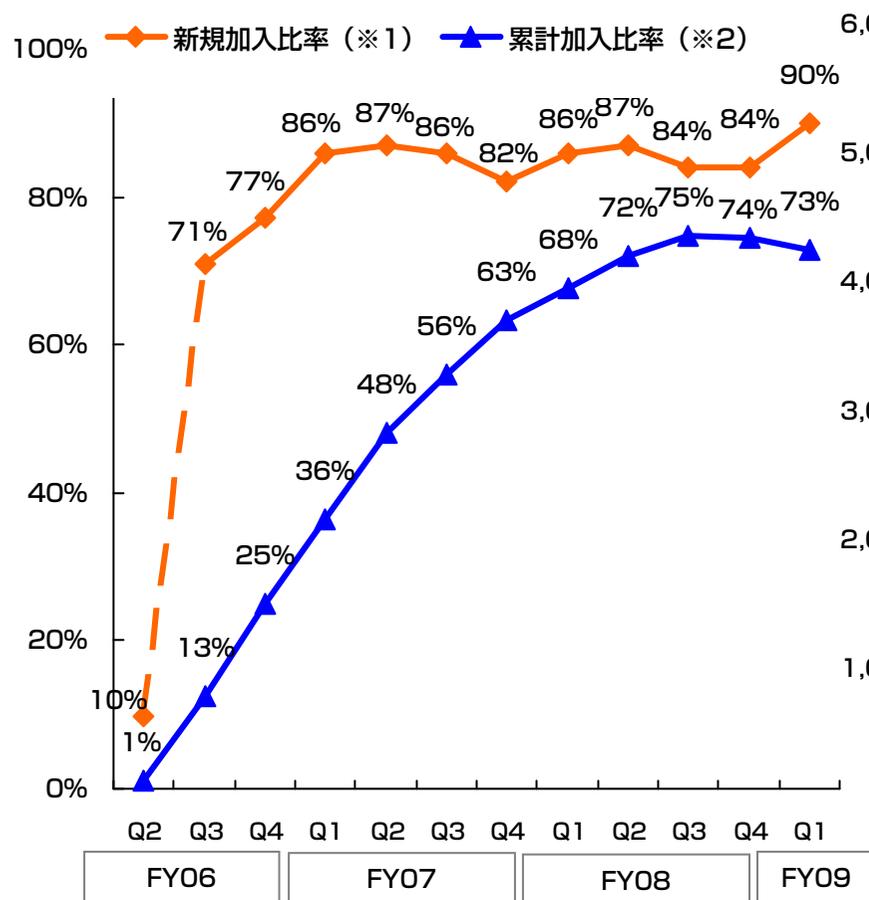


新スーパーボーナス加入率と割賦売掛金残高 <移動体-7>

■高加入率維持。割賦売掛金残高はピークアウト。流動化も順調に推移

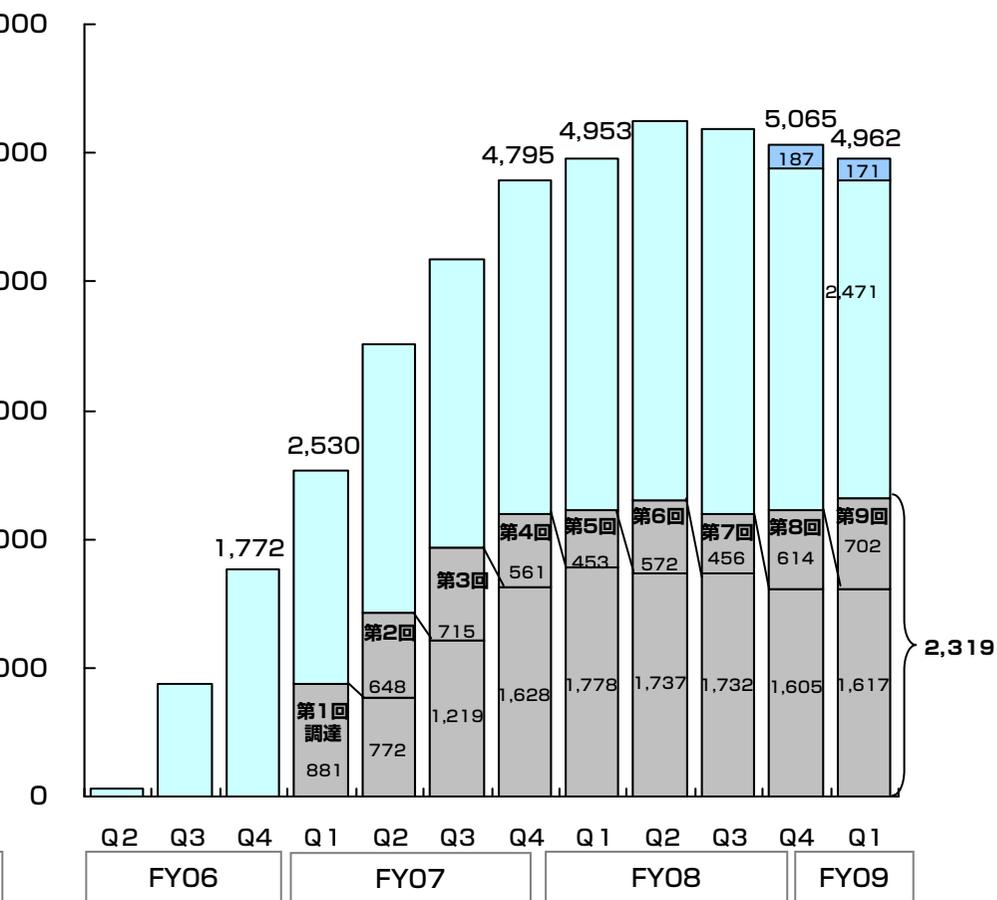
新スーパーボーナス加入率

(スーパーボーナスを含む)



割賦売掛金残高

<億円> □ うち債権流動化残高 □ うち長期の残高



※1 新規加入比率=期中の新規契約数(ポストペイド)および機種変更件数に占める新スーパーボーナス加入比率
 ※2 累計加入比率=ポストペイド契約数に占める新スーパーボーナス契約数(月月割が終了した契約を除く)の比率

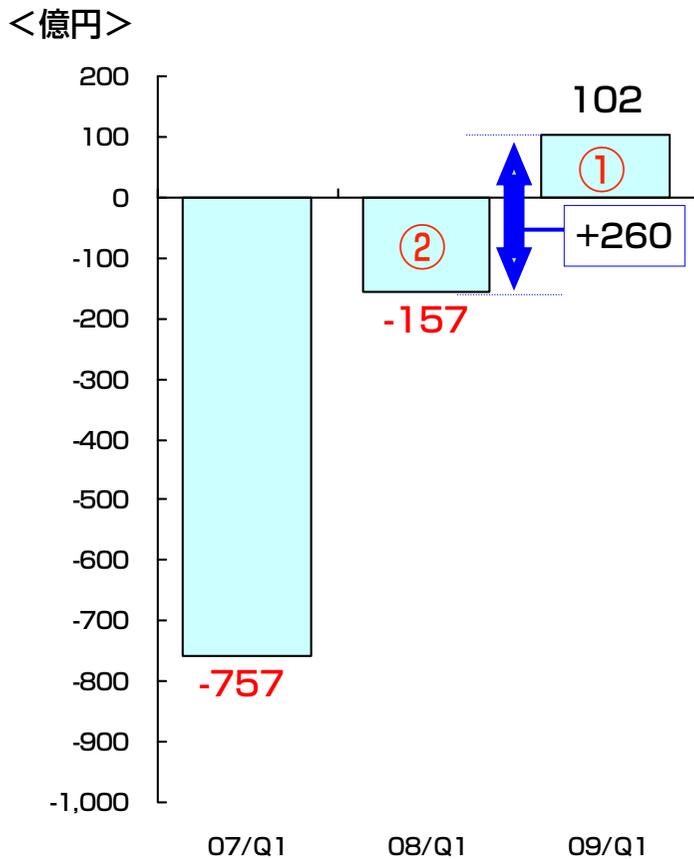
割賦売掛金増減のキャッシュフローへの影響

<移動体-8>

■割賦売掛金の増加が一巡し、営業CFへの影響が改善。

営業CFへの影響の増減（四半期）

割賦売掛金の増加額が減少
(営業CFのマイナス要因の減少)



	割賦債権 期首残高	割賦債権 期末残高	割賦売掛金 の増加	営業CFへの影響
09/Q1	5,065	4,962	▲102	① +102
08/Q1	4,795	4,953	+157	② ▲157
差額			▲260	+260

営業CFの前期比改善要因

(参考)

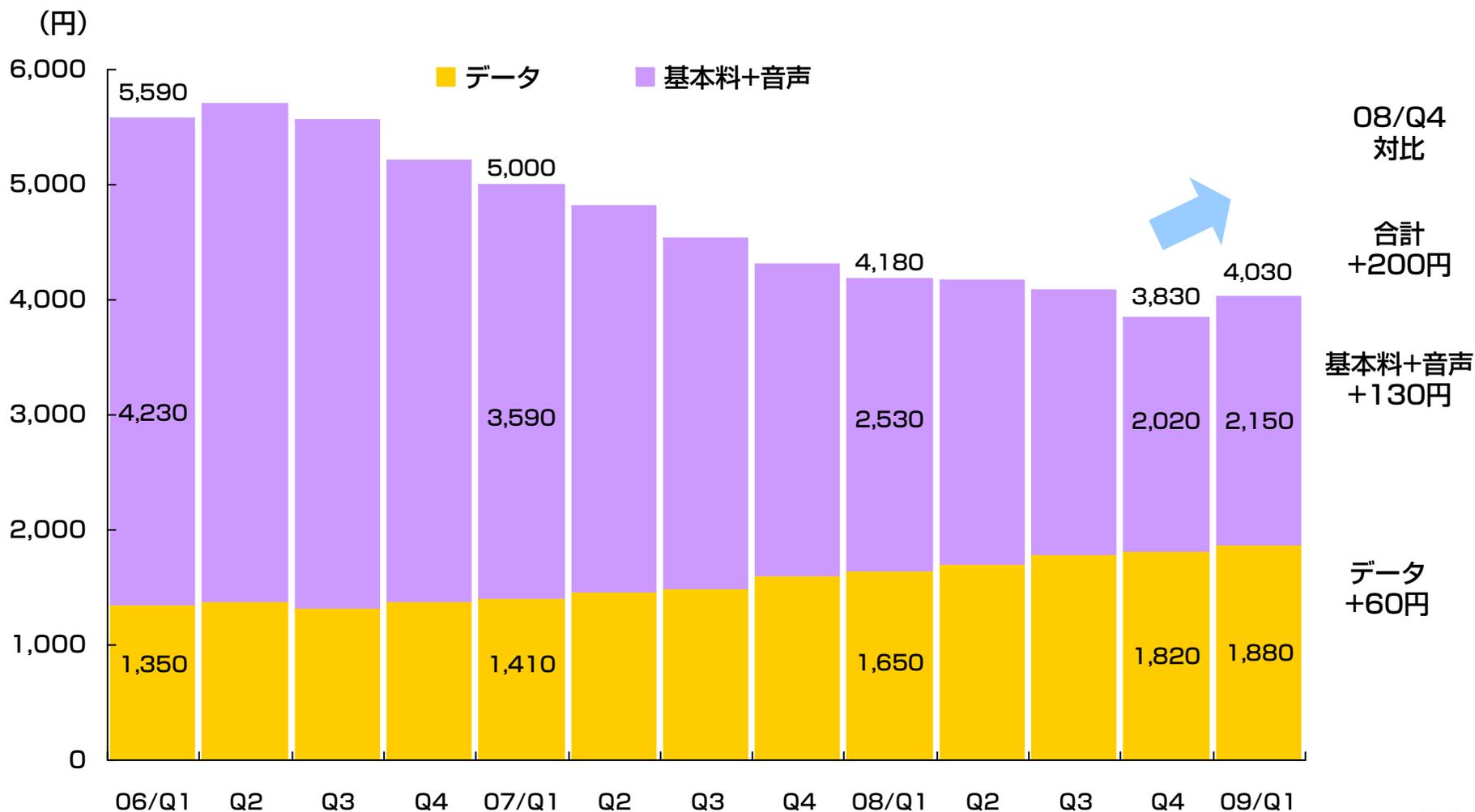
	08/Q1	09/Q1	差額
SB連結FCF	▲378	565	+944

ARPU(1契約当り通信料収入)

<移動体-9>

■ARPUは対直前四半期比で200円改善し4,000円台に回復

■データARPUは増加トレンドを継続

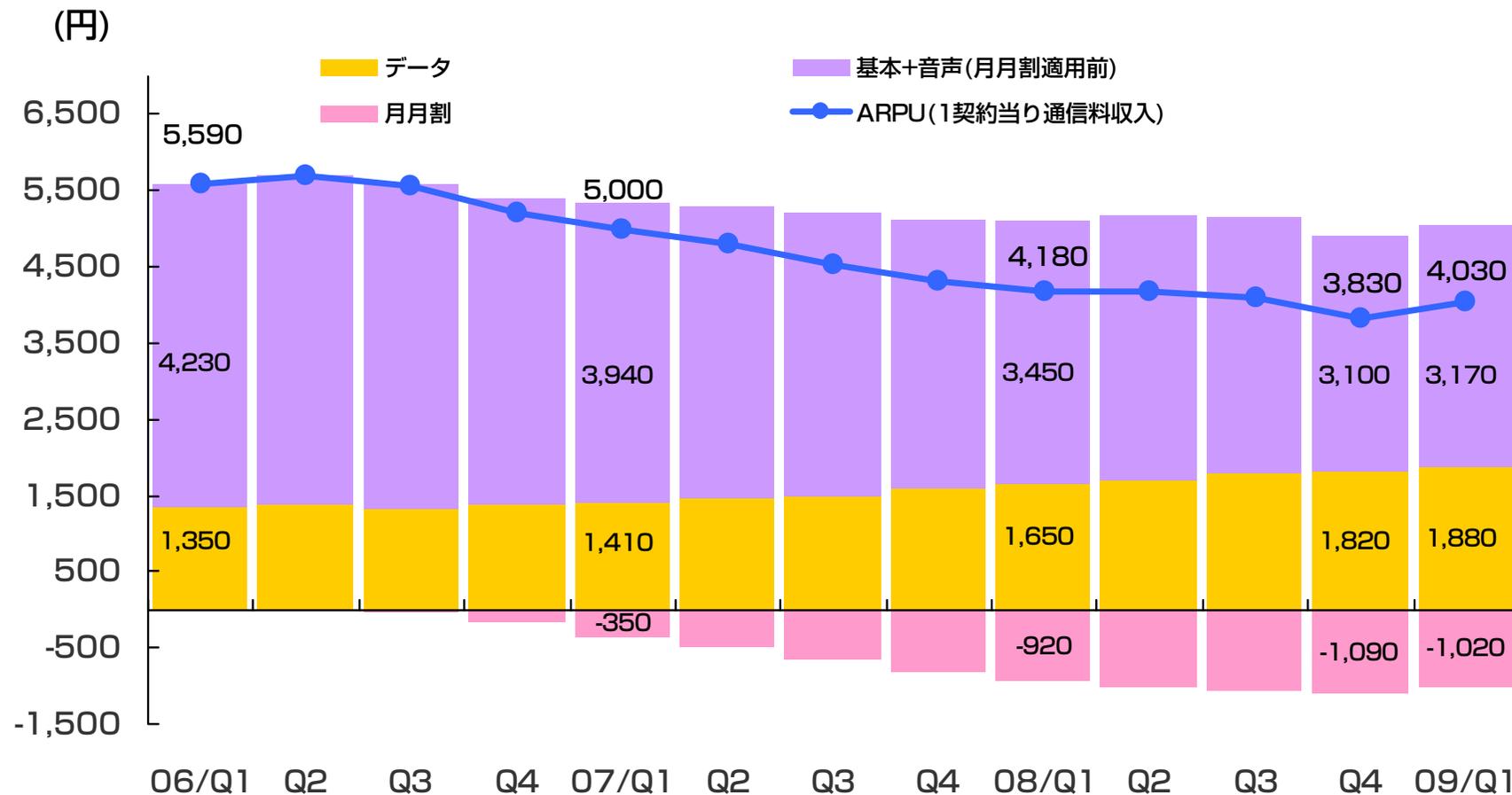


※2008年11月1日より「新スーパーボーナス特別割引」を「月月割」に名称変更

ARPU(1契約当り通信料収入)

<移動体-10>

- 直前四半期比：データ増加、音声は期末要因がなくなり反転、月月割ピークアウト
- 前年同期比：データ増加、音声は減少傾向が続くが減少幅は縮小、月月割は拡大

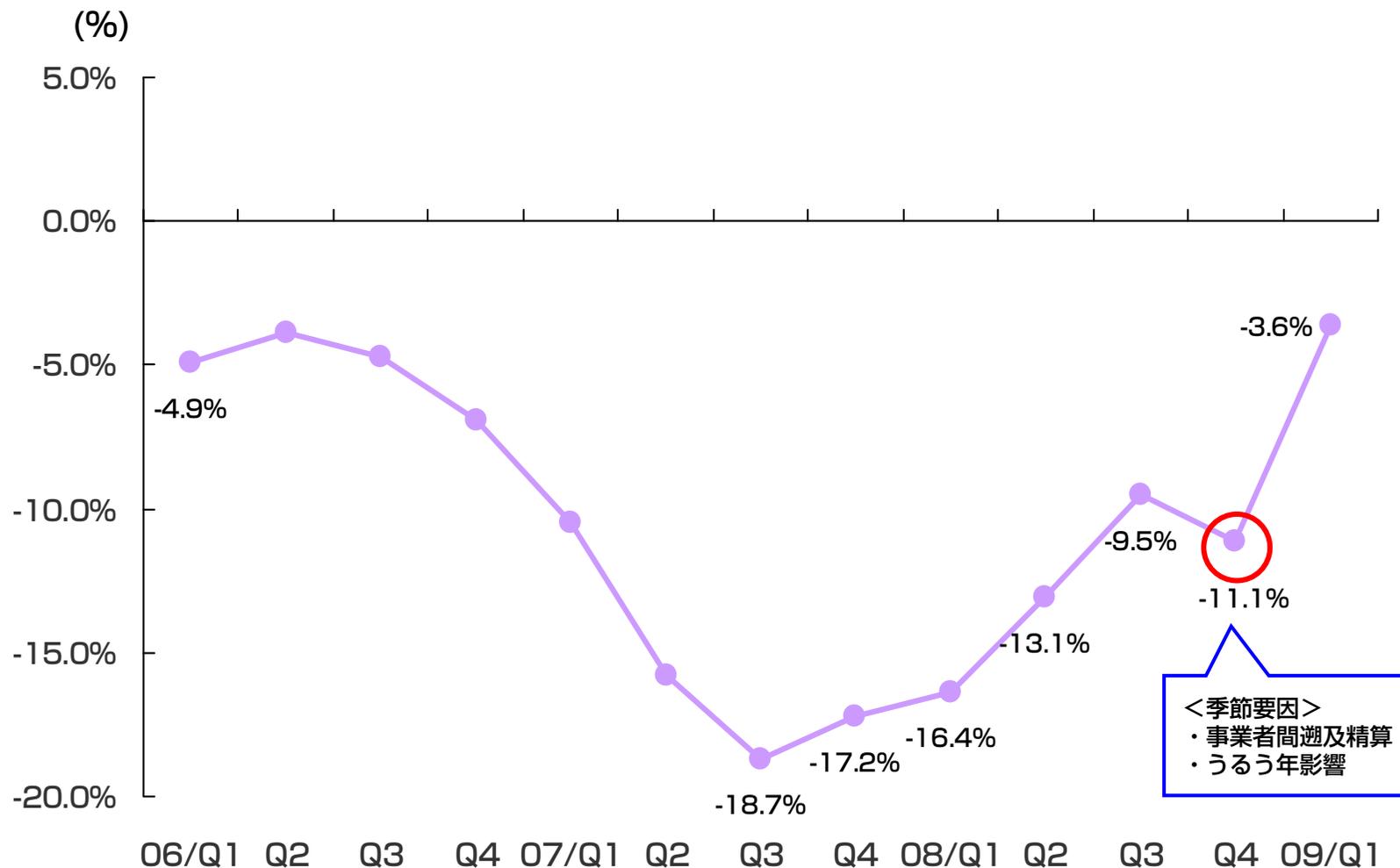


※1契約当り通信料収入(平均)= データ+ 基本料 + 音声 - 通信料割引(月月割)

ARPU 対前年同期比

<移動体-11>

■ ARPUの前年同期比は改善傾向



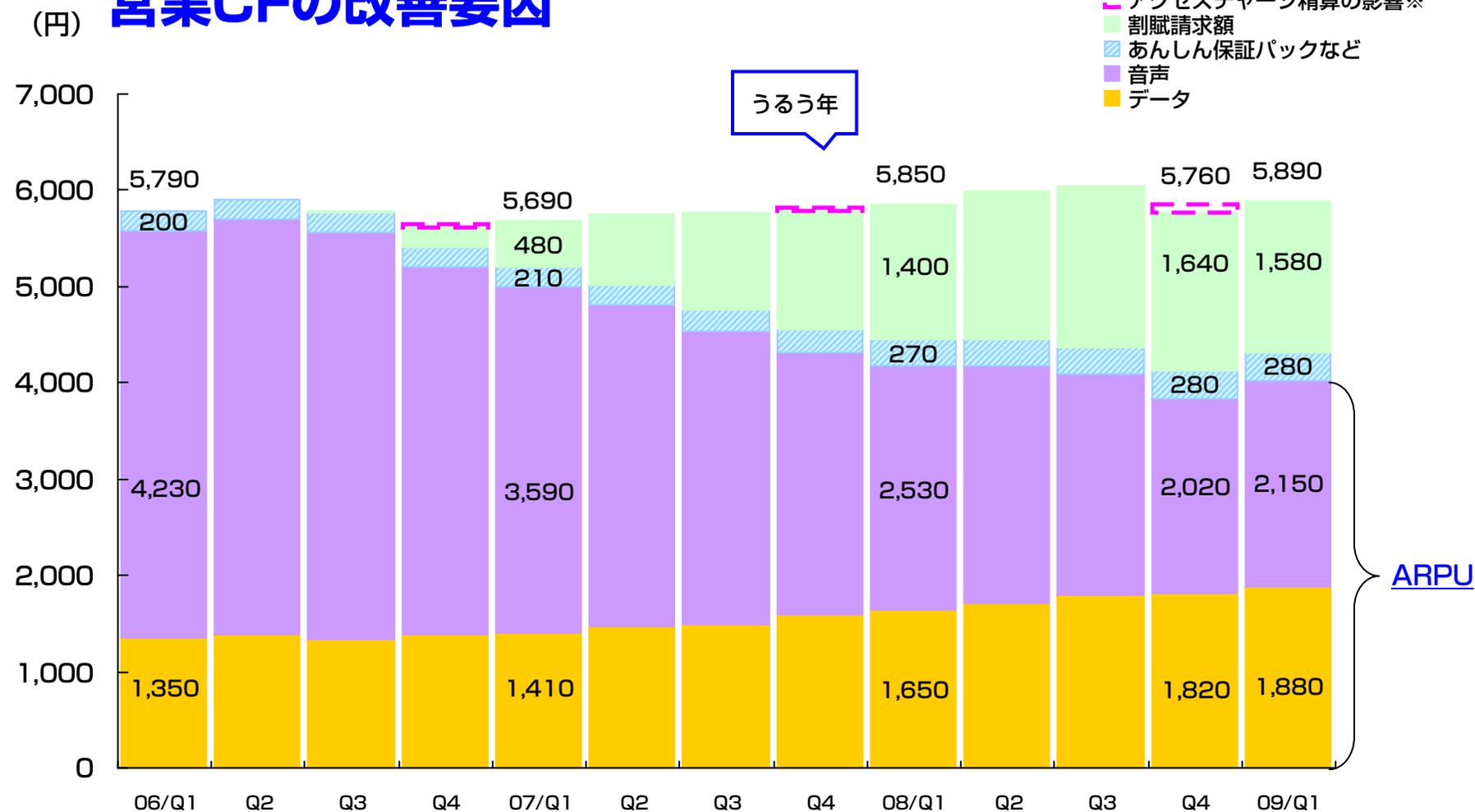
※1契約当り通信料収入(平均) = データ + 基本料 + 音声 - 通信料割引(月月割)

1 契約当り現金収入(平均)

<移動体-12>

1 契約当り現金収入(割賦請求分含む)は堅調に推移

営業CFの改善要因



※アクセスチャージ精算の影響は1人当り現金収入+割賦請求額には含まれない

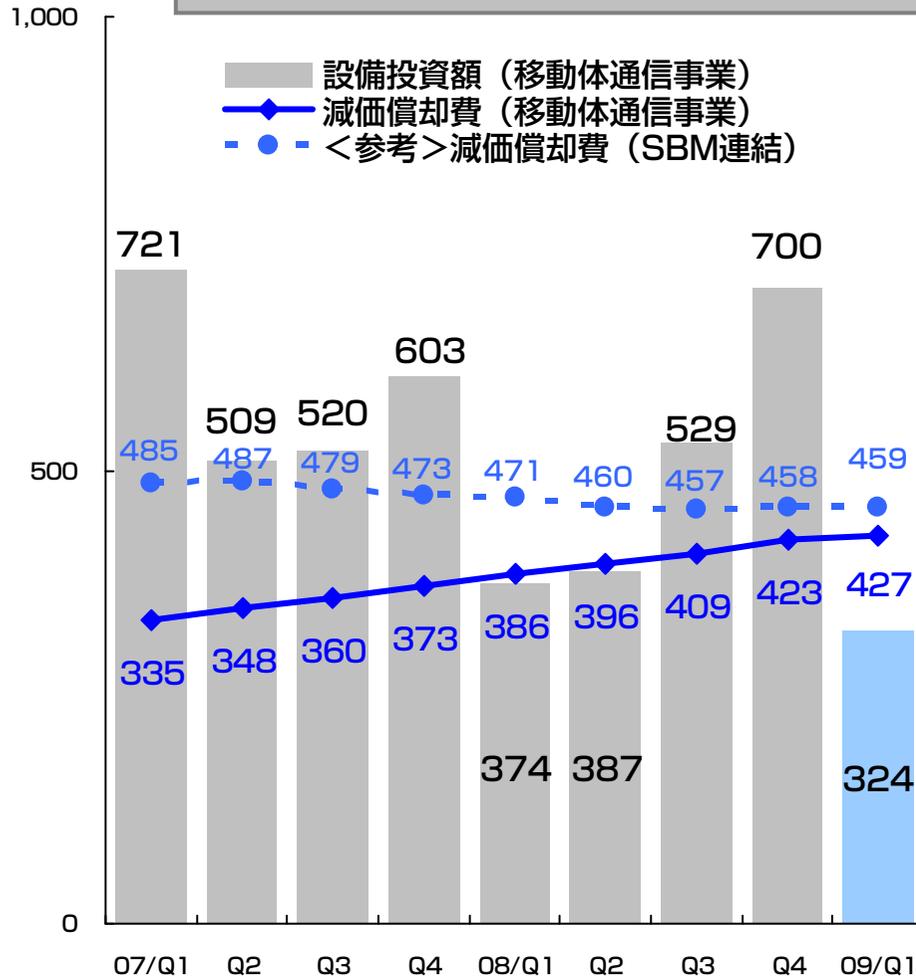
設備投資 [実行ベース] (移動体通信事業)

<移動体-13>

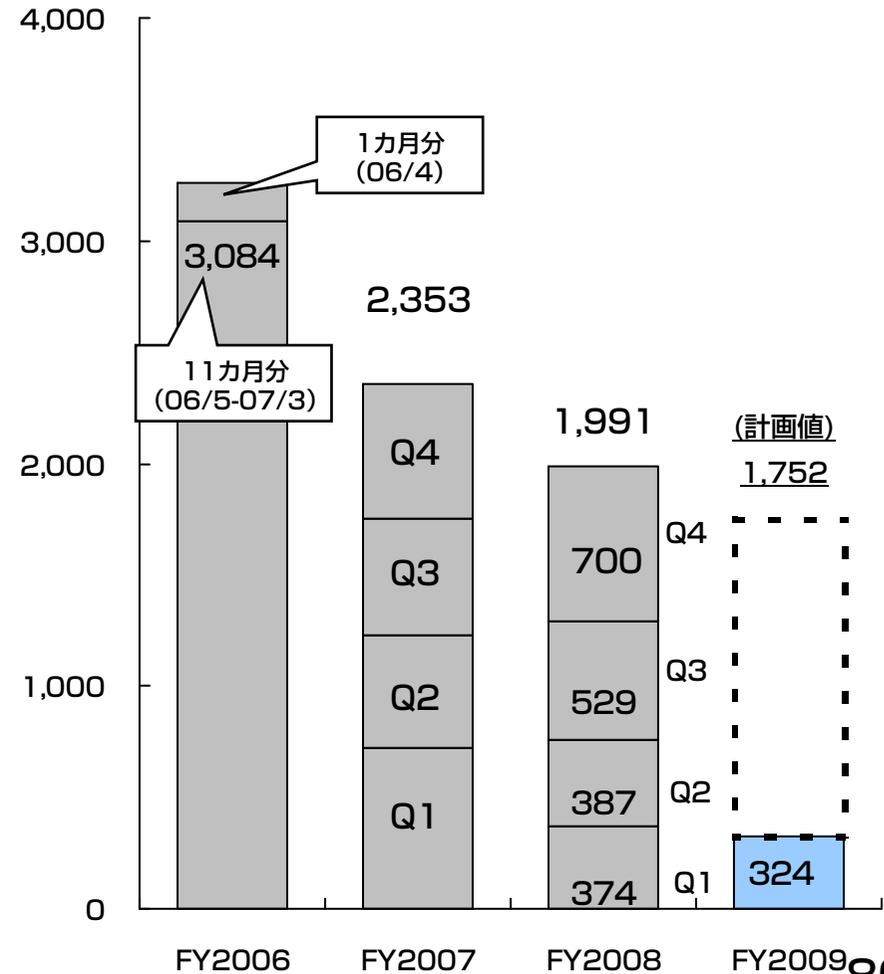
■効率的な設備投資を推進

<億円>

設備投資額と減価償却費 (四半期推移)



設備投資額 (年度推移)

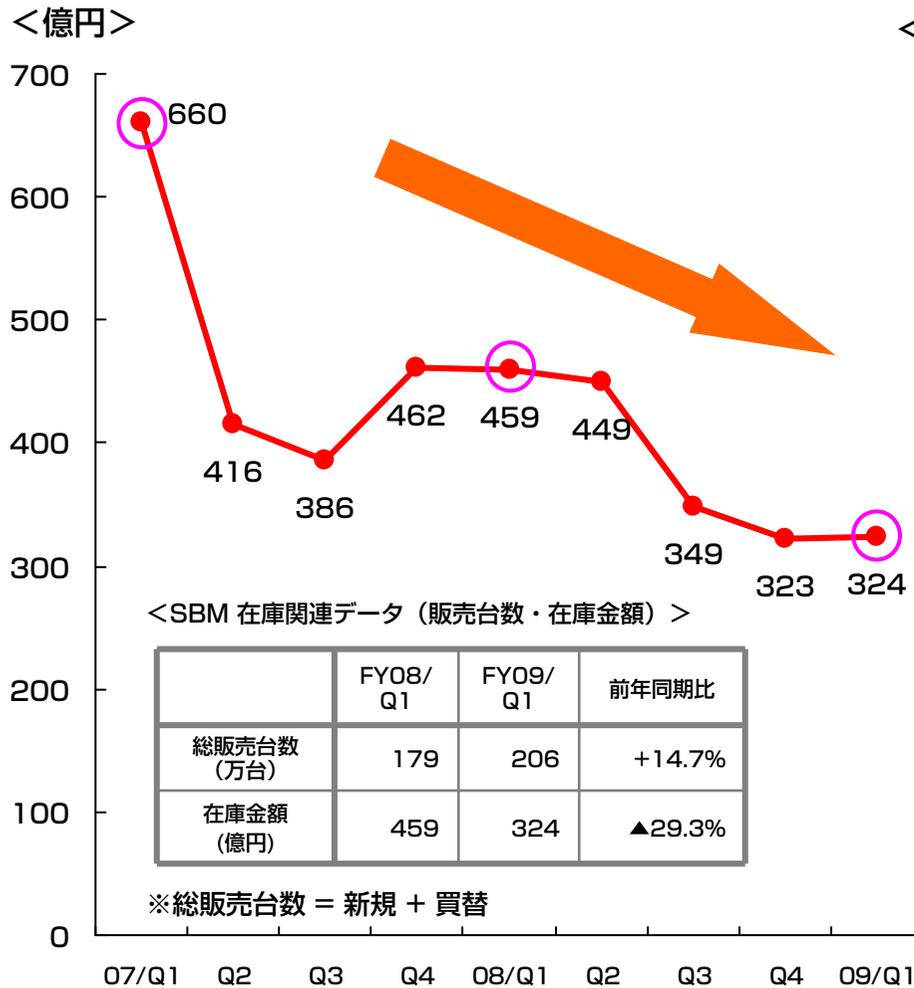


経営の効率化推進

<移動体-14>

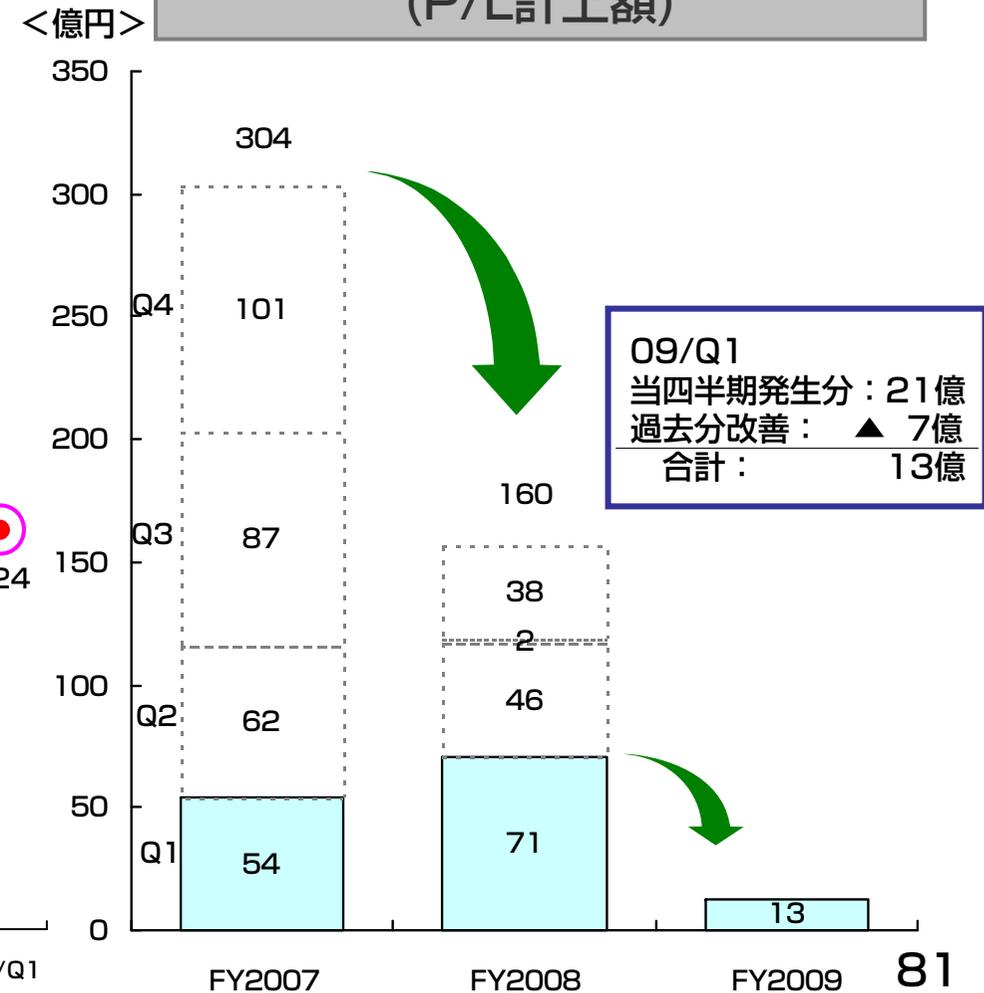
■在庫を大幅に削減

SBM 在庫金額(B/S計上額)



■貸倒引当金も大幅に改善

SBM 割賦債権貸倒関連費用推移 (P/L計上額)





- 本資料に記載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。
- 本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。
 - Apple、Appleのロゴは、米国および他国のApple Inc.の登録商標です。
 - iPhoneはApple Inc.の商標です。
 - iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
 - iPhone 3Gは単独の通信業者のサービスでのみお使いいただけるよう設定されている場合があります。